

「平成 26 年度 伊勢湾流域圏一斉モニタリング」
確定版



平成 27 年 2 月

伊勢湾再生推進会議

目次

1. はじめに	1
2. 「平成 26 年度 伊勢湾流域圏一斉モニタリング」概要.....	2
2.1 モニタリング期間	2
2.2 モニタリングの種類.....	2
2.3 モニタリング参加者.....	2
2.4 水質調査地点	4
2.5 モニタリング実施時の気象・海象状況.....	5
3. モニタリング調査結果	8
3.1 分析による水質調査.....	8
3.2 簡易水質テスト結果.....	17
3.3 調査状況写真	24
3.4 ゴミ調査結果	102
3.5 水生生物調査結果	115
4. 感想等	130

1. はじめに

本年度も多くの方々に「伊勢湾流域圏一斉モニタリング」にご協力頂きまして、ありがとうございました。

伊勢湾再生推進会議では、「人と森・川・海の連携により健全で活力のある伊勢湾を再生し、次世代に継承する」ことをスローガンとした伊勢湾再生行動計画に基づき、伊勢湾再生に取り組んでいます。

伊勢湾流域圏においては、より良い水環境のもと、多様な生物が生息・生育できる“健全な伊勢湾”、産業物流拠点としての優れた機能を活かしながら、人々が集まり、安全で憩いや安らぎを感じられる“活力ある伊勢湾”を再生するため、沿岸域だけでなく、広く流域圏の“人と森・川・海”が連携して伊勢湾再生に取り組んでいくとともに、これらの取り組みを継承していくことが大切だと考えています。

この度は、その一環として、皆様と、流域圏の自治体などが、海の水質が悪くなりやすい夏の時期に一斉にモニタリングを行いました。一斉モニタリングにより、伊勢湾流域圏全体の水環境を知ることができます。

この「伊勢湾流域圏一斉モニタリング」を通じて、市民の皆様が、伊勢湾再生にもっと関心を持っていただき、伊勢湾の再生のさらなる推進につなげてまいりたいと思います。



図 1 伊勢湾流域圏

注) 伊勢湾流域圏とは、伊勢湾と伊勢湾に流れ込む河川の集水域となっている地域のことです。
(上の図の水色および緑色で示した部分)

伊勢湾再生推進会議

・伊勢湾再生推進会議構成団体

国土交通省・海上保安庁・内閣府内閣官房地域活性化統合事務局

農林水産省・林野庁・水産庁・経済産業省・環境省・岐阜県

愛知県・三重県・名古屋市・名古屋港管理組合・四日市港管理組合

2. 「平成 26 年度 伊勢湾流域圏一斉モニタリング」概要

2.1 モニタリング期間

平成 26 年 7 月 25 日（金）～8 月 31 日（日）

2.2 モニタリングの種類

一斉モニタリングでは、主に自治体が参加した「分析による水質調査」、主に市民の方々が参加した「簡易水質テスト」、「ゴミ調査」、「生物調査」を実施しました。

- ① 分析による水質調査（調査結果 p.8～15）
- ② 簡易水質テスト（調査結果 p.17～45）
- ③ ゴミ調査（調査結果 p.102～47）
- ④ 水生生物調査（調査結果 p.115～50）

2.3 モニタリング参加者

平成 26 年度も伊勢湾再生に関心をお持ちの多くの団体・機関から参加いただきました。

表 1 参加団体数の推移

年度	分析による 水質調査	簡易水質テスト、 ゴミ調査、生物調査
平成 26 年度	15	76
平成 25 年度	29	83
平成 24 年度	46	59
平成 23 年度	42	49
平成 22 年度	51	67
平成 21 年度	35	60

◆ 分析による水質調査

【行政機関】

愛知県環境部、岐阜県環境生活部、岐阜県（大垣市）、岐阜県（可児市）、岐阜県（岐阜市）、岐阜県（関市）、岐阜県（神戸町）、岐阜県（瑞浪市）、三重県環境生活部、豊橋河川事務所、第四管区海上保安本部（海洋情報部）、明治用水土地改良区、愛知県建設部下水道課、四日市港管理組合、名古屋市環境局

◆ 簡易水質テスト、ゴミ調査、生物調査

【行政機関】

第四管区海上保安本部（衣浦海上保安署、中部空港海上保安航空基地、鳥羽海上保安部、名古屋海上保安部、名古屋海上保安部 巡視艇あゆづき、三河海上保安署、四日市海上保安部、中部地方整備局（港湾空港部 海洋環境・技術課、三河港湾事務所、豊橋河川事務所）、愛知県岡崎市、いなべ市役所、蒲郡市役所 企画広報課、岐阜県岐南町 建設課、岐阜県岐南町役場 住民環境課、岐阜県御嵩町、土岐市生活学校（土岐市）、大垣市 生活環境部 環境衛生課、宮川流域ルネッサンス協議会

【市民団体・NPO 法人・個人】

イーツワン（環境 21 期会）、生田川マモロード会、伊勢湾流域圏再生ネットワーク事務局、内山川ホテルを守る会（グラウンドワーク東海）、NPO エコネットあんじょう河川部会、スティッチ、扇川を愛する緑の会、大井まちづくり協議会スナメリの海事業、大垣市生活学校、小野様（個人）、小里川ダム里山教室、可児市めだかの楽校、NPO 法人すずかのぶどうグループ（亀山の自然環境を愛する会、地球クラブ）、環境ネット四つ葉会、NPO 法人木曾三川ごみの会、雲出川愛護モニター、ぐるーぷ「かすみ草」、港栄第一エコクラブ、高年エンバイロ 21、佐奈川を美しくする会、鯨城・堀川と生活を考える会、十四川を守る会、白鳥庭園、NPO 法人親水会、高松干潟を守ろう会、特定非営利活動法人伊勢湾フォーラム、引山学区連絡協議会、NPO 法人藤前干潟を守る会、別所団地西鹿乗川美化クラブ、まいバンク協議会（梅田川フォーラム）、松並木つくり隊、NPO 法人緑の会羽津、みどりのまちづくりグループ、水辺づくりの会 鈴鹿川のうお座、四日市市環境学習センター（内部地区社会福祉協議会、四日市大学エネルギー環境教育研究会：eco コロンブス号 朝明川から伊勢湾へ GO!）、レッ津！夢みなとプラン推進協議会、渡し場かもめ会、

【企業】

小塩通信株式会社、神野建設株式会社、株式会社 建設環境研究所、シャープビジネスソリューション株式会社、昭和電線ケーブルシステム(株) 三重事業所、東洋建設株式会社名古屋支店、名古屋みなと建設工事安全連絡協議会、フェザー安全剃刀株式会社 関工場、富士ゼロックスマニュファクチャリング株式会社鈴鹿事業所自然愛好会

【学校】

伊勢市五十鈴中学校、玉城町立下外城田小学校、三重県立国児学園、塩浜学童保育所、三重県立宇治山田高等学校、多気町松阪市学校組合立多気中学校、桑名市立光陵中学校、多気町立勢和中学校、四日市市立山手中学校

2.4 水質調査地点

平成 26 年度のモニタリング調査地点数は、分析による水質調査が 339 地点、簡易水質調査が 164 地点でした。

表 2 一斉モニタリング地点数の推移

	分析による水質調査			簡易水質調査		
	陸域	海域	計	陸域	海域	計
平成 26 年度	259	80	339	132	32	164
平成 25 年度	328	125	453	159	33	192
平成 24 年度	450	223	673	357	32	389
平成 23 年度	483	109	592	119	34	153
平成 22 年度	569	234	803	189	39	228
平成 21 年度	264	69	333	78	28	106

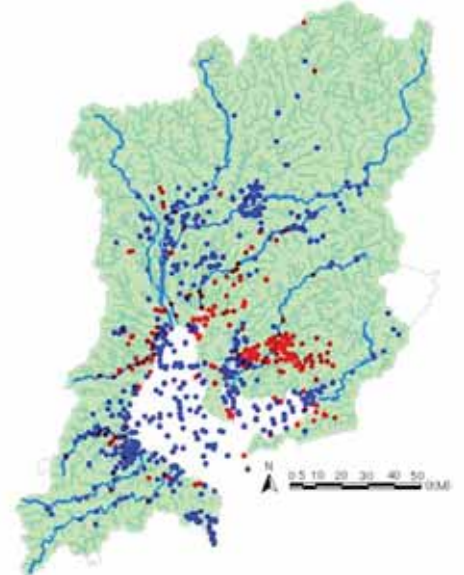
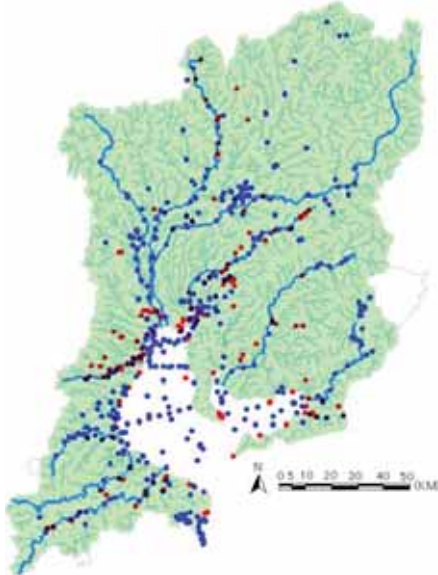
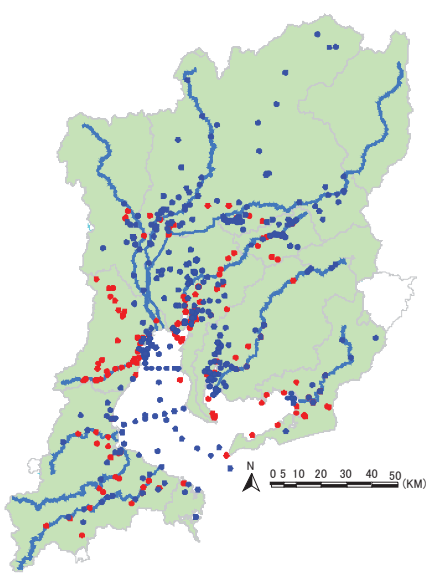


図 2 平成 26 年度一斉モニタリング地点 図 3 平成 25 年度一斉モニタリング地点 図 4 平成 24 年度一斉モニタリング地点

● : 簡易調査地点
● : 分析調査地点

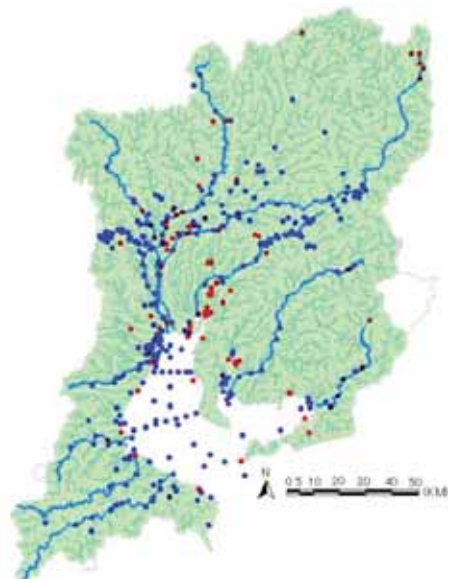
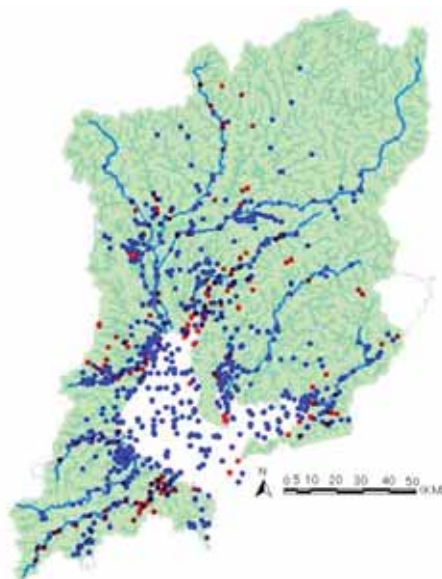
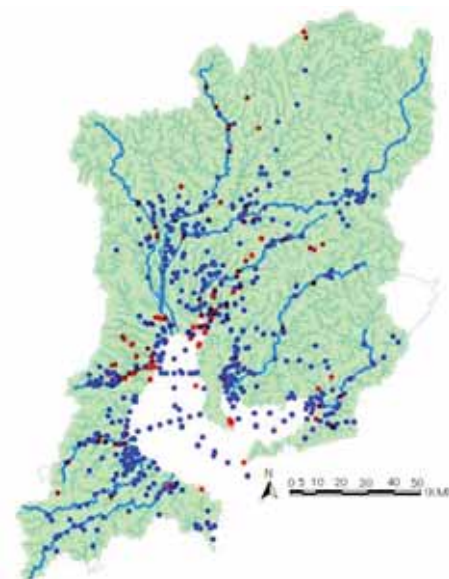


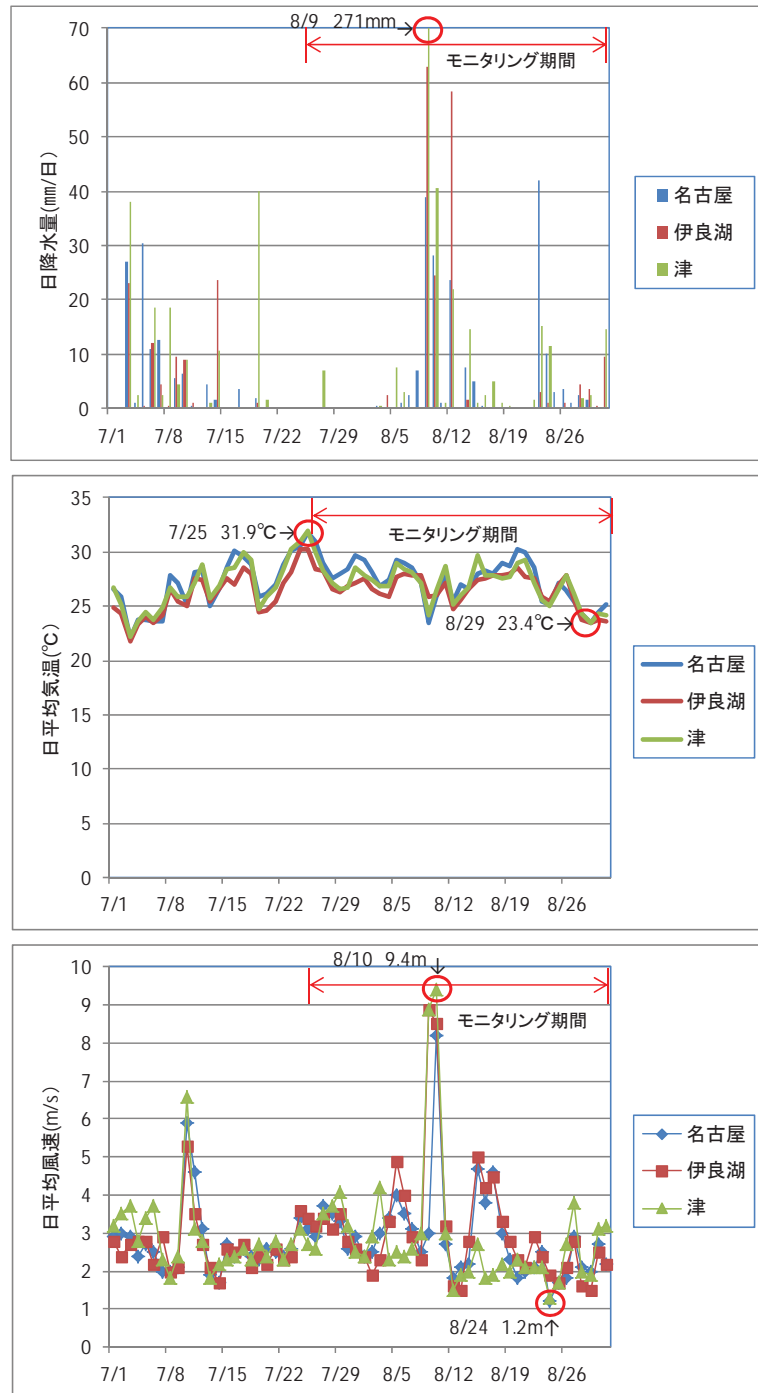
図 5 平成 23 年度一斉モニタリング地点 図 6 平成 22 年度一斉モニタリング地点 図 7 平成 21 年度一斉モニタリング地点

※海域では、同じ場所で水深を変えて測っているところもあります。

2.5 モニタリング実施時の気象・海象状況

一斉モニタリング期間(平成 26 年 7 月 25 日～8 月 31 日)の気象状況及び潮位を図 8、図 9に示しました。

一斉モニタリング期間中、7 月下旬は降雨のない日が続きました。8 月上旬は、台風 11 号の影響により、まとまった降雨があり、津气象台では 8/9 に 271mm の日降水量を観測しています。日平均気温は 23.4～31.9℃、日平均風速は 1.2～9.4m/s の範囲でした。

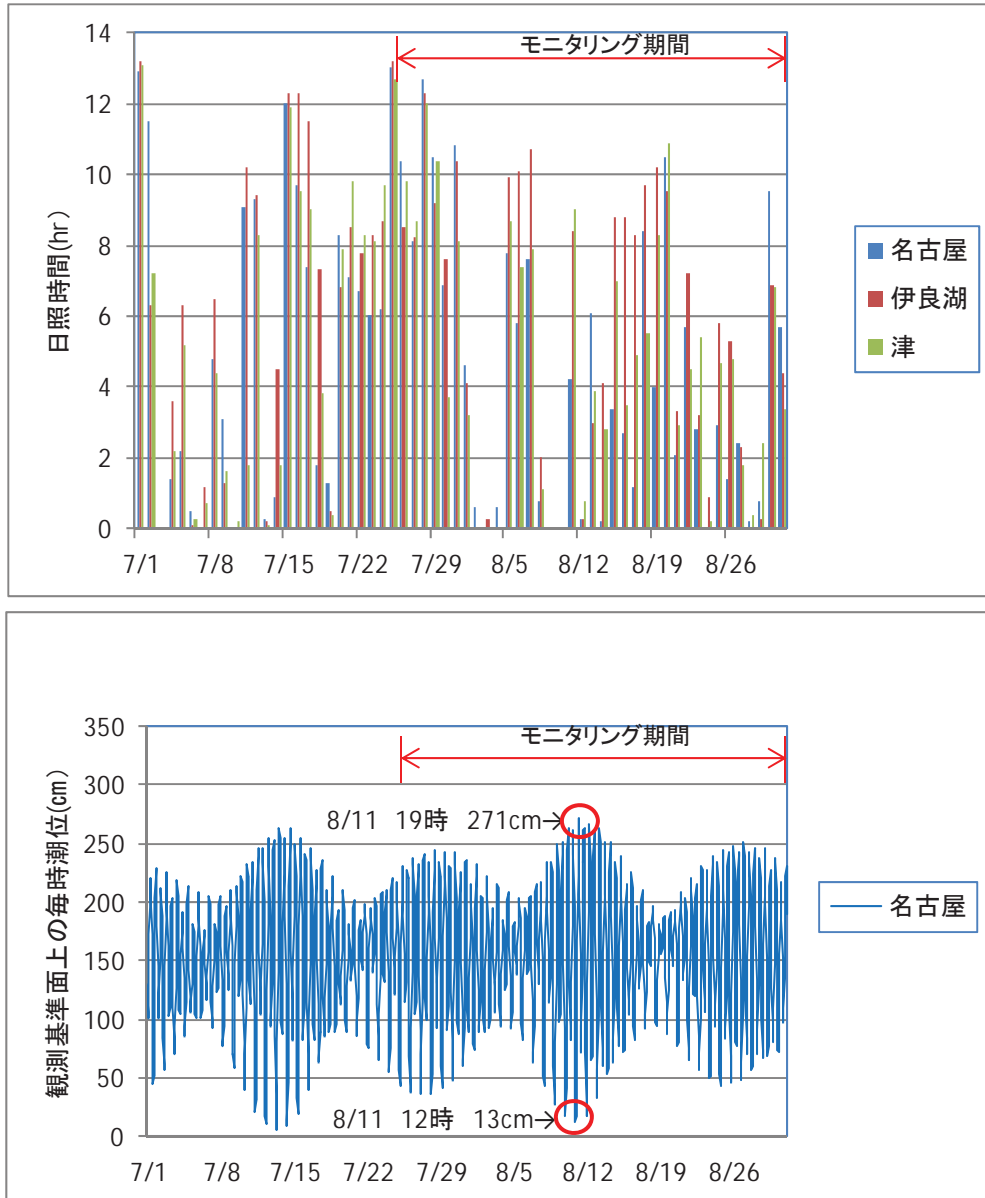


気象庁のデータから作成

図 8 一斉モニタリング時の気象・海象状況①(降水量・気温・風速)

7月下旬に晴天が続いたこともあり、7月の日照時間は平年よりもやや長い状況でした。一方、8月は降雨が多かったこともあり、8月の日照時間は、平年に比べて50～60%程度と短い状況でした。

名古屋港の潮位は、通常の変動状況にあり、期間中の最低潮位は、8/11の12時に13cm、最高潮位は、8/11の19時に271cmでした。



気象庁のデータから作成

図 9 一斉モニタリング時の気象・海象状況②(日照時間・潮位)



図 10 気象・海象観測位置（赤色の地点と地名は気象観測位置、緑色の地点と地名は潮位観測位置）

3. モニタリング調査結果

3.1 分析による水質調査

分析による水質調査では様々な水質項目を調査していますが、一斉モニタリング結果では次の8項目を示します。

- ① BOD（生物化学的酸素要求量）
- ② COD（化学的酸素要求量）
- ③ pH
- ④ 全窒素
- ⑤ 全リン
- ⑥ DO（溶存酸素）
- ⑦ SS（浮遊物質）
- ⑧ 大腸菌群数

<水質指標が示すもの>

① BOD	河川水の有機物による水の汚れを示します。汚れるにつれて値が大きくなります。
② COD	湖沼や海域の有機物による水の汚れを示します。汚れるにつれて値が大きくなります。
③ pH	酸性・アルカリ性の程度を示します。pH7が中性、pHが7より小さければ酸性、大きければアルカリ性です。
③ 全窒素	水中の窒素の量を示します。窒素はリンと並んで生物の栄養素ですが、家庭排水などに含まれる窒素が海域や湖沼に流入すると、赤潮などの汚濁原因となります。
④ 全リン	水中のリンの量を示します。リンは窒素と並んで生物の栄養素ですが、家庭排水などに含まれるリンが海域や湖沼に流入すると、赤潮などの汚濁原因となります。
⑥ DO（溶存酸素）	水中に溶解している酸素量を示し、量が多いほど値が大きくなります。溶存酸素は、水中の生物の呼吸などに使われるので、欠乏すると魚介類のへい死や水の腐敗が起こります。
⑦ SS（浮遊物質）	水中を漂う濁りの原因となる物質の量を示します。汚れるにつれて値が大きくなります。
⑧ 大腸菌群数	大腸菌や大腸菌と性質が似ている細菌の数を示します。水中の大腸菌群数はし尿による汚染の指標として使われています。

BOD(生物化学的酸素要求量)

河川水の有機物による水の汚れを示します。
汚れるにつれて値が大きくなります。



図 11 BOD(分析による水質調査結果)

各河川とも上流のほうは 2mg/L 以下となっていますが、市街地を流れる河川や中小河川で 5mg/L 以上の高い値が観測されています。一般的には、生活排水等により、濃度が高くなっていると考えられます。

COD (化学的酸素要求量)

湖沼や海域の有機物による水の汚れを示します。
汚れるにつれて値が大きくなります。



図 12 COD(分析による水質調査結果)

市街地を流れる河川や、中小河川や支川において、5mg/L以上の高い値が観測されています。一般的には、生活排水等により、濃度が高くなっていると考えられます。

pH

酸性・アルカリ性の程度を示します。
pH7 が中性、pH が7より小さければ酸性、大きければアルカリ性です。



図 13 pH(分析による水質調査結果)

河川では一般的に7付近の中性で、河川の観測値の多くが7付近となっています。河川の一部の地点では8以上のアルカリ性を示していますが、地質などの自然の特性によって高くなることがあります。一方、海のpHは一般的に8前後のアルカリ性を示すため、海の観測値は8以上となっています。

全窒素

水中の窒素の量を示します。窒素はリンと並んで生物の栄養素ですが、家庭排水などに含まれる窒素が海域や湖沼に流入すると、赤潮などの汚濁原因となります。



図 14 全窒素(分析による水質調査結果)

多くの河川の中下流部で0.6 mg/L以上の高い値が観測されています。一般的には、生活排水や田畑から肥料分の流出、畜産排水等により、濃度が高くなっていると考えられます。

全リン

水中のリンの量を示します。リンは窒素と並んで生物の栄養素ですが、家庭排水などに含まれるリンが海域や湖沼に流入すると、赤潮などの汚濁原因となります。



図 15 全リン(分析による水質調査結果)

全窒素と同様に、多くの河川の中下流部で 0.05 mg/L 以上の高い値が観測されています。一般的には、生活排水や田畑から肥料分の流出、畜産排水等により、濃度が高くなっていると考えられます。

DO（溶存酸素）

水中に溶解している酸素量を示し、量が多いほど値が大きくなります。溶存酸素は、水中の生物の呼吸などに使われるので、欠乏すると魚介類のへい死や水の腐敗が起こります。



図 16 DO(分析による水質調査結果)

一級河川（太い青線）では比較的高いですが、一部の海域で低い箇所も見られ、酸素不足による水中の生物への影響や水の腐敗（におい）などが懸念されます。

（※海域は海面付近の値を示しています。海域の水深方向の分布については、「伊勢湾の溶存酸素濃度状況（参考）」にてご確認ください。）

SS（浮遊物質）

水中を漂う濁りの原因となる物質の量を示します。汚れるにつれて値が大きくなります。



図 17 SS(分析による水質調査結果)

多くの観測地点は、25mg/L 以下となっており、河川の環境基準 A 類型に適合する水質であるため、水の濁りは少ないといえます。

大腸菌群数

大腸菌や大腸菌と性質が似ている細菌の数を示します。水中の大腸菌群数はし尿による汚染の指標として使われています。



図 18 大腸菌群数(分析による水質調査結果)

1000MPN/100ml 以上の値を観測している地点が見られます。し尿等による人為的由来によるものの他に、自然の土壌由来のものが含まれる場合もあるため、継続した監視が必要と考えられます。

3.2 簡易水質テスト結果

参加者の方々には、様々な項目で調査していただきました。

<p><モニタリング調査項目></p> <p>水温、COD（化学的酸素要求量）、$\text{NH}_4^+\text{-N}$（アンモニウム態窒素）、$\text{NO}_2^-\text{-N}$（亜硝酸態窒素）、$\text{NO}_3^-\text{-N}$（硝酸態窒素）、$\text{PO}_4^{3-}\text{-P}$（リン酸態リン）、天気、モニタリング地点の状況（ゴミの状況等）、生き物、水において、水の色、水量（量、速さ）</p>
--

その中で、調査地点数が多く、伊勢湾流域圏の水質の汚染状況を示す、COD（化学的酸素要求量）、 $\text{NH}_4^+\text{-N}$ （アンモニウム態窒素）、 $\text{NO}_2^-\text{-N}$ （亜硝酸態窒素）、の $\text{NO}_3^-\text{-N}$ （硝酸態窒素）、 $\text{PO}_4^{3-}\text{-P}$ （リン酸態リン）、見た目の水のきれいさの結果を図 19～図 24に示しました。

<水質指標が示すもの>

① COD	湖沼や海域の有機物による水の汚れを示します。汚れるにつれて値が大きくなります。
② $\text{NH}_4^+\text{-N}$	窒素はリンと並んで生物の栄養素ですが、家庭排水などに含まれる窒素が海域や湖沼に流入すると、赤潮などの汚濁原因となります。 $\text{NH}_4^+\text{-N}$ は、窒素の主な形態の一つです。濃度が高い場合、生活排水や工場排水あるいは田畑から肥料分が流れていると考えられます。
③ $\text{NO}_2\text{-N}$	$\text{NO}_2^-\text{-N}$ は、窒素の主な形態の一つです。不安定な物質ですが、pH等の状況や窒素肥料の施肥量が多いと濃度が高くなる場合があります。
④ $\text{NO}_3^-\text{-N}$	$\text{NO}_3^-\text{-N}$ は、窒素の主な形態の一つです。きれいな水は $\text{NO}_3^-\text{-N}$ の割合が高く、汚れた水は $\text{NH}_4^+\text{-N}$ の割合が高くなります。ただし、 $\text{NO}_3^-\text{-N}$ が多量に存在すると人の健康に影響を与えるため、水道水の水質基準では、 $\text{NO}_2^-\text{-N}$ と $\text{NO}_3^-\text{-N}$ の合計が 10mg/L以下と設定されています。
⑤ $\text{PO}_4^{3-}\text{-P}$	$\text{PO}_4^{3-}\text{-P}$ は、リンの主な形態の一つです。植物の生育に必要な要素であり、生物の死骸により供給されますが、生活排水、肥料にも多く含まれ、海水や湖沼水中に $\text{PO}_4^{3-}\text{-P}$ が増加すると、赤潮などの汚濁原因となります。

COD（化学的酸素要求量）

湖沼や海域の有機物による水の汚れを示します。
汚れるにつれて値が大きくなります。



図 19 COD(簡易水質テスト結果)

市街地を流れる河川や、中小河川や支川において、5mg/L以上の高い値が観測されています。一般的には、生活排水等により、濃度が高くなっていると考えられます。

NH₄⁺-N (アンモニウム態窒素)

窒素はりんと並んで生物の栄養素ですが、家庭排水などに含まれる窒素が海域や湖沼に流入すると、赤潮などの汚濁原因となります。NH₄⁺-Nは、窒素の主な形態の一つです。濃度が高い場合、生活排水や工場排水あるいは田畑から肥料分が流れていると考えられます。



図 20 NH₄⁺-N(簡易水質テスト結果)

市街地を流れる河川や、中小河川や支川において、0.5mg/L以上の高い値が観測されています。一般的には、生活排水や田畑から肥料分の流出、畜産排水等により、濃度が高くなっていると考えられます。

0.5mg/L以上になると、生物の生息・生育・繁殖環境として良好とは言えないとされています。

NO₂⁻-N(亜硝酸態窒素)

NO₂⁻-Nは、窒素の主な形態の一つです。不安定な物質ですが、pH等の状況や窒素肥料の施肥量が多いと濃度が高くなる可能性があります。



図 21 NO₂⁻-N(簡易水質テスト結果)

市街地を流れる河川や、中小河川や支川において、0.007mg/L以上の高い値が観測されています。一般的には、生活排水や田畑から肥料分の流出、畜産排水等により、濃度が高くなっていると考えられます。

NO₃⁻-N(硝酸態窒素)

NO₃⁻-Nは、窒素の主な形態の一つです。きれいな水はNO₃⁻-Nの割合が高く、汚れた水はNH₄⁺-Nの割合が高くなります。ただし、NO₃⁻-Nが多量に存在すると人の健康に影響を与えるため、水道水の水質基準では、NO₂⁻-NとNO₃⁻-Nの合計が10mg/L以下と設定されています。



図 22 NO₃⁻-N(簡易水質テスト結果)

市街地を流れる河川や、中小河川や支川において、1.2mg/L以上の高い値が観測されています。一般的には、生活排水や田畑から肥料分の流出、畜産排水等により、濃度が高くなっていると考えられます。

窒素のうち最も量の多い形態であり、伊勢湾に流出すると富栄養化（藻類の異常発生）の原因の一つになります。

PO₄³⁻-P (りん酸態りん)

PO₄³⁻-P は、りんの主な形態の一つです。植物の生育に必要な要素であり、生物の死骸により供給されますが、生活排水、肥料にも多く含まれ、海水や湖沼水中に PO₄³⁻-P が増加すると、赤潮などの汚濁原因となります。



図 23 PO₄³⁻-P(簡易水質テスト結果)

市街地を流れる河川や、中小河川や支川において、0.11mg/L 以上の高い値が観測されています。一般的には、生活排水や田畑から肥料分の流出、畜産排水等により、濃度が高くなっていると考えられます。

りんのうち最も量の多い形態であり、伊勢湾に流出すると富栄養化（藻類の異常発生）の原因の一つになります。

水のきれいさ

今年度から、調査を実施したときの水のきれいさについて、5段階（悪い）1・2・3・4・5（良い）で評価していただきました。調査をした方が感じた調査地点の水の印象を示す指標です。



図 24 見た目の水のきれいさ

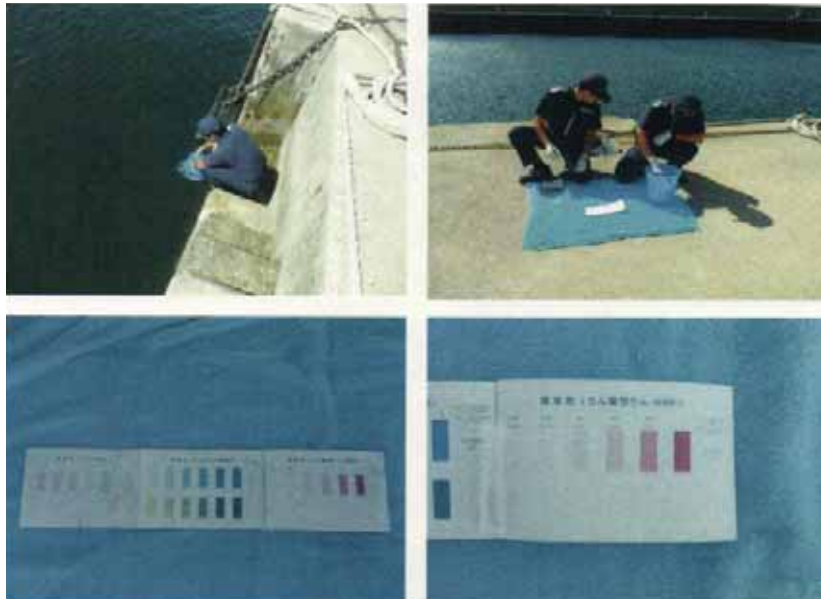
市街地を流れる河川の一部や、湾奥の一部で4以上の比較的水がきれいという評価がされており、見た目の印象は、COD等の調査結果よりもやや良い結果となっています。

ただし、湾奥の多くは2程度の比較悪結果となっています。二級河川や支川においても、1～2程度の比較悪結果が多くなっています。

3.3 調査状況写真

【団体名：第四管区海上保安本部（名古屋海上保安部・巡視艇あゆづき）】

調査日：平成26年8月26日



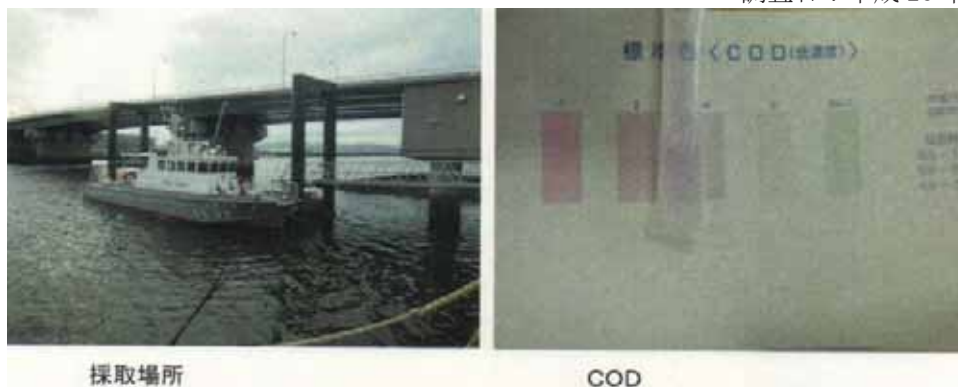
【団体名：第四管区海上保安本部（衣浦海上保安署）】

調査日：平成26年8月6日



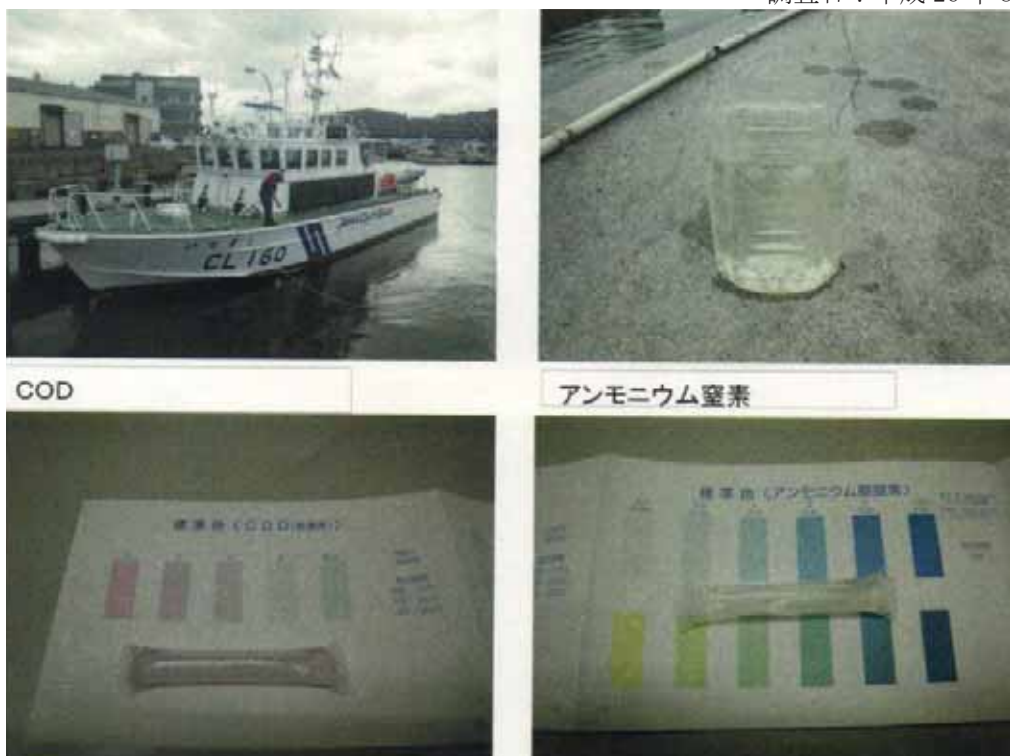
【団体名：第四管区海上保安本部（三河海上保安署）】

調査日：平成26年8月1日



【団体名：第四管区海上保安本部（四日市海上保安部）】

調査日：平成 26 年 8 月 6 日



【団体名：第四管区海上保安本部（中部空港海上保安航空基地）】

調査日：平成 26 年 8 月 6 日



【団体名：第四管区海上保安本部（鳥羽海上保安部）】

調査日：平成 26 年 8 月 6 日



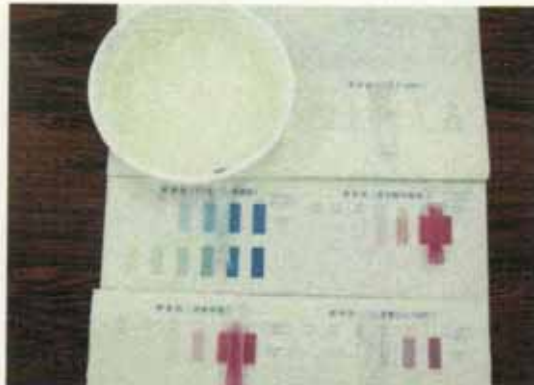
【団体名：第四管区海上保安本部（名古屋海上保安部）】

調査日：平成26年8月6日



採水時、ボラ(10センチ程度)の群れを多数確認しました。

バックテストの結果



【団体名：国土交通省中部地方整備局（三河港湾事務所 企画調整課）】

調査日：平成26年7月25日



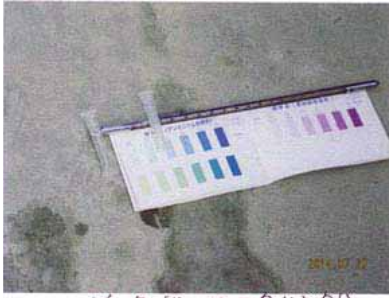
【団体名：スナメリの海 (1/2)】

調査日：平成26年7月27日



【団体名：スナメリの海 (2/2)】

調査日：平成 26 年 7 月 27 日



Sagami River Monitoring Chart



Turtle Nest Sign

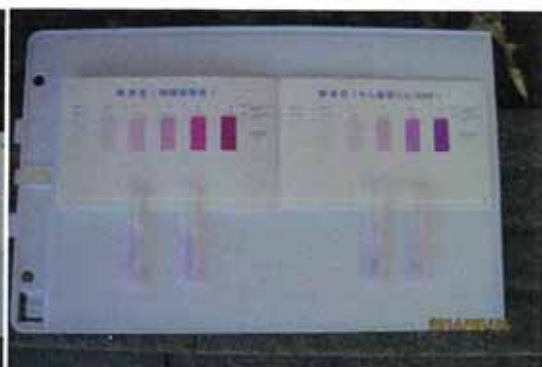


【団体名：エコネットあんじょう】

調査日：平成 26 年 7 月 31 日 8 月 4, 6 日

水質調査風景

2014.8.6



【団体名：東洋建設（株）】

調査日：平成 26 年 7 月 31 日



CO₂

NH₄



NO₂

NO₃



PO₄



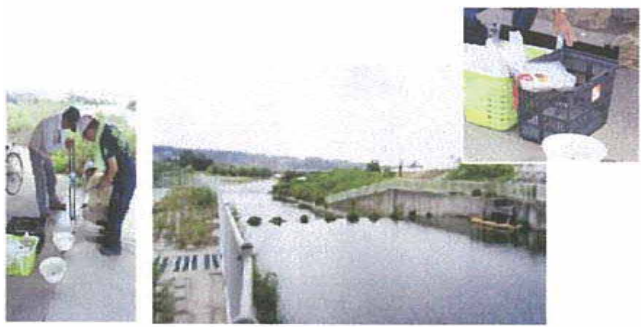
【団体名：みどりのまちづくりグループ】

調査日：平成 26 年 8 月 1 日



大谷川源流

大谷川、内津川合流点左が内津川、右が大谷川、



庄内川合流点前内津川

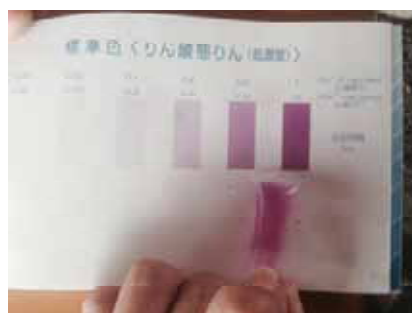
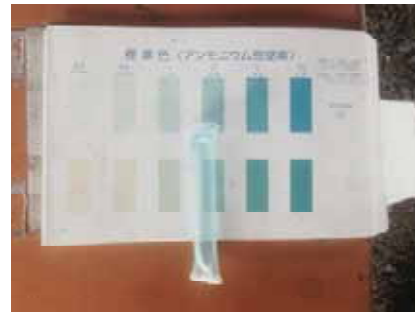


庄内川 2.8 km 地点



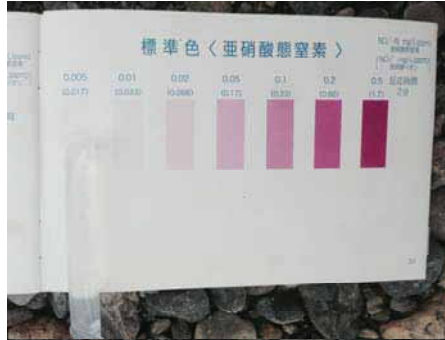
【団体名：伊勢湾流域圏再生ネットワーク(1/2)】

調査日：平成26年8月2,3,7日



【団体名：伊勢湾流域圏再生ネットワーク(2/2)】

調査日：平成26年8月2,3,7日



【団体名：西鹿乗川別所団地美化クラブ】

調査日：平成 26 年 8 月 3 日



【団体名：扇川を愛する緑の会(1/3)】

調査日：平成 26 年 8 月 3 日

伊勢湾流域圏一斉モニタリング（扇川：干潮時）

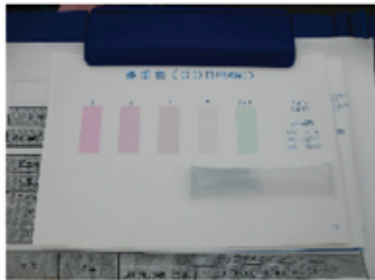
2014. 08. 03



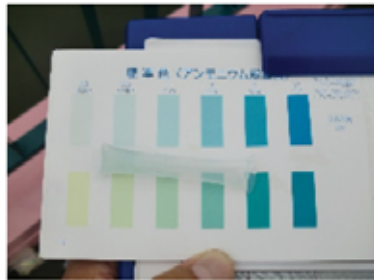
扇川上流



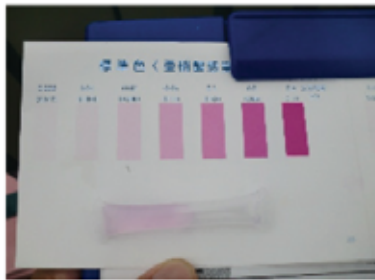
扇川下流



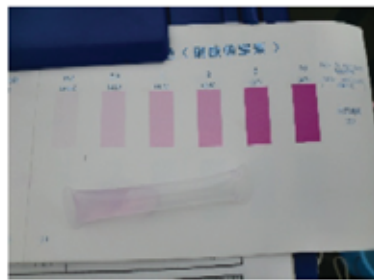
COD（低濃度）



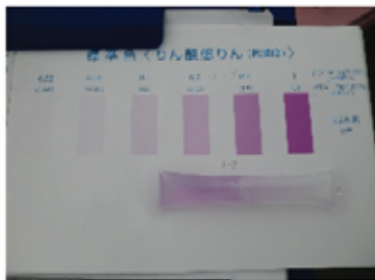
NH4



NO2



NO3



PO4



pH



コイ（体調40~60cm）

【団体名：扇川を愛する緑の会(2/3)】

調査日：平成 26 年 8 月 3 日

伊勢湾流域圏一斉モニタリング（扇川：満潮時）

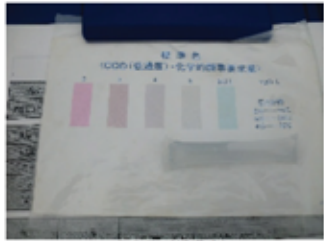
2014. 08. 03



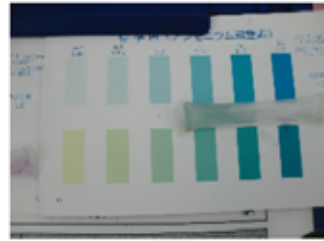
扇川上流



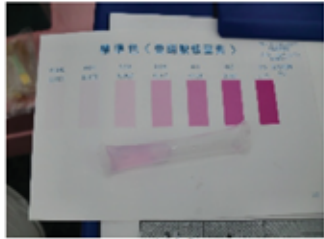
扇川下流



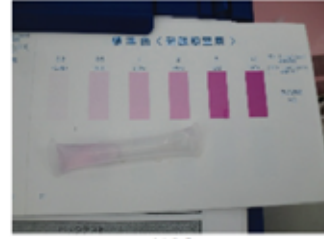
COD (低濃度)



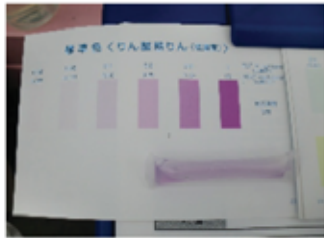
NH4



NO2



NO3



PO4



pH



水の色判定



ホラの群れ



藻類のピーク時によく見られる濁り汚れ？

【団体名：扇川を愛する緑の会(3/3)】

調査日：平成 26 年 8 月 3 日

伊勢湾流域圏一斉モニタリング（扇川上流：大池）

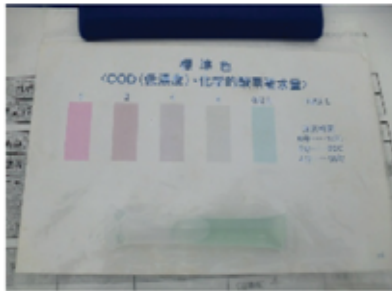
2014. 08. 03



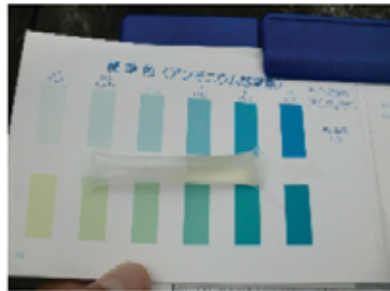
扇川上流：大池



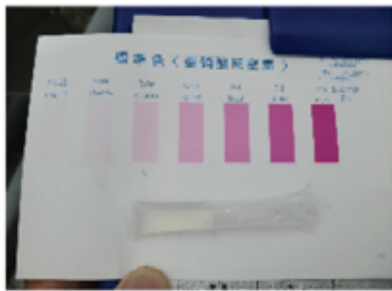
扇川への流出口付近（採水地点）



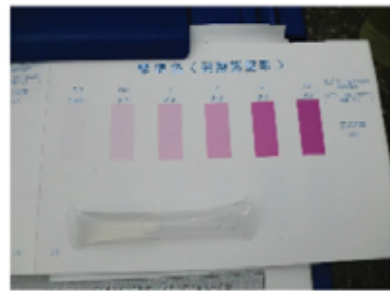
COD（低濃度）



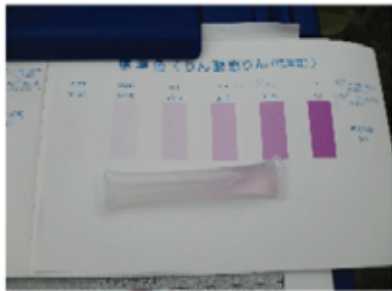
NH4



NO2



NO3



PO4



pH



カルガモ

【団体名：NPO 法人伊勢湾フォーラム】

調査日：平成 26 年 8 月 6 日



【団体名：庄内川に松並木づくり隊(庄内川に中川区の木黒松並木づくり隊)】

調査日：平成 26 年 8 月 6 日



【団体名：神野建設（株）】

調査日：平成26年8月6日

平成26年8月6日採水状況



井川津



星越海岸



白浜



名鉄西浦マリーナ



六条潟



検体比較

【団体名：NPO 藤前干潟を守る会】

調査日：平成 26 年 8 月 6 日



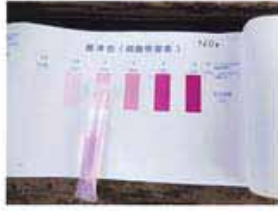
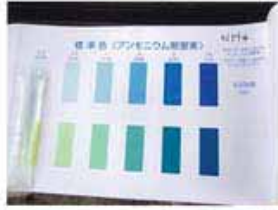
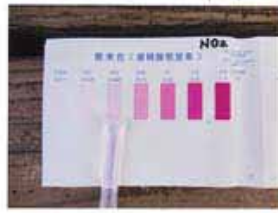
【団体名：梅田川フォーラム】

調査日：平成 26 年 8 月 9 日

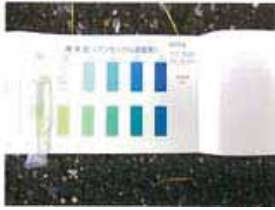
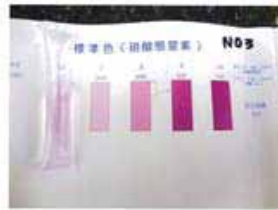
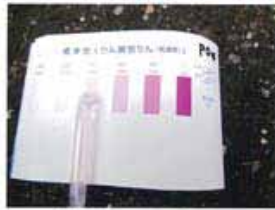
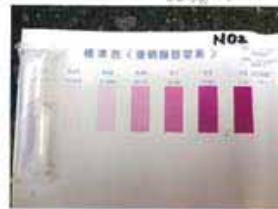


【団体名：池田町 四つ葉会】

調査日：平成 26 年 7 月 26 日



乳池川



【団体名：可児市めだかの楽校】

調査日：平成 26 年 8 月 2 日



どんな生き物がいるのかな？
水生生物をさがそう！！

2014/08/02 10:10



みんなで見つけた
水生生物の“出あわせ”

2014/08/02 10:40

【団体名：小里川ダム里山教室(1/2)】

調査日：平成 26 年 8 月 2 日



H26年度モニタリング調査隊（撮影者）



明徳橋上流方面



明徳橋下流方面



化学的酸素要求量COD 5 mg/L※主として



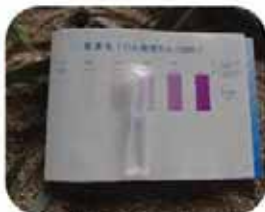
アンモニウム態窒素 0.2 mg/L※きれい



亜硝酸態窒素 0.008 mg/L※きれい



硝酸態窒素 0.4 mg/L※くない



りん酸態りん 0.05 mg/L※きれい



水生生物採取（ずいぶん多い）



カワカサムシ、カワカサムシゴリ、カワエビ



幸子橋小里川上流方面



幸子橋小里川下流方面



化学的酸素要求量COD 6 mg/L※少し多い



アンモニウム態窒素 0.2 mg/L※きれい



亜硝酸態窒素 0.005 mg/L※きれい



硝酸態窒素 0.2 mg/L※くない



りん酸態りん 0.05 mg/L※きれい



水生生物調査開始



オビゴロ、ヨシゴロ、カワエビ、
カワカサムシ、カワカサムシゴリ、
ハダコトンボ、オニヤンマ、シジミヤゴウ
観察

【団体名：小里川ダム里山教室(2/2)】

調査日：平成 26 年 8 月 2 日



【団体名：岐南町 建設課(1/3)】

調査日：平成 26 年 8 月 6 日



岐阜県羽島郡岐南町下印食4丁目 地内
木曾川水系 一級河川 境川



川面状況



川面接写



採水 水状態



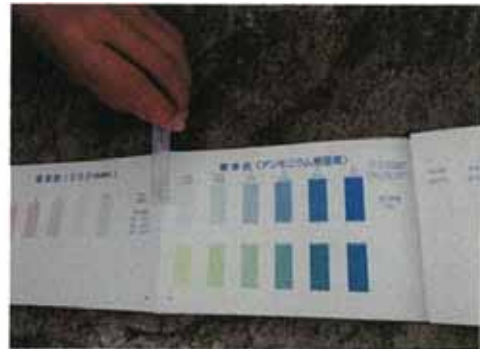
ゴミ等の状況
ペットボトルや空き缶が少々

【団体名：岐南町 建設課(2/3)】

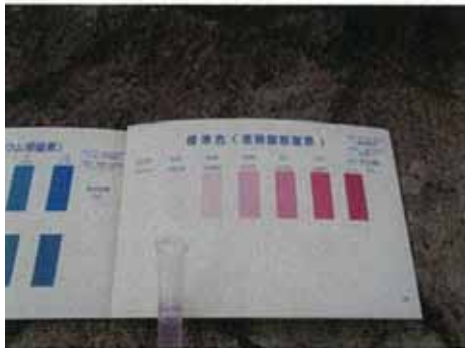
調査日：平成 26 年 8 月 6 日



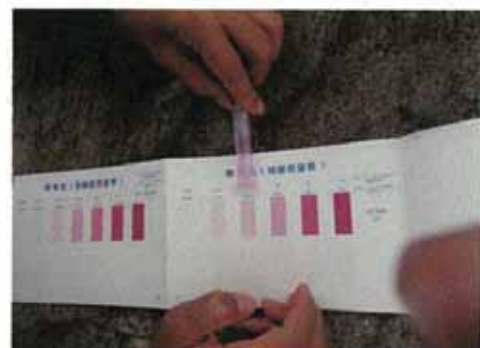
COD(化学的酸素要求量)



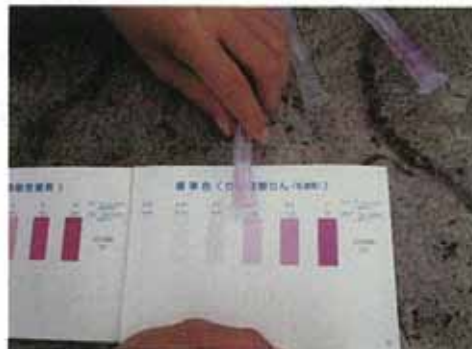
NH₄(アンモニウム態窒素)



NO₂(亜硝酸態窒素)



NO₃(硝酸態窒素)



PO₄(リン酸態リン)

【団体名：岐南町 建設課(3/3)】

調査日：平成 26 年 8 月 6 日



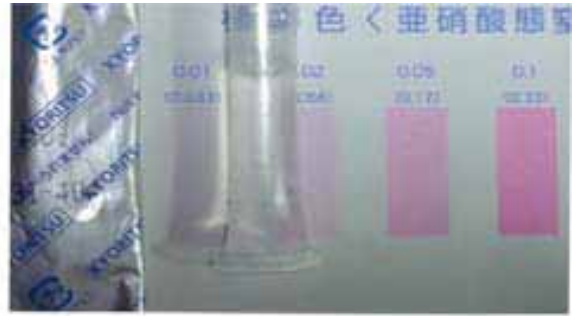
上流側の名鉄本線を望む



下流側の清六橋を望む

【個人：小野様】

調査日：平成 26 年 8 月 6 日



【団体名：生田川マモロード会】

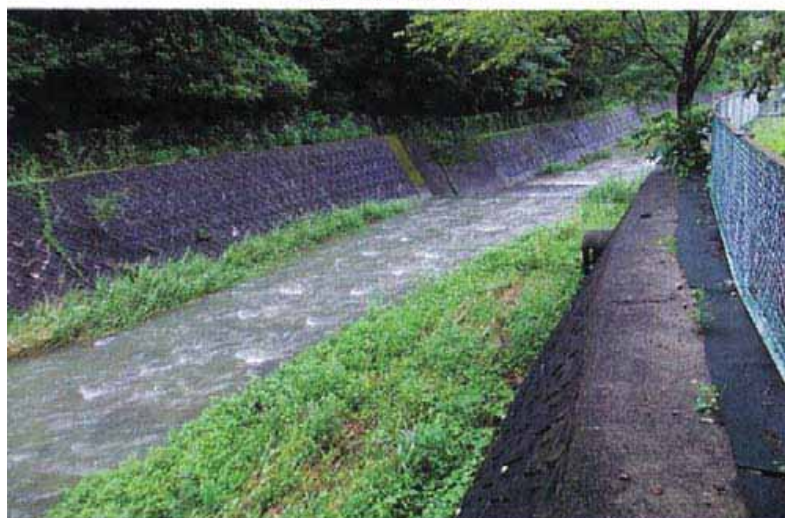
調査日：平成 26 年 8 月 9 日



パックテスト



水温測定の様子



一斉モニタリング調査地点

【団体名：ステイッチ】

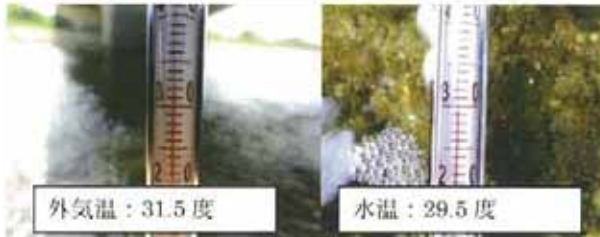
調査日：平成 26 年 8 月 16 日



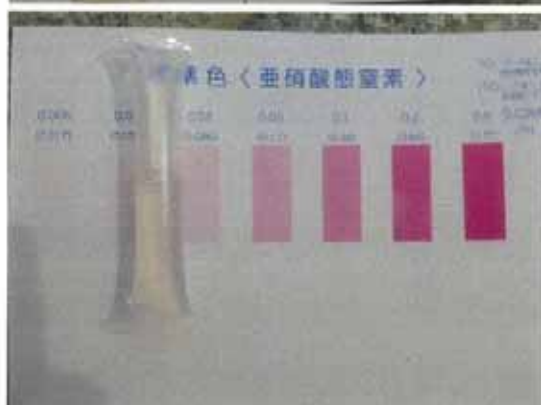
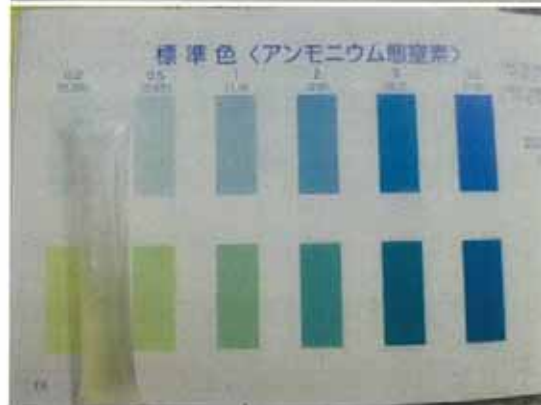
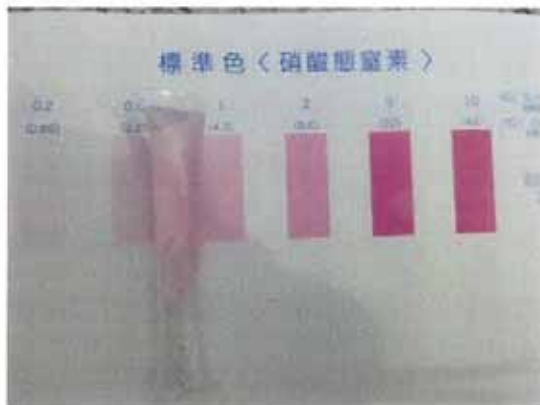
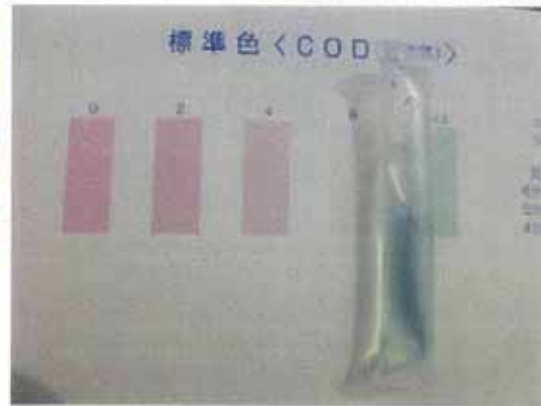
【団体名：富士ゼロックスマニュファクチャリング㈱鈴鹿事業所自然愛好会（1/11）】

調査日：平成 26 年 7 月 30 日

⑤安楽川西富田町 安楽大橋下（北緯 34.88、東緯 136.50）



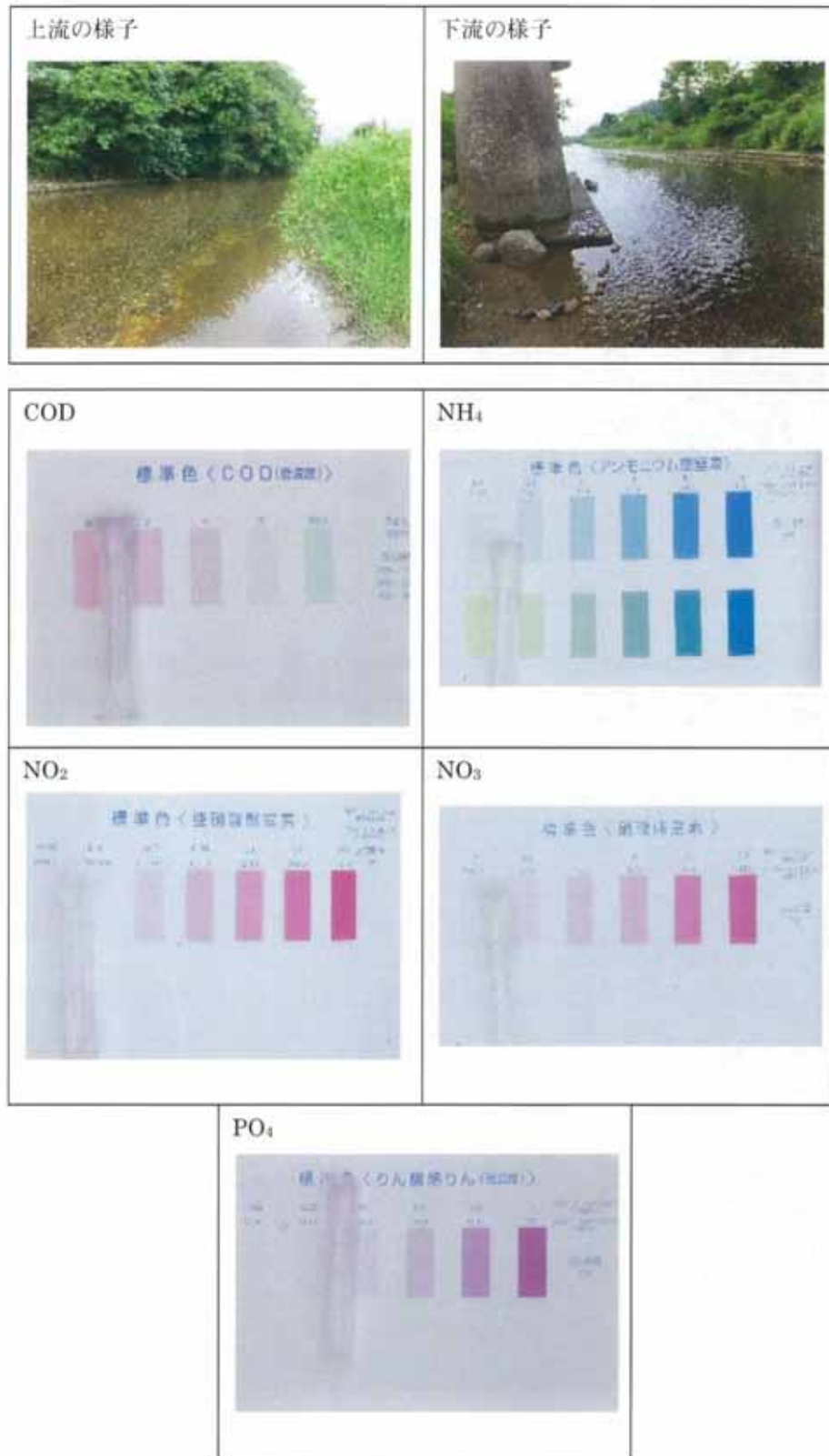
測定日時
2014/07/30 15:00 開始



【団体名：富士ゼロックスマニュファクチャリング㈱鈴鹿事業所自然愛好会 (2/11)】

調査日：平成 26 年 8 月 1 日

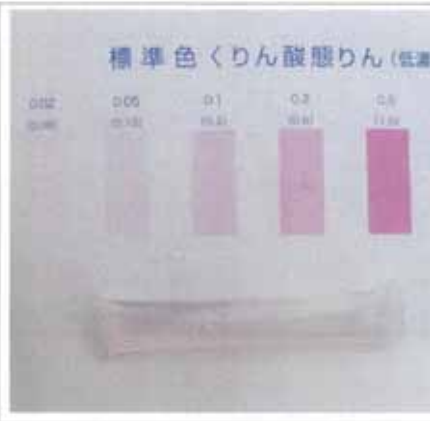
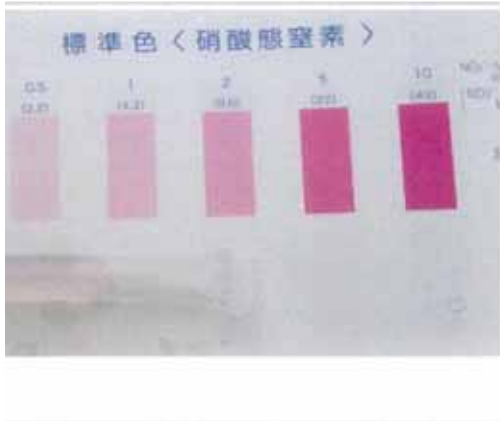
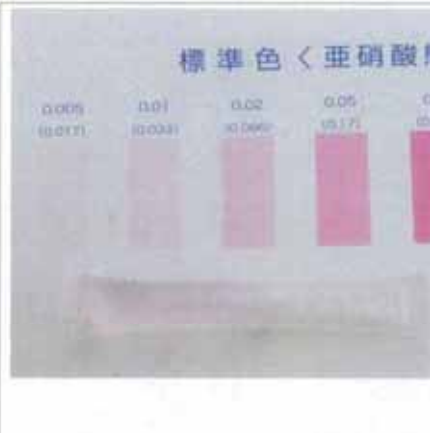
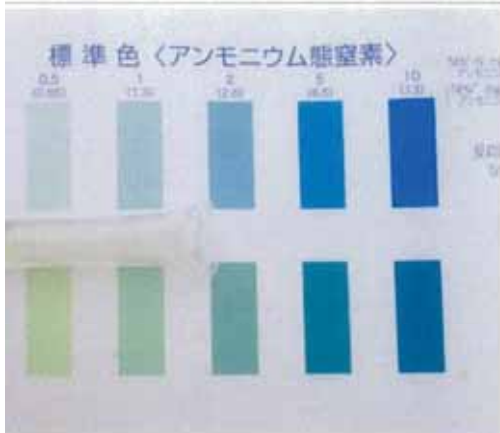
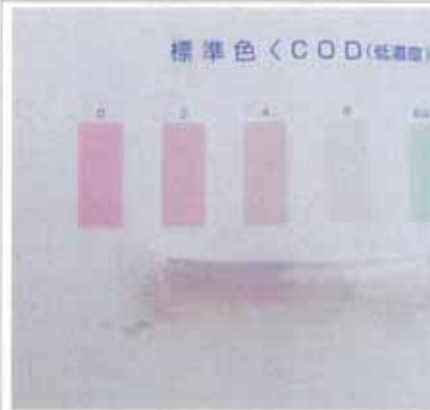
8 月 1 日 AM 9:30 頃 御幣川



【団体名：富士ゼロックスマニュファクチャリング(株)鈴鹿事業所自然愛好会 (3/11)】

調査日：平成 26 年 8 月 2 日

鈴鹿川派川 五味塚橋



【団体名：富士ゼロックスマニュファクチャリング(株)鈴鹿事業所自然愛好会 (4/11)】

調査日：平成26年8月1日

伊勢湾流域一斉水質調査

平成26年8月1日調査

2/2

調査地点：三滝川支流矢合川 東名阪自動車道 高架下 四日市市智積町付

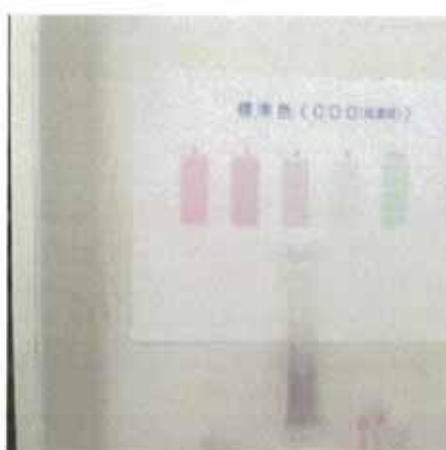
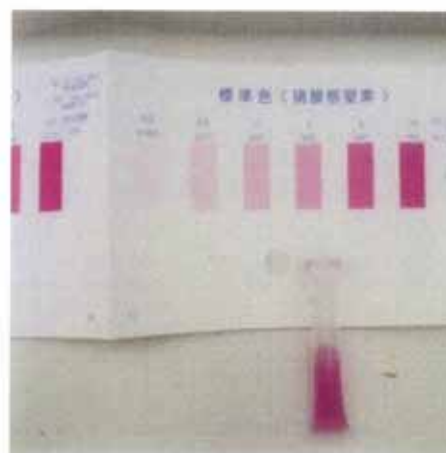
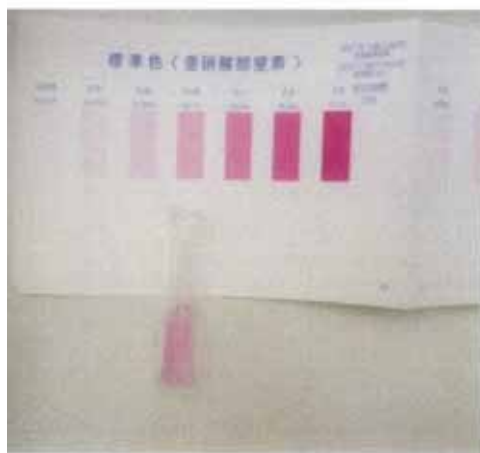
当日の現地写真



【団体名：富士ゼロックスマニュファクチャリング(株)鈴鹿事業所自然愛好会 (5/11)】

調査日：平成 26 年 8 月 1 日

三滝川支川矢合川



【団体名：富士ゼロックスマニュファクチャリング(株)鈴鹿事業所自然愛好会 (6/11)】

調査日：平成26年8月2日

鈴鹿川高岡橋東



【団体名：富士ゼロックスマニュファクチャリング(株)鈴鹿事業所自然愛好会 (7/11)】

調査日：平成26年8月2日

鈴鹿川高岡橋東



【団体名：富士ゼロックスマニファクチュアリング(株)鈴鹿事業所自然愛好会 (8/11)】

調査日：平成 26 年 7 月 30 日、8 月 3 日

亀山市小下町名阪国道高架下 (7月30日)



鈴鹿川山辺町南岸 (8月3日)



鈴鹿川本郷橋下 (8月3日)

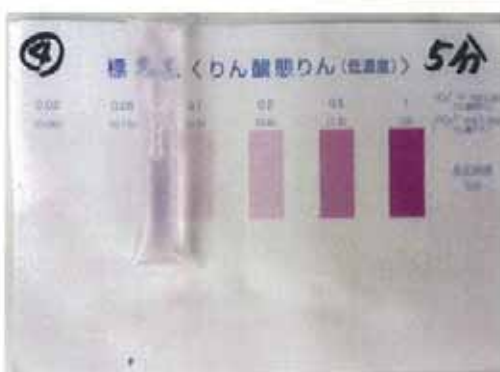
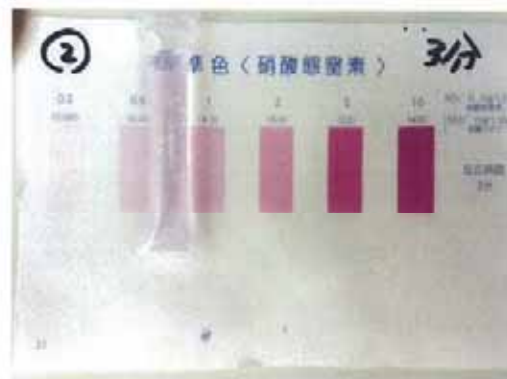
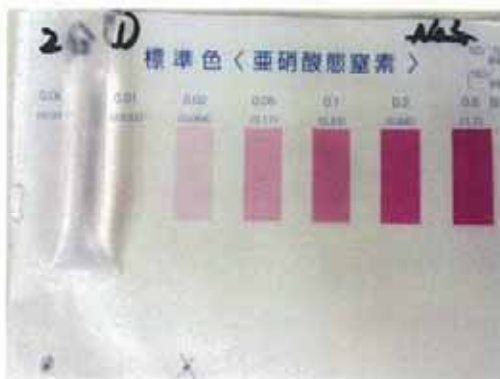
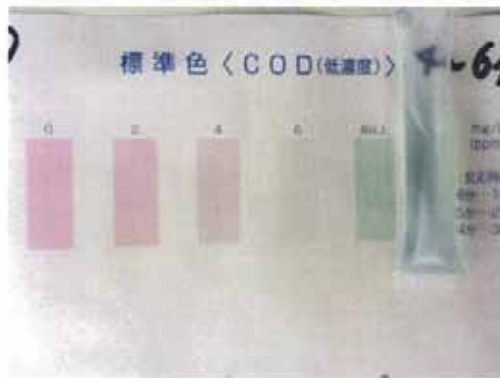


【団体名：富士ゼロックスマニュファクチャリング(株)鈴鹿事業所自然愛好会 (9/11)】

調査日：平成 26 年 8 月 3 日

鈴鹿川 平和橋

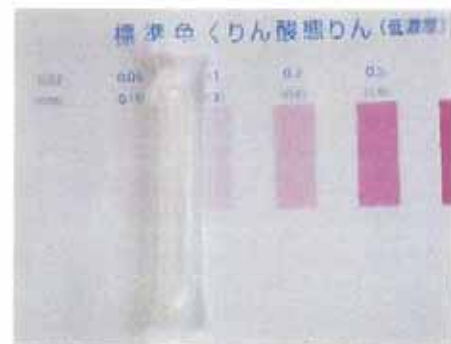
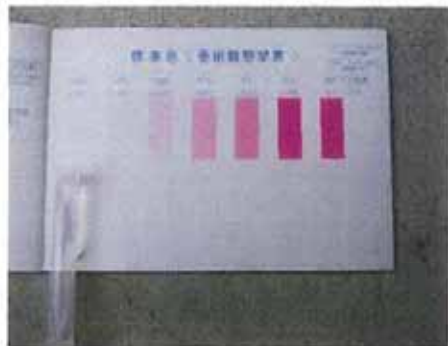
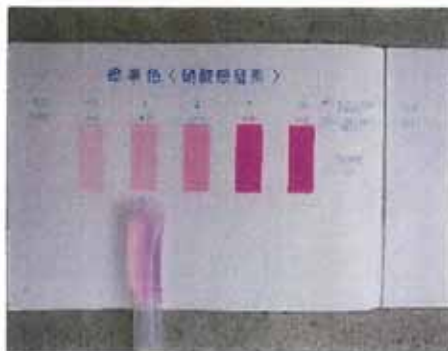
2014/08/03



【団体名：富士ゼロックスマニュファクチャリング㈱鈴鹿事業所自然愛好会（10/11）】

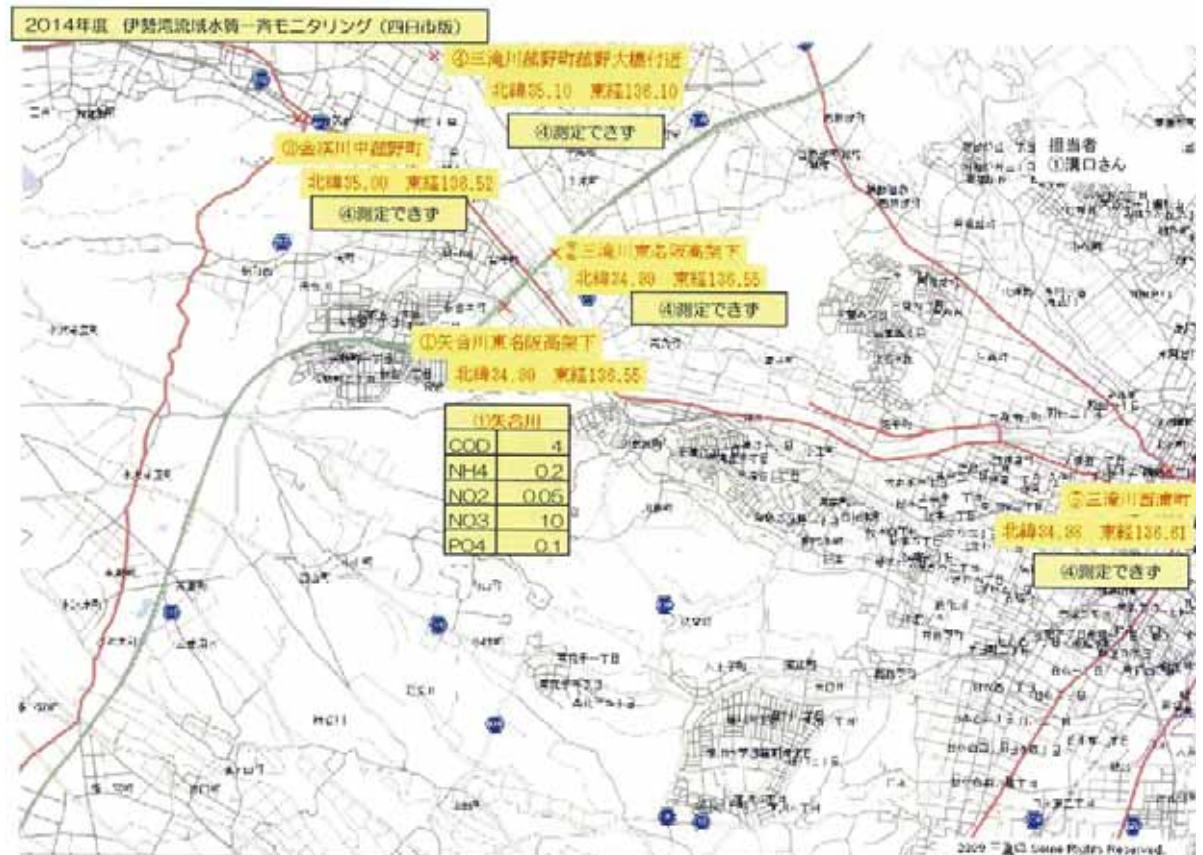
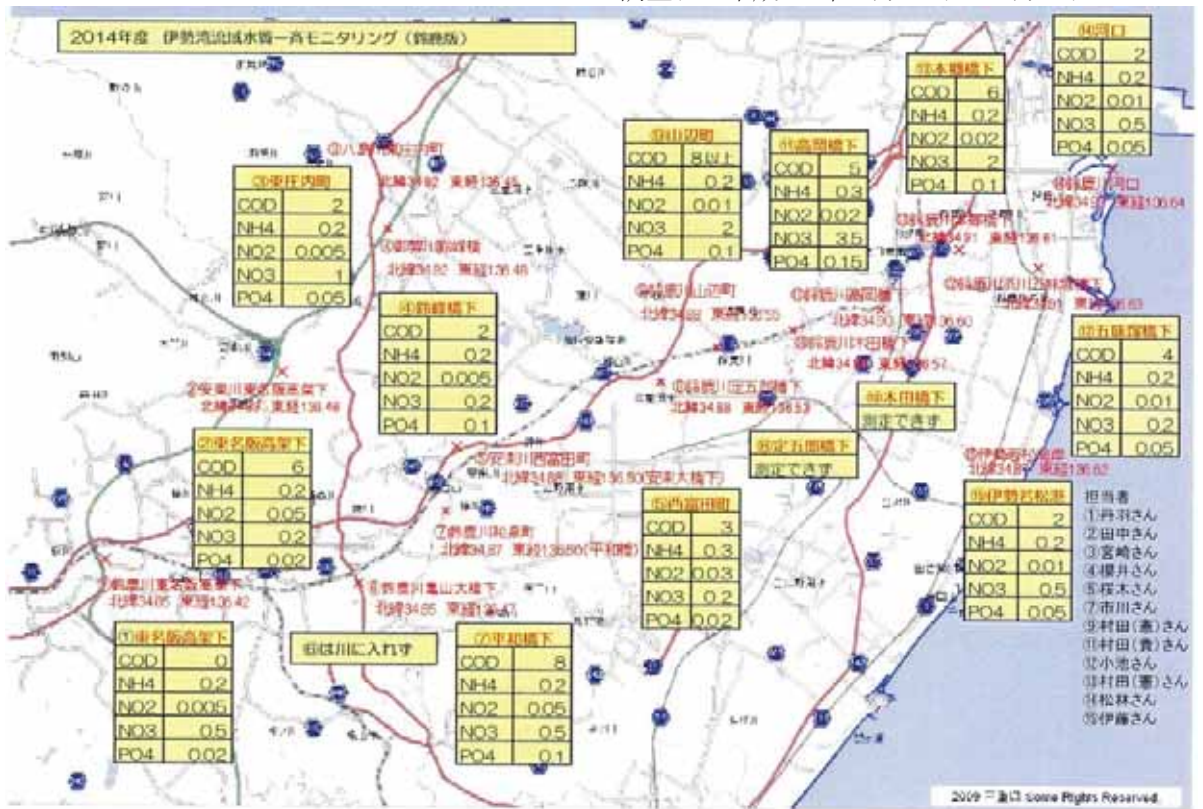
調査日：平成26年8月5日

八島川



【団体名：富士ゼロックスマニュファクチャリング㈱鈴鹿事業所自然愛好会（11/11）】

調査日：平成26年7月30日～8月5日



(図中の各数値の単位：mg/L)

【団体名：NPO 法人 緑の会羽津】

調査日：平成 26 年 7 月 31 日

水質調査風景

平成26年7月31日
NPO法人 緑の会羽津
(米洗川探検グループ)



“米洗川をきれいにしよう。”の取組み

平成 26 年 7 月 31 日
NPO法人 緑の会羽津
(米洗川探検グループ)

私たちが水質調査をしている米洗川は、1300年の歴史のある川で、日本書紀に「壬申の乱が起きた、天武天皇が速太川（とほかわ）のほとりて戦勝を祈願されて、神宮を遷す」と記されています。その速太川が現在の米洗川と言われています。
その米洗川を調査した資料を地域の方に広報するため、パネルにして防護柵に取り付けました。同時に“米洗川をきれいにしよう。”のパネルも取り付けました。



【団体名：雲出川愛護モニター（1/3）】

調査日：平成 26 年 8 月 2 日

伊勢湾流域圏一斉モニタリング

平成 26 年 8 月 2 日(土) 晴れ 中村川一志橋付近 雲出川愛護モニター



日付：平成 26 年 8 月 2 日(土) 8 時 49 分 名前 由利 嘉朗

当日の天気：曇り(前日の天気：晴れ) 気温 35 度 水温 28 度
 水を取った場所：緯度 34.623 経度 136.460
 中村川一志橋付近 三重県松阪市雄野一志町 一志橋左岸 10m 下流

気付いたこと 小潮 満潮 9:22 干潮 15:22
 川幅 50 位ぐらいで川岸はコンクリートで固められています。川の流れは急流で、川底は砂地で透明度は良い。魚も観察され、水を取ると透明度もよく、不純物も確認できませんでした。不法投棄・生活ごみ・油膜等もなく、水環境は概ねいいと思います。 魚影 チュウサギ

	COD(化学的酸素要求量)0~8	NH ₄ ⁺ (アンモニウム態窒素) 0.2~10	NO ₂ ⁻ (亜硝酸態窒素) 0.005~0.5	NO ₃ ⁻ (硝酸態窒素) 0.2~10	PO ₄ ⁻ (リン酸態リン) 0.02~1
平成 26 年 8 月 2 日	6	0.2	0.02	1.0	0.5
平成 25 年 7 月 27 日	8	0.5	0.02	0.5	0.2

(単位：mg/L)

伊勢湾流域圏一斉モニタリング

平成 26 年 8 月 2 日(土) 曇り 飯内川三郷井間 自然環境保全指導委員



日付：平成 26 年 8 月 2 日 9 時 32 分 名前 由利嘉朗

当日の天気：曇り(前日の天気：晴れ) 気温 33 度 水温 29 度
 水を取った場所：緯度 34.569 経度 136.521
 飯内川三郷井間 三重県松阪市飯内川親水公園右岸 五曲橋上流約 200 ㍍

気付いたこと 小潮 満潮 9:22 干潮 15:22
 川幅 30 位ぐらいで川岸はコンクリートで固められています。川の流れは緩やかで、川底は藻で覆われ、透明度も高く魚も沢山目視できます。水を取ると不純物・匂いもなく、藻が少し混ざる程度でした。ミジンコ カイツブリ
 採取場所は、住宅街に流れる河川ですが、公園整備が行き届き不法投棄・生活ごみなどが確認できず、環境整備は概ね良好だと思います。

	COD(化学的酸素要求量)0~8	NH ₄ ⁺ (アンモニウム態窒素) 0.2~10	NO ₂ ⁻ (亜硝酸態窒素) 0.005~0.5	NH ₃ (硝酸態窒素) 0.2~10	PO ₄ ⁻ (リン酸態リン) 0.02~1
平成 26 年 8 月 2 日	6	0.2	0.01	0.5	0.1
平成 26 年 7 月 27 日	8	0.2	0.05	0.2	0.05

(単位：mg/L)

調査日：平成 26 年 8 月 2 日

伊勢湾流域圏一斉モニタリング

平成 26 年 8 月 2 日(土) 晴れ 愛宕川潮止通門 自然環境保全指導員



日付：平成 26 年 8 月 2 日 9 時 59 分 名前 由利 嘉朗
 当日の天気：曇り(前日の天気：晴れ) 気温 30 度 水温 28 度
 水を取った場所： 緯度 34.586 経度 136.557
 愛宕川潮止通門 三重県松阪市大口町 愛宕川左岸潮止通門 50 以下流

気付いたこと 小潮 満潮 9:22 干潮 15:22
 川幅 30 ぐらいで川岸はコンクリートで固められている。上流部分はアシ群で覆われ、護岸堤防上は植物が覆っています。バックテスト・水質調査の際は、満潮時に近く水量が多く、河底面が見えません。海面にはミドリガメ 3 匹、ボラ稚魚が群れ、昨年度の干潮時と随分異なった感じです。COD 数値も水量の影響が昨年と異なり良い値が観られます。どぶ臭きの匂いも海の匂いが強く感じられますが、透明度は悪く土色・黄土色です。 ミドリガメ ボラ

COD(化学的酸素要求量)0~8	NH ₄ ⁺ (アンモニウム態窒素) 0.2~10	NO ₂ ⁻ (亜硝酸態窒素) 0.005~0.5	NH ₃ (硝酸態窒素) 0.2~10	PO ₄ ⁻ (リン酸態リン) 0.02~1
平成 26 年 8 月 2 日 4	0.2	0.1	0.2	0.5
平成 25 年 7 月 27 日 6	0.5	0.2	0.5	0.5

(単位：mg/L)

伊勢湾流域圏一斉モニタリング

平成 26 年 8 月 2 日(土) 晴れ 金剛川潮止通門 自然環境保全指導員



日付：平成 26 年 8 月 2 日(土) 10 時 16 分 名前 由利 嘉朗
 当日の天気：曇り(前日の天気：晴れ) 気温 29 度 水温 28 度
 水を取った場所： 緯度 34.589 経度 136.561
 金剛川潮止通門 三重県松阪市高須町 金剛川潮止通門下

気付いたこと 小潮 満潮 9:22 干潮 15:22
 川幅 70 ぐらいで、コンクリートで固められています。川の流は緩やかで透明度は悪く、土色です。満潮時で河口側の水量は豊富でした。通門上流で水を取ると透明度が悪く、土色です。匂いは、かすかにヘドロ臭く、ウロも確認できます。潮止通門の上流部はアシが多く、シラサギ等が群生・捕食。下流部はハマボウの花が咲き、アシ群も多く生息していますが、ペットボトル・発泡スチロール等が多く、植物周りを埋め尽くしています。ミドリガメ セイゴを確認

COD(化学的酸素要求量)0~8	NH ₄ ⁺ (アンモニウム態窒素) 0.2~10	NO ₂ ⁻ (亜硝酸態窒素) 0.005~0.5	NH ₃ (硝酸態窒素) 0.2~10	PO ₄ ⁻ (リン酸態リン) 0.02~1
平成 26 年 8 月 2 日 5	0.2	0.05	1.0	0.5
平成 25 年 7 月 27 日 8	0.2	0.1	0.5	1.0

(単位：mg/L)

調査日：平成 26 年 8 月 2 日

伊勢湾流域圏一斉モニタリング

平成 26 年 8 月 2 日(土) 晴れ 三渡川千貫通門 自然環境保全指導員



日付：平成 26 年 8 月 2 日(土) 10 時 48 分 名前 由利 嘉則
 当日の天気：曇り(前日の天気：晴れ) 気温 32 度 水温 29 度
 水を取った場所：緯度 34.009 経度 136.511
 三渡川千貫通門 三重県松阪市錦野津屋城町 三渡橋 150 以上渡
 気付いたこと 小潮 満潮 9:22 干潮 15:22
 川幅 15 ぐらいで川岸はコンクリートで固められています。川の流れはなく、水際も浅く川底は土色で透明度は低い。水を取ると不純物・匂いも少なく・油膜は確認できませんでした。堆積物はヘドロ状態で泥臭い匂いがします。三渡川と合流し、鮎の群れが確認できました。護岸周りは樹木で覆われ、小島の隅りが確認できます。動植物も多く水質調査の際、バクが多く確認でき、不法投棄等生活ごみは確認できませんでした。アメンボ ニナ カニ穴

COD(化学的酸素要求量)0~8	NH ₄ ⁺ (アンモニウム態窒素) 0.2~10	NO ₂ ⁻ (亜硝酸態窒素) 0.005~0.5	NH ₃ (総態窒素) 0.2~10	PO ₄ ⁻ (リン酸態リン) 0.02~1
平成 26 年 8 月 2 日 6	0.2	0.02	1.0	0.5
平成 25 年 7 月 27 日 8	0.2	0.01	0.5	0.2

(単位：mg/L)

伊勢湾流域圏一斉モニタリング

平成 26 年 8 月 2 日(土) 晴れ 新井関門 雲出川愛護モニター



日付：平成 26 年 8 月 2 日(土) 11 時 25 分 名前 由利 嘉則
 当日の天気：曇り(前日の天気：晴れ) 気温 32 度 水温 28 度
 水を取った場所：緯度 34.663 経度 136.456
 雲出川新井関門 三重県津市久居小戸木町 小戸木橋 300 以上左岸
 気付いたこと 小潮 満潮 9:22 干潮 15:22
 川幅は 200 ぐらいで川岸はコンクリートで固められている。川の流れは急流で川底は砂地です。透明度は良く魚が目視できます。水を取ると不純物・匂いもなく、飲みそうな感じです。堰の上流で水を採取しましたが、子アユが群れ、他の魚も多いようです。網を入れると川エビも多くとれそうです。周りの環境は、動植物も多く、シツサギが数羽確認できました。

COD(化学的酸素要求量)0~8	NH ₄ ⁺ (アンモニウム態窒素) 0.2~10	NO ₂ ⁻ (亜硝酸態窒素) 0.005~0.5	NH ₃ (総態窒素) 0.2~10	PO ₄ ⁻ (リン酸態リン) 0.02~1
平成 26 年 8 月 2 日 4	0.2	0.02	1.0	0.1
平成 25 年 7 月 27 日 6	0.2	0.01	0.2	0.1

(単位：mg/L)

【団体名：名古屋みなと建設工事安全連絡協議会】

調査日：平成 26 年 8 月 1 日

モニタリング調査状況

H26.8.1

透明度調査



採水



試料採取(採水)



試料採取(採水・水温)



パックテスト



記念撮影



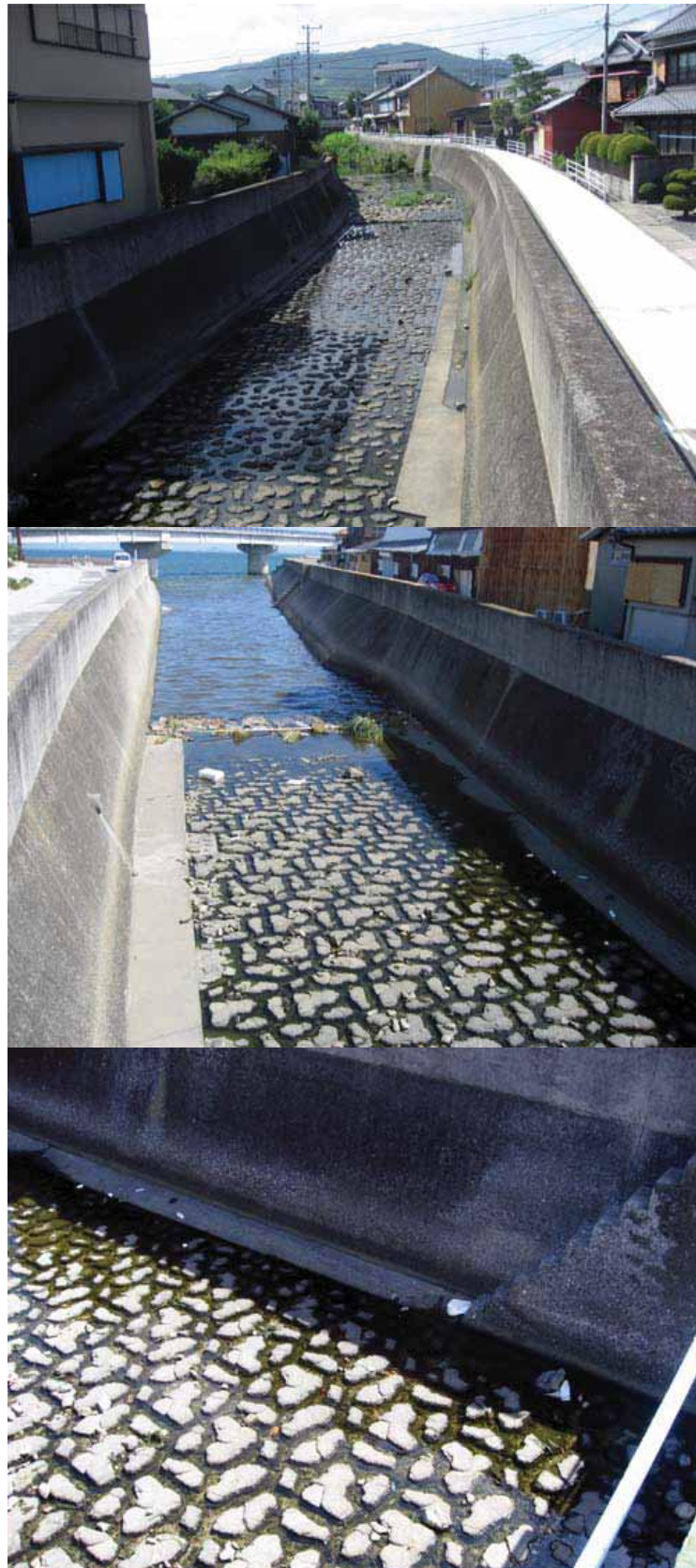
【団体名：シャープビジネスソリューション株式会社】

調査日：平成 26 年 8 月 6 日



【団体名：蒲郡市 企画広報課】

調査日：平成 26 年 8 月 6 日



【団体名：土岐市】

調査日：平成 26 年 7 月 31 日

土岐市 カワゲラウオッチング 26.07.31 実施状況写真



鶴里町中沢地区(妻木川上流)



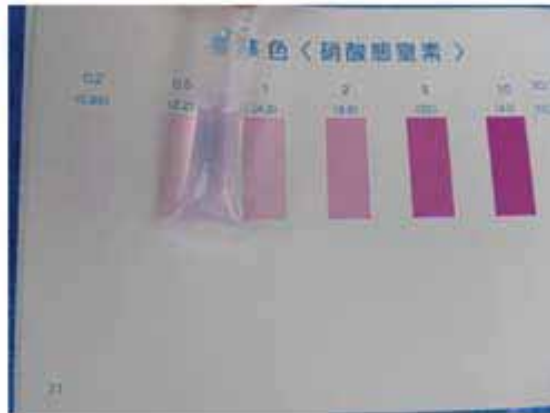
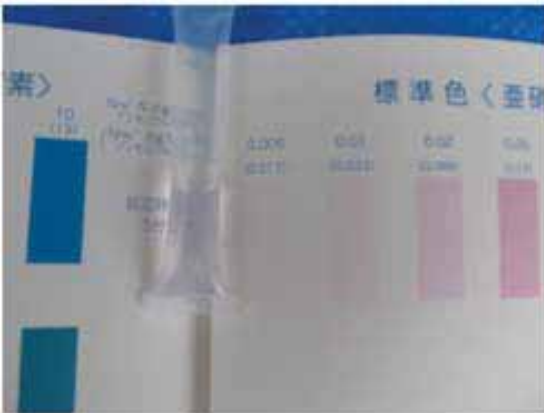
御幸橋下流(妻木川下流)



濃南中学校駐車場付近
(肥田川上流)

【団体名：小塩通信】

調査日：平成 26 年 8 月 3 日



【団体名：フェザー安全剃刃株式会社 関工場】

調査日：平成 26 年 8 月 7 日



採水場所の様子①



採水場所の様子②

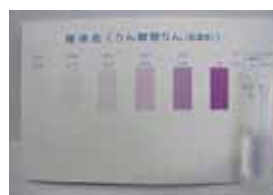
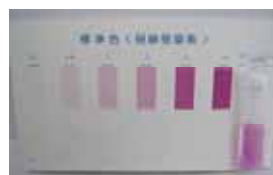


採水場所の下流



魚の群れ

試験結果



【団体名：十四川を守る会】

調査日：平成 26 年 8 月 5 日

◆調査場所・・・十四川河口(豊栄橋)



測定場所でのサンプル水採取



測定場所を上流より望む



水温調査



バックテスト比較



バックテスト



水道水(左)と十四川河口水(右)との比較

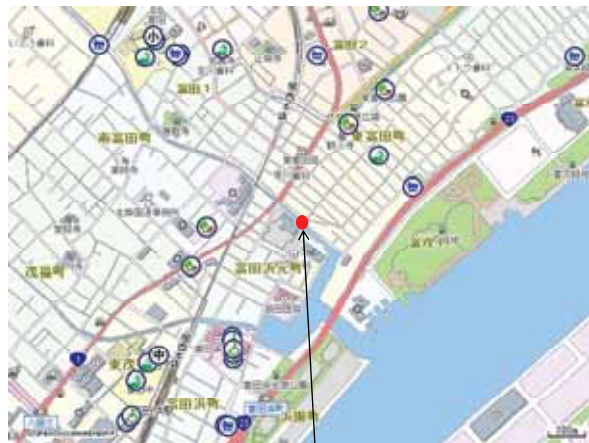


測定位置より上流の川の状態



調査を終えて

四日市市東富田3丁目 豊栄橋



水質調査場所

【団体名：NPO 法人市民ネットワーク すずかのぶどう（亀山の自然環境を愛する会）】

調査日：平成 26 年 8 月 6 日

鈴鹿川 亀山橋上流
河川 22km地点



鈴鹿川 26km地点



【団体名：NPO 法人市民ネットワーク すずかのぶどう（地球クラブ）】

調査日：平成 26 年 8 月 6 日



【団体名：市民ネットワーク すずかのぶどう(株式会社建設環境研究所)】

調査日：平成 26 年 8 月 6 日



簡易テスト比色



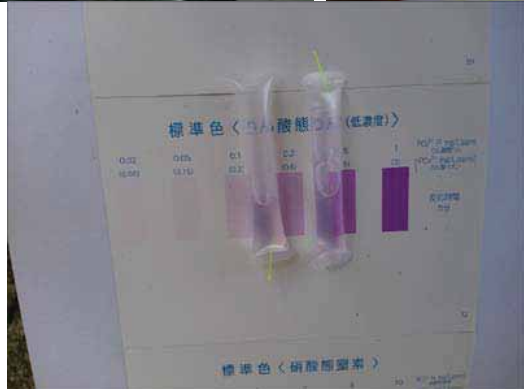
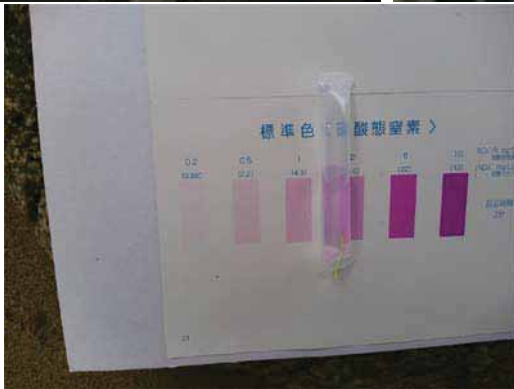
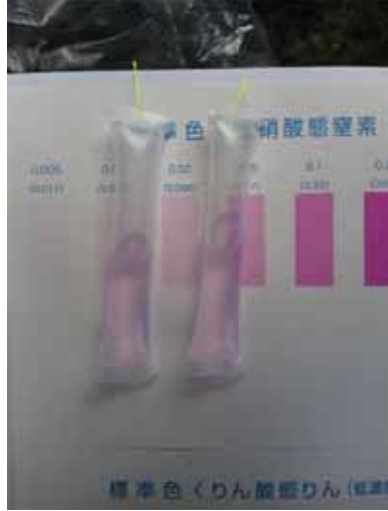
調査実施状況



調査地点の状況

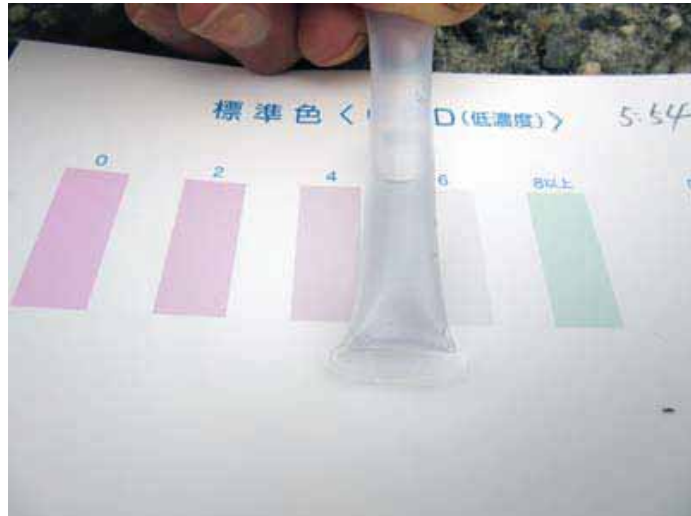
【団体名：四日市市立山手中学校】

調査日：平成 26 年 8 月 6 日



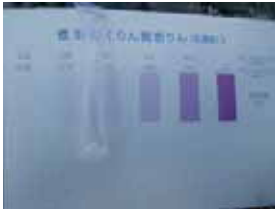
【団体名：高松干潟を守ろう会】

調査日：平成 26 年 8 月 11 日

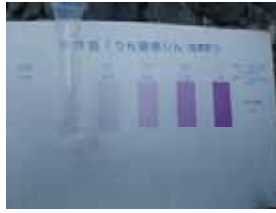


【団体名：桑名市光陵中学（1/2）】

調査日：平成 26 年 8 月 7 日



活動状況写真（1）



活動状況写真（2）



活動状況写真（7）



活動状況写真（8）



活動状況写真（3）



活動状況写真（4）



活動状況写真（9）



活動状況写真（10）



活動状況写真（5）



活動状況写真（6）



活動状況写真（11）



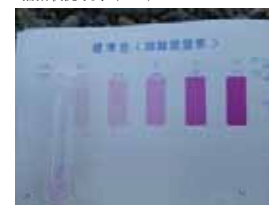
活動状況写真（12）



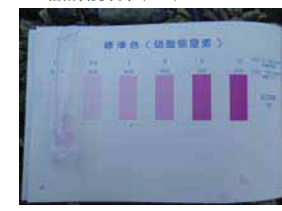
活動状況写真（13）



活動状況写真（14）



活動状況写真（19）



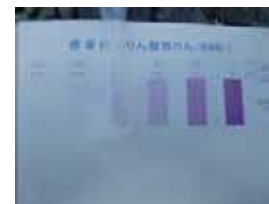
活動状況写真（20）



活動状況写真（15）



活動状況写真（16）



活動状況写真（21）



活動状況写真（17）



活動状況写真（18）

【団体名：桑名市光陵中学（2/2）】

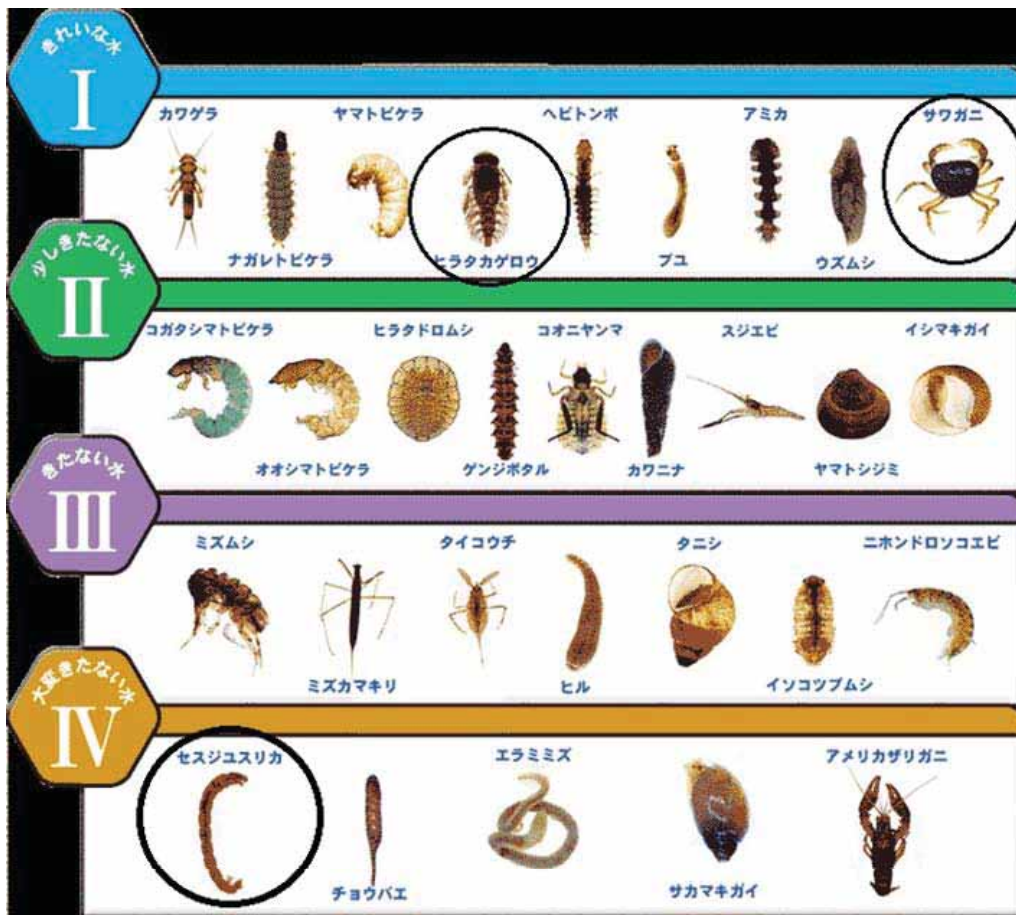
調査日：平成 26 年 8 月 7 日



環境写真（4）



環境写真（5）



指標生物

【団体名：いなべ市役所 生活環境課 (1/2)】

調査日：平成26年8月6日



業務名：いなべ市環境分析業務
調査地点：大鈴石川河川水
調査年月日：平成26年8月6日
調査内容：全景



業務名：いなべ市環境分析業務
調査地点：員弁川河川水(北勢大橋)
調査年月日：平成26年8月6日
調査内容：全景



業務名：いなべ市環境分析業務
調査地点：大鈴石川河川水
調査年月日：平成26年8月6日
調査内容：採取状況



業務名：いなべ市環境分析業務
調査地点：員弁川河川水(北勢大橋)
調査年月日：平成26年8月6日
調査内容：採取状況



業務名：いなべ市環境分析業務
調査地点：大鈴石川河川水
調査年月日：平成26年8月6日
調査内容：分析試料



業務名：いなべ市環境分析業務
調査地点：員弁川河川水(北勢大橋)
調査年月日：平成26年8月6日
調査内容：分析試料



業務名：いなべ市環境分析業務
調査地点：相模川河川水
調査年月日：平成26年8月6日
調査内容：全景



業務名：いなべ市環境分析業務
調査地点：員弁川河川水(最上流)
調査年月日：平成26年8月6日
調査内容：全景



業務名：いなべ市環境分析業務
調査地点：相模川河川水
調査年月日：平成26年8月6日
調査内容：採取状況



業務名：いなべ市環境分析業務
調査地点：員弁川河川水(最上流)
調査年月日：平成26年8月6日
調査内容：採取状況



業務名：いなべ市環境分析業務
調査地点：相模川河川水
調査年月日：平成26年8月6日
調査内容：分析試料



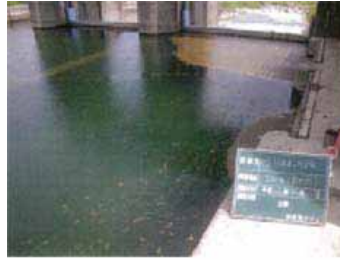
業務名：いなべ市環境分析業務
調査地点：員弁川河川水(最上流)
調査年月日：平成26年8月6日
調査内容：分析試料

【団体名：いなべ市役所 生活環境課 (2/2)】

調査日：平成26年8月6日



業務名：いなべ市環境分析業務
調査地点：宇賀川河川水
調査年月日：平成26年8月6日
調査内容：全量



業務名：いなべ市環境分析業務
調査地点：真井川河川水(橋下流)
調査年月日：平成26年8月6日
調査内容：全量



業務名：いなべ市環境分析業務
調査地点：宇賀川河川水
調査年月日：平成26年8月6日
調査内容：採取状況



業務名：いなべ市環境分析業務
調査地点：真井川河川水(橋下流)
調査年月日：平成26年8月6日
調査内容：採取状況



業務名：いなべ市環境分析業務
調査地点：宇賀川河川水
調査年月日：平成26年8月6日
調査内容：分析試料



業務名：いなべ市環境分析業務
調査地点：真井川河川水(橋下流)
調査年月日：平成26年8月6日
調査内容：分析試料



業務名：いなべ市環境分析業務
調査地点：山神川河川水
調査年月日：平成26年8月6日
調査内容：全量



業務名：いなべ市環境分析業務
調査地点：戸上川河川水
調査年月日：平成26年8月6日
調査内容：全量



業務名：いなべ市環境分析業務
調査地点：山神川河川水
調査年月日：平成26年8月6日
調査内容：採取状況



業務名：いなべ市環境分析業務
調査地点：戸上川河川水
調査年月日：平成26年8月6日
調査内容：採取状況



業務名：いなべ市環境分析業務
調査地点：山神川河川水
調査年月日：平成26年8月6日
調査内容：分析試料



業務名：いなべ市環境分析業務
調査地点：戸上川河川水
調査年月日：平成26年8月6日
調査内容：分析試料

【団体名：宮川流域ルネッサンス協議会（1/2）】

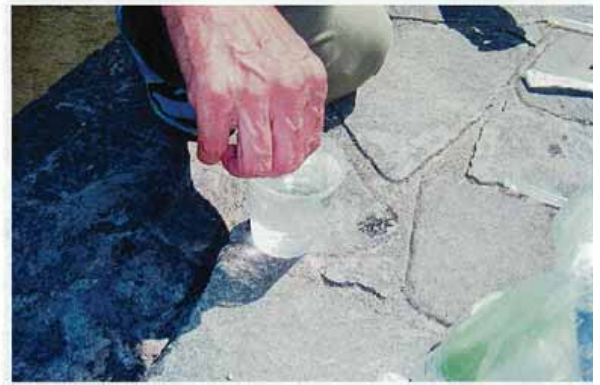
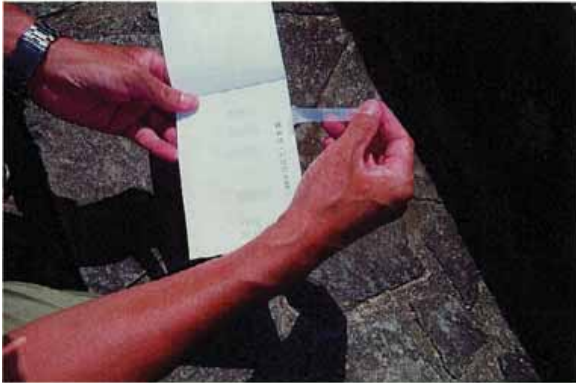
調査日：平成 26 年 8 月 6 日



【団体名：宮川流域ルネッサンス協議会 (2/2)】

調査日：平成 26 年 8 月 6 日

五十鈴川(伊勢市浦田町)



【団体名：NPO 法人木曾三川ごみの会】

調査日：平成 26 年 8 月 7 日



真剣な目をして水質検査

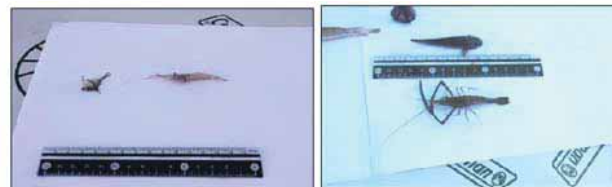


川の中から地元産地を眺めるミニクルーズ



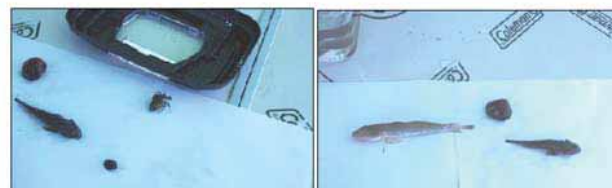
通称ゴン網漁

うなぎ



ギマの稚魚、スジエビ

手長エビ、ドンコ



ドンコ、瓶、ヤドカリ、サカマキガイ

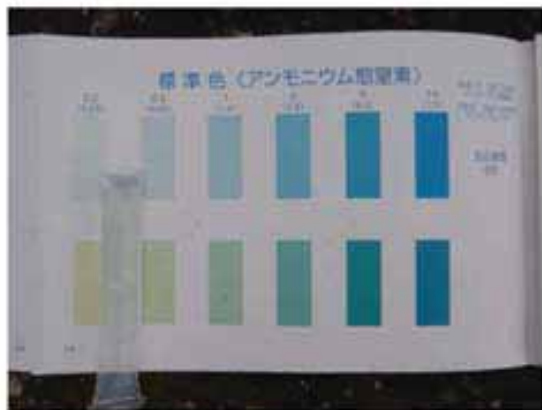
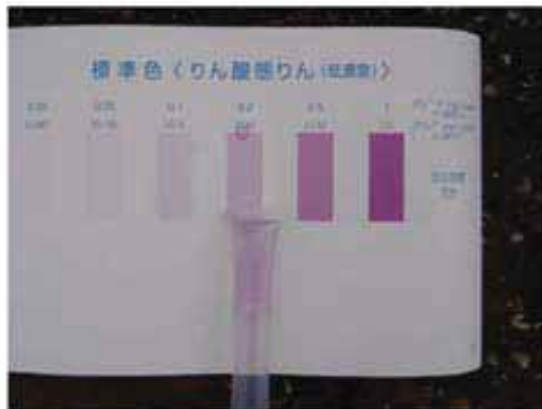
真雀、瓶、ドンコ、他にウグイ、ヒイラギの稚魚



来客も参加して環境学習をしてね

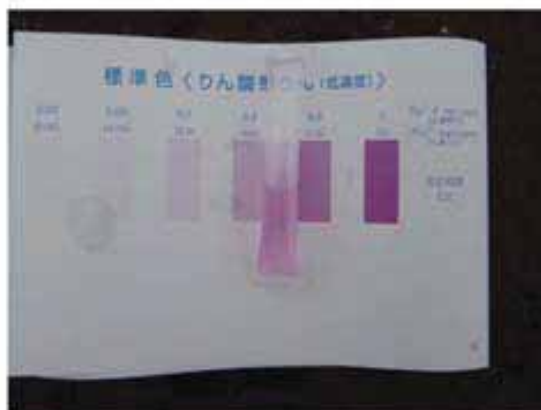
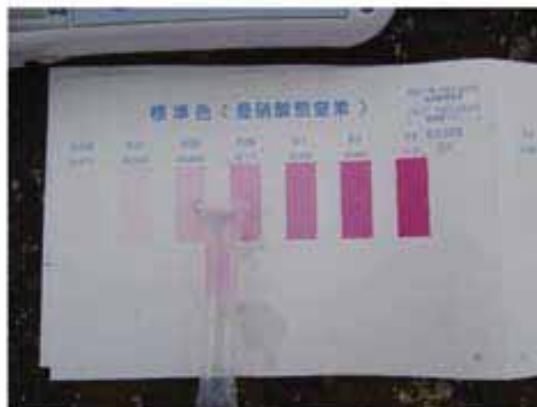
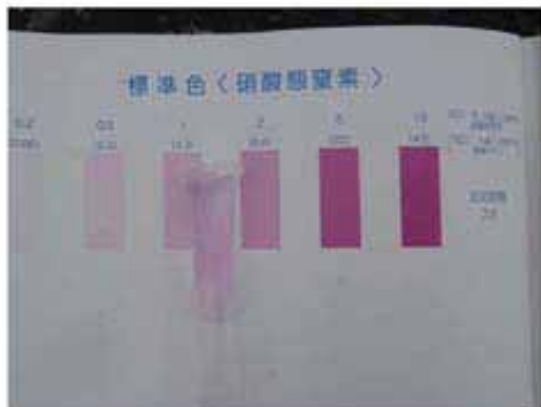
【団体名：港栄第一エコクラブ (1/3)】

調査日：平成 26 年 8 月 3 日



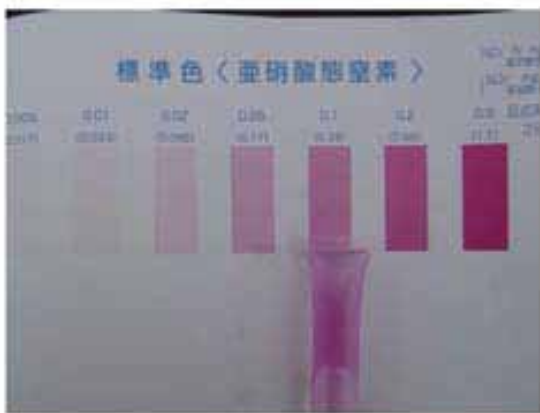
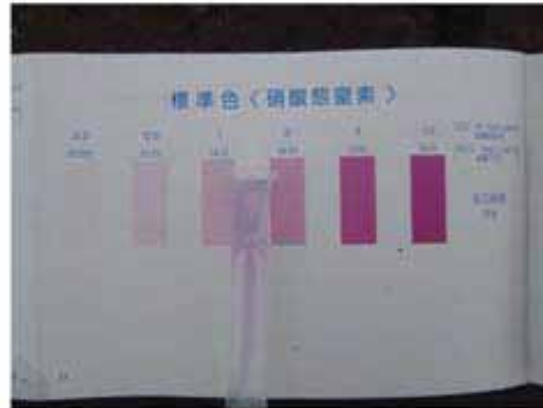
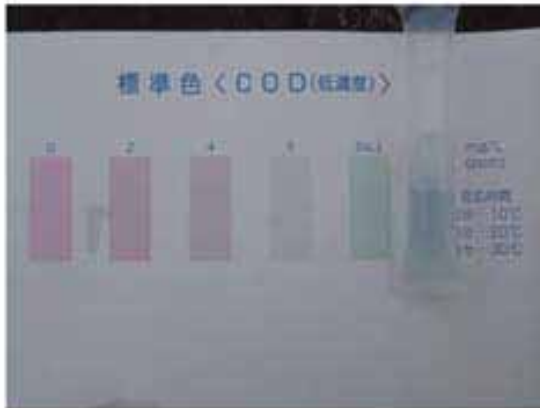
【団体名：港栄第一エコクラブ (2/3)】

調査日：平成 26 年 8 月 3 日



【団体名：港栄第一エコクラブ (3/3)】

調査日：平成 26 年 8 月 3 日



【団体名：昭和電線ケーブルシステム㈱三重事業所】

調査日：平成 26 年 8 月 6 日

参加者	昭和電線ケーブルシステム㈱三重事業所 管理グループ 近藤・森永
測定日時	2014年(平成26年)8月6日 10:00～10:54am
測定場所	員弁川 天王橋中央部より採水
住所	三重県いなべ市北勢町麻生田地区内 (N:35° 7' 49" E:136° 31' 59") 参照 地図① 写真①



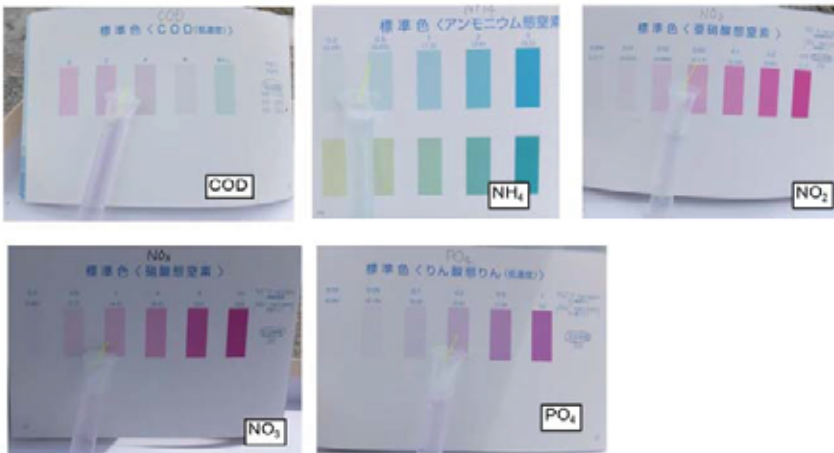
- ・員弁川は、鈴鹿山脈・美老山地を水源とし、いなべ市・東員町・桑名市を通り、伊勢湾に流れ込む
- ・測定場所は、員弁川の本流に青川が右岸より流れ込んだ箇所の下流にある天王橋中央より採取バケツをロープに結び、橋上から川面へ落とし、底の泥等堆積物が散乱しないように採取した。写真②
- ・採水した付近の川は、直ぐ下流に堰堤はあるが、深みは浅く 水量が少なかったのか底の石が水面より出ている箇所も見受けられた。写真② ③



- ・採水時 初めてバケツを投入した際に 魚影が見られた。
- ・採水した天王橋の下流(約24m)に堰堤があり、堰堤下のブロック部分には、流木の他、生活廃物が引っ掛かっていた。写真④



・測定写真

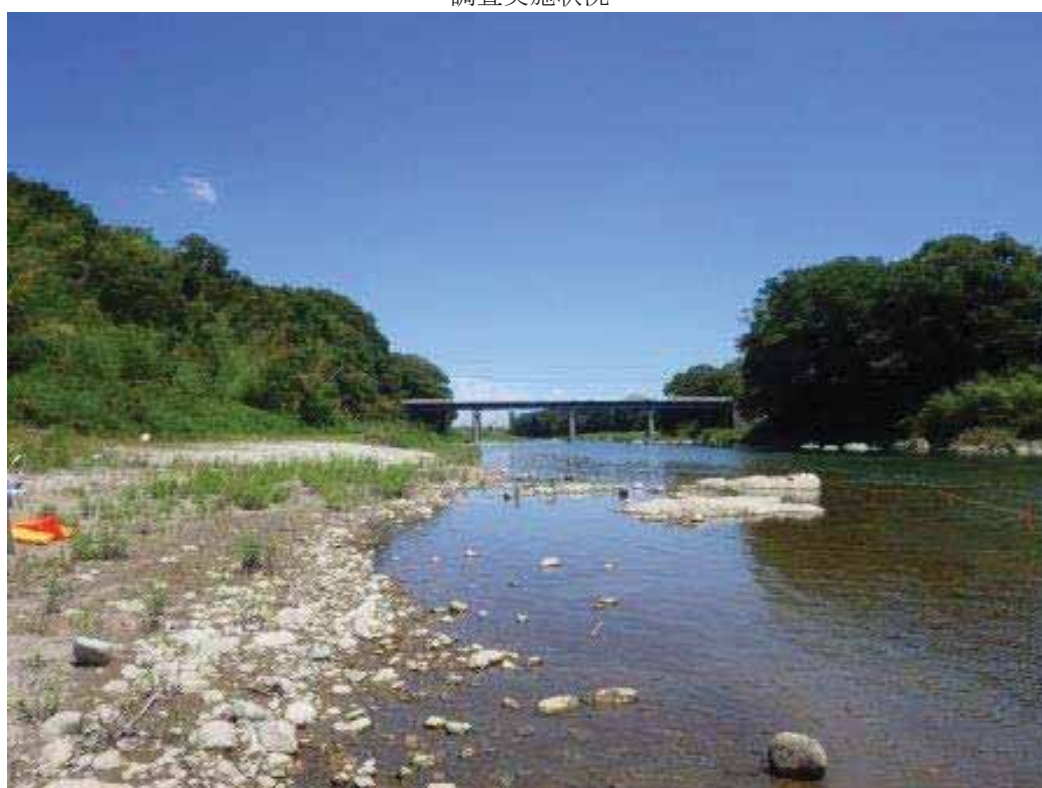


【団体名：多気町松阪市学校組合立多気中学校(株式会社建設環境研究所)】

調査日：平成 26 年 7 月 31 日



調査実施状況



調査地点の状況

【団体名：玉城町立下外城田小学校(株式会社建設環境研究所)】

調査日：平成 26 年 8 月 1 日



調査実施状況



調査地点の状況

【団体名：佐奈川を美しくする会(株式会社建設環境研究所)】

調査日：平成 26 年 8 月 2 日



調査実施状況



調査地点の状況

【団体名：水辺づくりの会 鈴鹿川のうお座(株式会社建設環境研究所)】

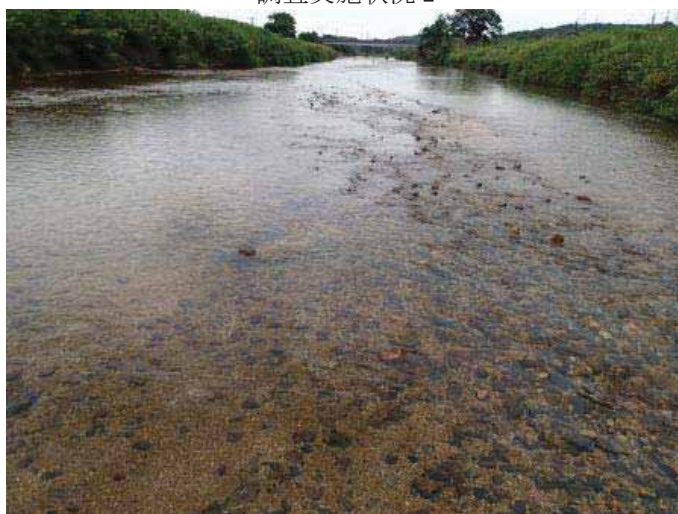
調査日：平成 26 年 8 月 2 日



調査実施状況



調査実施状況 2



調査地点の状況

【団体名：三重県立宇治山田高等学校(株式会社建設環境研究所)】

調査日：平成 26 年 8 月 3 日



調査実施状況



調査地点の状況

【団体名：伊勢市立五十鈴中学校(株式会社建設環境研究所)】

調査日：平成 26 年 8 月 4 日



調査実施状況



調査地点の状況

【団体名：三重県立国児学園(株式会社建設環境研究所)】

調査日：平成 26 年 8 月 6 日



簡易テスト比色



調査実施状況



調査地点の状況

【団体名：塩浜学童保育所(株式会社建設環境研究所)】

調査日：平成26年8月7日



簡易テスト比色



調査実施状況



調査地点の状況

【団体名：内部地区社会福祉協議会(四日市学習センター)】

調査日：平成 26 年 8 月 2 日



調査実施状況 1



調査実施状況 2

【団体名：eco コロンブス号 朝明川から伊勢湾へGO！（四日市学習センター）】

調査日：平成26年8月3日



朝明溪谷



暁学園前



高松干潟

3.4 ゴミ調査結果

【団体名：NPO 法人木曾三川ごみの会】

調査日：平成 26 年 8 月 7 日



調査場所の上流に長良川河口堰が見えます



作業前の挨拶と説明



漂着ごみの回収作業



鉄道用枕木が漂着していました



綺麗になった河川敷

【団体名：桑名市立光陵中学校】

調査日：平成 26 年 8 月 7 日



【団体名：高松干潟を守ろう会】

調査日：平成 26 年 8 月 11 日



【団体名：雲出川愛護モニター(1/3)】

調査日：平成 26 年 8 月 2 日



8/2 取場下流護岸堤防はコンクリート

堰堤・魚道・橋脚はコンクリート

水量・流れがあり景観もよい

魚道には小魚が多く目視できます。

中村川 モニタリング地点の様子

ゴミの状況		気付いたこと	
川面・海面	水際	シラサギがチトラに陣取り小魚を捕食している風景は、水生動物を通じ概ね良好だと思う。バックテストでは全て測定範囲内です。昨年と比較すると数値が高いが、好天続きで降雨の影響ででしょうか	
① ゴミは見あたらない 2、ゴミが少しある 3、ゴミがかなりある	① ゴミは見あたらない 2、ゴミが少しある 3、ゴミがかなりある		
水のおい	水の色	水量	水が無い 少ない(普通) 多い
①、何も感じない 2、採水びんに顔を近づけるとにおう 3、水際に寄るとにおう 4、橋や堤防の上からにおう	濁さ 濁っている 中間(濁んではいる)	量	
	色 透明色	早さ	よどんでいる(多く速く) 走る速さ

感想

中村川一志橋周辺は保育園・公民館があり、周りは田圃・畑と自然環境には恵まれたところだと思います。

野鳥・植物も多く、採水時小魚が沢山群れをなして泳ぎ回っていました。数値結果は中流域では良いと思います。化学肥料・農薬・工場排水・生活排水等の影響も数値上問題なく良いと思います。降雨の時、河川に流れ込む数値の値は異なるでしょうが、沢山の小魚と植物が確認でき概ね良好だと思います。



飯内川観水公園上流 樹木が多い カイツブリ

採水場所は濁りもなく、川底が見えます。ミジンコ

透明度は良い 魚が目視できます。採取上流

飯内川 モニタリング地点の様子

ゴミの状況		気付いたこと	
川面・海面	水際	松阪市街地ですが樹木が多く、野鳥も沢山さえずり、気持ちが良い場所です。管理が行き届いているのか、生活ごみ・不法投棄もなく、雑草も刈り取られていました。河川の状況もよく、底には藻が生い茂っています。	
① ゴミは見あたらない 2、ゴミが少しある 3、ゴミがかなりある	① ゴミは見あたらない 2、ゴミが少しある 3、ゴミがかなりある		
水のおい	水の色	水量	水が無い 少ない(普通) 多い
①、何も感じない 2、採水びんに顔を近づけるとにおう 3、水際に寄るとにおう 4、橋や堤防の上からにおう	濁さ 濁っている 中間(濁んではいる)	量	
	色 透明	早さ	よどんでいる(多く速く) 走る速さ

感想

住宅街を流れる河川ですが不法投棄・生活ごみ等が確認できず、バックテストでは許容範囲内で全て収まっています。概ね水環境は良好だと思います。

【団体名：雲出川愛護モニター(2/3)】

調査日：平成 26 年 8 月 2 日



愛宕川潮止通門流れが無くヘドロ臭 潮止通門 ミドリガメ 3匹確認 潮止通門下流部 ボラ稚魚 潮止通門下流部より撮影、動植物多し

愛宕川 モニタリング地点の様子

ゴミの状況		気付いたこと	
川面・海面	水際	通門河口側と上流側とで風景はかなり異なります。河口側はコンクリート護岸で施行され、雑草が少し育成していますが、上流側は樹木が堤防にあり景観は良い感じですが生活ごみ・空き缶・ペットボトル等が少しあります。	
1. ゴミは見あたらない	1. ゴミは見あたらない		
② ゴミが少しある(土埃がかなり浮遊しています)	② ゴミが少しある(空き缶・ペットボトル・発泡スチロール等)		
3. ゴミがかなりある	3. ゴミがかなりある		
水のおい	水の色	水量	
1. 何も感じない	濃さ	量	水が無い 少ない(普通) 多い
2. 採水びんに顔を近づけるとにおう	① 濁っている ② 中間 ③ 澄んでいる	早さ	① ぼんぼんしている ② 歩く速さ ③ 走る速さ
3. 水際に寄るとにおう	色		
④ 橋や堤防の上からにおう(潮とヘドロ臭混合)	河口側(土色) 通門上流(黄土色)		

感想

採水場所は潮止通門上流ですが海底の土質はヘドロ状で川面に氾の発生も多く、生きものも少ないように感じられます。カニ類(チゴガニ・コメツキガニ・アシハラガニ等)は確認できません。通門上流部は水量も豊富でアシが繁茂し昆虫類も生息していると思います。通門で自然環境がかなり異なっています。バックテストの水質検査では範囲内ですが、不法投棄・生活ごみが少し確認され景観・風致上芳しくありません。



河口幅は広く80位あると思います。 潮止通門上・上流で採水作業 潮の流れが無く、土埃の浮遊を確認 透明度は悪く黄土色です。

金剛川 モニタリング地点の様子

ゴミの状況		気付いたこと	
川面・海面	水際	右岸にハマボウが咲き、シラサギが捕食していました。ハゼ類・カニ類の餌があると思いますが、透明度は悪く採水びんでも確認できます。アシ群・オダ群周辺に空き缶・ペットボトル・発泡スチロール等が沢山あります。	
1. ゴミは見あたらない	1. ゴミは見あたらない		
② ゴミが少しある	② ゴミが少しある		
3. ゴミがかなりある	3. ゴミがかなりある		
水のおい	水の色	水量	
1. 何も感じない	濃さ	量	水が無い 少ない(普通) 多い
2. 採水びんに顔を近づけるとにおう	① 濁っている ② 中間 ③ 澄んでいる	早さ	① ぼんぼんしている ② 歩く速さ ③ 走る速さ
③ 水際に寄るとにおう	色		
4. 橋や堤防の上からにおう	河口側(濃い灰色) 通門上流(黄土色)		

感想

川幅が広くハマボウが咲き、潮の匂いも適度に感じられ景観は良好です。しかし、採水場所の通門では潮とヘドロ臭が交わった匂いを感じます。河口部は満潮時で水量が多くミドリガメ・セイゴを確認。通門上流部では黄土色の粘土のような形態です。水環境はアシ群・オダ群が多くシラサギ群れを確認でき、自然環境保全は概ね良好だと思います。

【団体名：雲出川愛護モニター(3/3)】

調査日：平成 26 年 8 月 2 日



三渡川千貫通門下流 水量がなく匂う

通門上流部 河川の色は土色です

三渡川合流部 護岸は人工物です

潮の影響を考慮し通門上流で採取

三渡川 モニタリング地点の様子

ゴミの状況		気付いたこと	
川面・海面	水際	河口のヘドロ色(黒色)ではなく、土の茶色で水採取の際、浮遊物は確認できませんが、土の匂いが感じられました。アシ群が繁茂し水環境は概ね良好だと思います。動植物も多く餌食の昆虫類も多く確認	
① ゴミは見あたらない 2. ゴミが少しある 3. ゴミがかなりある	1. ゴミは見あたらない ② ゴミが少しある(ペットボトル・発泡スチロール) 3. ゴミがかなりある		
水のおい	水の色	水量	
1. 何も感じない ② 採水びんに顔を近づけるとにおう 3. 水際に寄るとにおう 4. 橋や堤防の上からにおう	濃さ 濁っている(中間) 澄んでいる	量	水が無い(少ない) 普通 多い
	色 河口側(土色) 通門上流(黄土色)	早さ	よどんでいる(多く速さ) 走る速さ

感想

住宅街を抜け、護岸沿いに少し少くと千貫通門に出ます。除草が適度に行われ管理が行き届いている感じがです。樹木・昆虫が多く、河川の環境は概ね良いと思いますが、日照り続きで水量が無く護岸周辺の土が見え少し匂います。悪臭ではなく土の匂いです。中州・護岸周辺に樹木・アシ群が生息し水の浄化に働いていると思うのですが、上流からのペットボトル・発泡スチロールが絡み、大雨・台風時に河口に流れ出ると思います。水門を挟んだ風景は樹木が多く、良い環境だと思います。



水量は豊富で周りの植物も多い

魚影確認

水質・透明度確認

河川敷ではゴミの不法投棄確認

雲出川 モニタリング地点の様子

ゴミの状況		気付いたこと	
川面・海面	水際	採水時小魚が群れ、シラサギが捕食の準備をしていました。周りの環境は良く、中州・護岸周辺は動植物が多そうです。河川敷ではゴミの不法投棄が窺われ、台風時の増水に伴い、河口に多くのゴミが集まりそうです。	
1. ゴミは見あたらない ② ゴミが少しある(テトラに絡まったゴミあり) 3. ゴミがかなりある	1. ゴミは見あたらない ② ゴミが少しある(焚火あと・空き缶・ペットボトル) 3. ゴミがかなりある		
水のおい	水の色	水量	
① 何も感じない 2. 採水びんに顔を近づけるとにおう 3. 水際に寄るとにおう 4. 橋や堤防の上からにおう	濃さ 濁っている(中間) 澄んでいる	量	水が無い 少ない(普通) 多い
	色 (透明色)	早さ	よどんでいる(多く速さ) 走る速さ

感想

野鳥の囀りが多く、河川周辺は田圃・畑が多く、住宅・工場も少なく動植物には良い環境だと思います。水質結果を確認すると雲出川下流部ですが不純物が少なく感じられます。毎年、河口部には多くの渡り鳥が飛来し、貝採取の漁師・漁船も多く出漁されます。水生動物観察会では多くの生き物を観察でき、自然に恵まれた環境にあると思います。

【団体名：岐南町 建設課】

調査日：平成 26 年 8 月 6 日



ゴミ等の状況
ペットボトルや空き缶が少々

【団体名：NPO 藤前干潟を守る会】

調査日：平成 26 年 8 月 9 日

ヨシの中にごみが



【団体名：梅田川フォーラム】

調査日：平成 26 年 8 月 9 日



調査日：平成26年8月4日

伊勢湾流域圏一斉モニタリング

調査地点：小塩橋の水質とごみ調査

調査年月日：平成26年 8月 4日（月） 時刻：10:00

採水位置：小塩橋の中央部の上流側の橋干からバケツにより表層水を採取

写真1. 上流の幅下橋から小塩橋方向の下流を望む：結葉が川面に分散して流れ

写真2. 小塩橋上流側の左岸川際のごみの集積物（葉、小枝、枯葉、草など）

写真3. 小塩橋上流側の左岸側ごみの集積物（紙袋、レジ袋など混じる）

写真4. ごみの集積物 カップめん容器（白いもの）

写真5. 小塩橋・右岸側の樹木の下の藪の群れ（10匹余）

写真6. バックテストの水質調査

写真1. 小塩橋方向への結葉の流れ

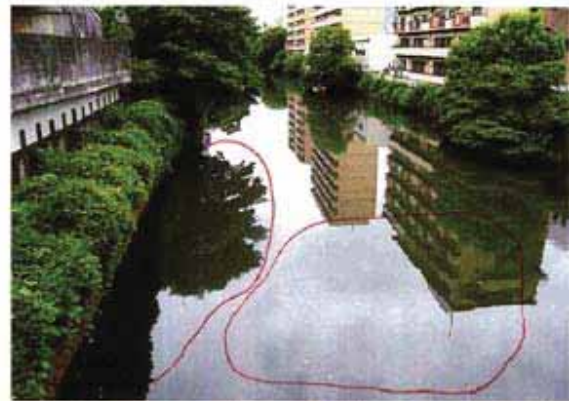


写真2. 小塩橋左岸側のごみの集積物（葉、小枝、枯葉、草など）



写真3. ごみの集積物（のほか紙袋、レジ袋など混じる）



写真4. ごみの集積物のほかカップめんの容器が混じる

写真6. バックテストによる水質調査（小塩橋の橋干から採水の様子）

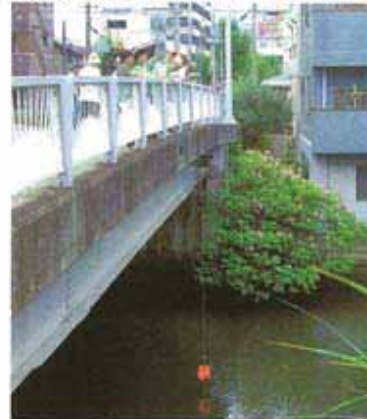


写真5. 小塩橋上流側右岸の樹木の下の藪の群れ（10匹余）



バックテストの準備中（5項目）注：テストチューブの写真は未撮影

【団体名：伊勢市立五十鈴中学校(株式会社建設環境研究所)】

調査日：平成 26 年 8 月 4 日



ゴミの状況

【団体名：市民ネットワーク すすかのぶどう(株式会社建設環境研究所)】

調査日：平成 26 年 8 月 6 日



ゴミの状況

【団体名：佐奈川を美しくする会(株式会社建設環境研究所)】

調査日：平成 26 年 8 月 2 日



ゴミの状況

3.5 水生生物調査結果

【団体名：多気町松阪市学校組合立多気中学校】

調査日：平成26年7月31日

全国水生生物調査結果 集計用紙

調査団体名		多気町松阪市学校組合立多気中学校 (株式会社建設環境研究所)				複数団体が合同で実施している場合は、代表的な団体名をひとつ記入し、他の団体名は代表的な団体の後ろに()をつけて記入して下さい。	
		調査参加人数		22 人			
指標生物 (見つけた指標生物に○印、数が多かった上位から2種類(最大3種類)に●印をつけて下さい)		調査地点の概要 (生物を採取した場所の状況について記入して下さい)					
水質階級Ⅰ	1	アミカ類				調査河川名	楠田川
	2	ナミウズムシ				調査地点名	両郡橋
	3	カワゲラ類				昨年度の調査状況 (昨年度調査に参加した方のみチェックして下さい)	今年の調査地点は昨年度と同じですか? ■ 同じ場所で調査した 昨年度の水質階級は ■ I □ II □ III □ IV □ ちがう場所で調査した
	4	サワガニ				調査日時	平成26年 7月 31日 13時 開始時刻を24時間で記入して下さい。(午後2時は14時)
	5	ナガレトビケラ類				天気	■ はれ □ くもり □ 雨 調査時の天気をチェックして下さい
	6	ヒラタカゲロウ類				水温	28.1℃(小数点1桁まで記入して下さい)
	7	ブユ類				川幅	約 50.0 m 水の流れの幅を記入して下さい(小数点1桁まで記入できます)
	8	ヘビトンボ				生物採取場所	<input type="checkbox"/> 川の中心 <input type="checkbox"/> 上流から見て右岸 ■ 上流から見て左岸 採取した場所をチェックして下さい
	9	ヤマトビケラ類				水深	約 15 cm 採取した場所の平均的な水深を記入して下さい
	10	ヨコエビ類				以下は、生物を採取した場所にあてはまるものをチェックして下さい	
水質階級Ⅱ	11	イシマキガイ				流れのほやさ	<input type="checkbox"/> 遅い(毎秒60cm以上) <input type="checkbox"/> 普通(毎秒30~60cm) ■ 遅い(毎秒30cm以下)
	12	オオシマトビケラ					川底の状態
	13	カワナナ類				水のにおい	
	14	ゲンジボタル					水のにごり
	15	コオニヤンマ				この地点の水質階級は II です	
	16	コガタシマトビケラ類				水質階級の判定	
	17	ヒラタドROMシ類				1. ○印と●印の個数	
	18	ヤマトシジミ				2. ●印の個数	
水質階級Ⅲ	19	イソコツブムシ類				3. 合計(1欄+2欄)	
	20	タニシ類				0 2 0 0	
	21	ニホンドロソコエビ					
	22	シマイシビル					
水質階級Ⅳ	23	ミズカマキリ				その他の生物(水生昆虫、貝、エビ・カニ類)	
	24	ミズムシ				魚類	
	25	アメリカザリガニ				カゲロウ類	サナエトンボ類
	26	エラミミズ				カワカゲロウ類	シジミ類
	27	サカマキガイ				キイロカワカゲロウ	タニガワカゲロウ類
28	ユスリカ類				キベリマメゲンゴロウ	ニンギョウトビケラ類	
29	チョウバエ類				コカゲロウ類		
水草類		鳥類		その他、気づいたこと			

【団体名：玉城町立下外城田小学校】

調査日：平成26年8月1日

全国水生生物調査結果 集計用紙

調査団体名	玉城町立下外城田小学校 (株式会社建設環境研究所)	複数団体が合同で実施している場合は、代表的な団体名をひとつ記入し、他の団体名は代表的な団体の後ろに()をつけて記入して下さい。
	調査参加人数	16 人

指標生物（見つけた指標生物に○印、数が多かった上位から2種類(最大3種類)に●印をつけて下さい）		調査地点の概要 (生物を採取した場所の状況について記入して下さい)						
水質階級Ⅰ	1 アミカ類	○ ○ ● ●	調査河川名	宮川				
	2 ナミウズムシ		調査地点名	昼田				
	3 カワゲラ類		昨年度の調査状況 (昨年度調査に参加した方のみチェックして下さい)	今年の調査地点は昨年度と同じですか？ <input type="checkbox"/> 同じ場所で調査した 昨年度の水質階級は <input type="checkbox"/> I <input type="checkbox"/> II <input type="checkbox"/> III <input type="checkbox"/> IV <input type="checkbox"/> ちがう場所で調査した				
	4 サワガニ		調査日時	平成26年 8月 1日 10 時 開始時刻を24時間で記入して下さい。(午後2時は14時)				
	5 ナガレトビケラ類		天気	<input checked="" type="checkbox"/> ばれ <input type="checkbox"/> くもり <input type="checkbox"/> 雨 採取時の天気をチェックして下さい				
	6 ヒラタカゲロウ類		水温	25.0 °C(小数点1桁まで記入して下さい)				
	7 ブユ類		川幅	約 5.0 m 水の流れの幅を記入して下さい(小数点1桁まで記入できます)				
	8 ヘビトンボ		生物採取場所	<input type="checkbox"/> 川の中心 <input type="checkbox"/> 上流から見て右岸 <input checked="" type="checkbox"/> 上流から見て左岸 採取した場所をチェックして下さい				
	9 ヤマトビケラ類		水深	約 10 cm 採取した場所の平均的な水深を記入して下さい				
	10 ヨコエビ類		流れのはやさ	以下は、生物を採取した場所にあてはまるものをチェックして下さい <input type="checkbox"/> 遅い(毎秒60cm以上) <input checked="" type="checkbox"/> 普通(毎秒30~60cm) <input type="checkbox"/> 遅い(毎秒30cm以下)				
水質階級Ⅱ	11 イシマキガイ	●	川底の状態	<input type="checkbox"/> 頭大の石が多い <input checked="" type="checkbox"/> こぶし大の石が多い				
	12 オオシマトビケラ			<input type="checkbox"/> 小石と砂 <input type="checkbox"/> コンクリート				
	13 カワニナ類			<input type="checkbox"/> 砂と泥 <input type="checkbox"/> 泥				
	14 カワシマシビル			<input type="checkbox"/> コケ <input type="checkbox"/> その他				
水質階級Ⅲ	15 ゲンジボタル		水のおい	<input checked="" type="checkbox"/> においは感じられない				
	16 コオニヤンマ			<input type="checkbox"/> においが感じられる (ドブ、石油、薬のような不快感のあるにおい)				
	17 コガタシマトビケラ類			水にごり	<input checked="" type="checkbox"/> 透明またはきれい			
18 ヒラタドROMシ類	<input type="checkbox"/> 少しにごっている							
19 ヤマトシジミ	<input type="checkbox"/> 大変にごっている							
水質階級Ⅳ	20 イソコツブムシ類		水質階級の判定	1. ○印と●印の個数	4	1		2
	21 タニシ類			2. ●印の個数	2	1		
	22 ニホンドロソコエビ			3. 合計(1欄+2欄)	6	2	0	2
	23 シマイシビル			この地点の水質階級は	I です			
24 ミズカマキリ	25 ミズムシ	26 アメリカザリガニ	27 エラミミズ	28 サカマキガイ	29 ユスリカ類	30 チョウバエ類		

その他の生物(水生昆虫、貝、エビ・カニ類)		魚類	
ガガンボ類	ツツトビケラ類	モンカゲロウ類	オイカワ
キイロカワカゲロウ	ニンギョウトビケラ類		カジカ
キベリマメゲンゴロウ	ヌマエビ類		ドジョウ
サナエトンボ類	ヒゲナガカワトビケラ類		
タニガワカゲロウ類	モクズガニ		
水草類	鳥類	その他、気づいたこと	

【団体名：佐奈川を美しくする会】

調査日：平成26年8月2日

全国水生生物調査結果 集計用紙

調査団体名	佐奈川を美しくする会 (株式会社建設環境研究所)	複数団体が合同で実施している場合は、代表的な団体名をひとつ記入し、他の団体名は代表的な団体の後ろに()をつけて記入して下さい。	
		調査参加人数	48 人

指標生物 (見つかった指標生物に○印、数が多かった上位から2種類(最大3種類)に●印をつけて下さい)				調査地点の概要 (生物を採取した場所の状況について記入して下さい)				
水質階級Ⅰ	1	アマカ類		調査河川名	佐奈川			
	2	ナミウズムシ		調査地点名	立花尾橋			
	3	カワゲラ類		昨年度の調査状況 (昨年度調査に参加した方のみチェックして下さい)	今年の調査地点は昨年度と同じですか? <input checked="" type="checkbox"/> 同じ場所で調査した 昨年度の水質階級は <input type="checkbox"/> I <input checked="" type="checkbox"/> II <input type="checkbox"/> III <input type="checkbox"/> IV <input type="checkbox"/> ちがう場所で調査した			
	4	サワガニ			調査日時	平成26年 8月 2日 10 時 開始時刻を24時間で記入して下さい。(午後2時は14時)		
	5	ナガレトビケラ類		天気	<input type="checkbox"/> はれ <input checked="" type="checkbox"/> くもり <input type="checkbox"/> 雨 調査時の天気をチェックして下さい			
	6	ヒラタカゲロウ類		水温	25.1 °C (小数点1桁まで記入して下さい)			
	7	ブユ類		川幅	約 3.0 m 水の流れの幅を記入して下さい(小数点1桁まで記入できます)			
	8	ヘビトンボ		生物採取場所	<input type="checkbox"/> 川の中心 <input checked="" type="checkbox"/> 上流から見て右岸 <input type="checkbox"/> 上流から見て左岸 採取した場所をチェックして下さい			
	9	ヤマトビケラ類	○		水深	約 20 cm 採取した場所の平均的な水深を記入して下さい		
	10	ヨコエビ類		以下は、生物を採取した場所にあてはまるものをチェックして下さい				
水質階級Ⅱ	11	イシマキガイ		流れのよさ	<input type="checkbox"/> 速い(毎秒80cm以上) <input checked="" type="checkbox"/> 普通(毎秒30~80cm) <input type="checkbox"/> 遅い(毎秒30cm以下)			
	12	オオシマトビケラ	○		川底の状態	<input type="checkbox"/> 頭大の石が多い <input checked="" type="checkbox"/> こぶし大の石が多い <input type="checkbox"/> 小石と砂 <input type="checkbox"/> コンクリート <input type="checkbox"/> 砂と泥 <input type="checkbox"/> 泥 <input type="checkbox"/> コケ <input type="checkbox"/> その他		
	13	カワニナ類	○	水のおい		<input checked="" type="checkbox"/> においは感じられない <input type="checkbox"/> においが感じられる (ドブ、石油、薬のような不快感のあるにおい)		
	14	ゲンジボタル	○		水のにごり	<input checked="" type="checkbox"/> 透明またはきれい <input type="checkbox"/> 少しにごっている <input type="checkbox"/> 大変にごっている		
15	コオニヤンマ	○	この地点の水質階級は Ⅱ です					
16	コガタシマトビケラ類	○						
水質階級Ⅲ	17	ヒラタドムシ類						
	18	ヤマトシジミ						
	19	イソコツブムシ類						
水質階級Ⅳ	20	タニシ類						
	21	ニホンドロソコエビ						
	22	シマイシビル						
水質階級の判定	23	ミズカマキリ						
	24	ミズムシ						
	25	アメリカザリガニ	●					
	26	エラミミズ						
		水質階級	I	II	III	IV		
1. ○印と●印の個数			1	3			1	
2. ●印の個数							1	
3. 合計(1欄+2欄)			1	3	0	2		

その他の生物(水生昆虫、貝、エビ・カニ類)		魚類	
イトトンボ	シジミ類	ウキゴリ	
ガガンボ類	スジエビ類	オイカワ	
コヤマトンボ	タイコウチ	シマドジョウ	
サナエトンボ類	ヌマエビ類	タモロコ	
シオカラトンボ	モノアラガイ	ホトケドジョウ	
水草類	鳥類	その他、気づいたこと	

【団体名：水辺づくりの会 鈴鹿のうお座】

調査日：平成 26 年 8 月 2 日

全国水生生物調査結果 集計用紙

調査団体名		水辺づくりの会 鈴鹿川のうお座 (株式会社建設環境研究所)		複数団体が合同で実施している場合は、代表的な団体名をひとつ記入し、他の団体名は代表的な団体の後ろに () をつけて記入して下さい。	
		調査参加人数		29 人	
指標生物 (見つけた指標生物に○印、数が多かった上位から2種類(最大3種類)に●印をつけて下さい)		調査地点の概要 (生物を採取した場所の状況について記入して下さい)			
水質階級 I	1	アミカ類	●	調査河川名	鈴鹿川
	2	ナミウズムシ		調査地点名	勸進橋
	3	カワゲラ類		昨年度の調査状況 (昨年度調査に参加した方のみチェックして下さい)	今年の調査地点は昨年度と同じですか? ■ 同じ場所 で調査した 昨年度の水質階級は □ I ■ II □ III □ IV □ ちがう場所 で調査した
	4	サワガニ		調査日時	平成26 年 8 月 2 日 10 時 開始時刻を24時間で記入して下さい。(午後2時は14時)
	5	ナガレトビケラ類		天気	□ はれ ■ くもり □ 雨 調査時の天気をチェックして下さい
	6	ヒラタカゲロウ類		水温	24.0 °C (小数点1桁まで記入して下さい)
	7	ブユ類		川幅	約 10.0 m 水の流れの幅を記入して下さい(小数点1桁まで記入できます)
	8	ヘビトンボ		生物採取場所	□ 川の中心 □ 上流から見て右岸 ■ 上流から見て左岸 採取した場所をチェックして下さい
	9	ヤマトビケラ類		水深	約 10 cm 採取した場所の平均的な水深を記入して下さい
	10	ヨコエビ類			以下は、生物を採取した場所にあてはまるものをチェックして下さい
水質階級 II	11	イシマキガイ	●	流れのはやさ	□ 速い(毎秒60cm以上) ■ 普通(毎秒30~60cm) □ 遅い(毎秒30cm以下)
	12	オオシマトビケラ		川底の状態	□ 頭大の石が多い ■ こぶし大の石が多い □ 小石と砂 □ コンクリート □ 砂と泥 □ 泥 □ コケ □ その他
	13	カワニナ類		水のおい	■ においは感じられない □ においが感じられる (ドブ、石油、糞のような不快感のあるにおい)
	14	ゲンジボタル		水のごり	■ 透明またはきれい □ 少しにごっている □ 大まにごっている
水質階級 III	15	コオニヤンマ		この地点の水質階級は	
	16	コガタシマトビケラ類		II です	
	17	ヒラタドROMシ類			
	18	ヤマトシジミ			
水質階級 IV	19	イソコツブムシ類		その他の生物(水生昆虫、貝、エビ・カニ類)	
	20	タニシ類		魚類	
	21	ニホンドロソコエビ		アマガエル	
	22	シマイシビル		キイロカワカゲロウ ニンギョウトビケラ類	
水質階級判定	23	ミズカマキリ		ウルマーシマトビケラ	
	24	ミズムシ		ゲンゴロウ類 スマエビ類	
	25	アメリカザリガニ		ガガンボ類	
	26	エラミミズ		コヤマトンボ ヒゲナガカワトビケラ類	
この地点の水質階級は	27	サカマキガイ		カゲロウ類	
	28	ユスリカ類		サナエトンボ類	
	29	チョウバエ類		カワカゲロウ類	
				ナベブタムシ	
		水草類		鳥類	
				その他、気づいたこと	

【団体名：三重県立宇治山田高等学校】

調査日：平成26年8月3日

全国水生生物調査結果 集計用紙

調査団体名	三重県立宇治山田高等学校 (株式会社建設環境研究所)	複数団体が合同で実施している場合は、代表的な団体名をひとつ記入し、他の団体名は代表的な団体の後ろに()をつけて記入して下さい。
	調査参加人数	11 人

指標生物 (見つけた指標生物に○印、数が多かった上位から2種類(最大3種類)に●印をつけて下さい)		調査地点の概要 (生物を採取した場所の状況について記入して下さい)			
水質階級 I	1 アミカ類		調査河川名 宮川		
	2 ナミウズムシ			調査地点名 度会橋	
	3 カワゲラ類		昨年度の調査状況 (昨年度調査に参加した方のみチェックして下さい)		
	4 サワガニ			今年度の調査地点は昨年度と同じですか? <input checked="" type="checkbox"/> 同じ場所で開催した 昨年度の水質階級は <input type="checkbox"/> I <input checked="" type="checkbox"/> II <input type="checkbox"/> III <input type="checkbox"/> IV <input type="checkbox"/> ちがう場所で調査した	
	5 ナガレトビケラ類		調査日時 平成26年 8月 3日 9時 開始時刻を24時間で記入して下さい。(午後2時は14時)		
	6 ヒラタカゲロウ類			天気 <input type="checkbox"/> はれ <input checked="" type="checkbox"/> くもり <input type="checkbox"/> 雨 調査時の天気をチェックして下さい	
	7 ブユ類		水温 25.8 °C (小数点1桁まで記入して下さい)		
	8 ヘビトンボ			川幅 約 60.0 m 水の流れの幅を記入して下さい(小数点1桁まで記入できます)	
	9 ヤマトビケラ類		生物採取場所 <input type="checkbox"/> 川の中心 <input checked="" type="checkbox"/> 上流から見て右岸 <input type="checkbox"/> 上流から見て左岸 採取した場所をチェックして下さい		
	10 ヨコエビ類			水深 約 20 cm 採取した場所の平均的な水深を記入して下さい	
水質階級 II	11 イシマキガイ	●	以下は、生物を採取した場所にあてはまるものをチェックして下さい		
	12 オオシマトビケラ			流れのはやさ <input checked="" type="checkbox"/> 速い(毎秒80cm以上) <input type="checkbox"/> 普通(毎秒30~60cm) <input type="checkbox"/> 遅い(毎秒30cm以下)	
	13 カワニナ類				川底の状態 <input type="checkbox"/> 頭大の石が多い <input checked="" type="checkbox"/> こぶし大の石が多い <input type="checkbox"/> 小石と砂 <input type="checkbox"/> コンクリート <input type="checkbox"/> 砂と泥 <input type="checkbox"/> 泥 <input type="checkbox"/> コケ <input type="checkbox"/> その他
	14 ゲンジボタル			水のおい <input checked="" type="checkbox"/> においは感じられない <input type="checkbox"/> においが感じられる (ドブ、石油、薬のような不快感のあるにおい)	
	15 コオニヤンマ	○			
	16 コガタシマトビケラ類	○			
17 ヒラタドムシ類	●				
水質階級 III	19 イソコツブムシ類				
	20 タニシ類				
	21 ニホンドロソコエビ				
	22 シマイシビル				
水質階級 IV	23 ミズカマキリ				
	24 ミズムシ				
水質階級 IV	25 アメリカザリガニ				
	26 エラミミズ				
	27 サカマキガイ				
	28 ユスリカ類				
	29 チョウバエ類				
水質階級の判定	水質階級	I	II	III	IV
	1. ○印と●印の個数		4		
	2. ●印の個数		2		
	3. 合計(1欄+2欄)	0	6	0	0
この地点の水質階級は		II です			

その他の生物(水生昆虫、貝、エビ・カニ類)		魚類	
アメンボ類	コヤマトンボ	ニンギョウトビケラ類	ヌマテテブ
イトトンボ類	サナエトンボ類	ヌマエビ類	
ウルマーシマトビケラ	シジミ類	ヒゲナガカフトビケラ類	
オオシロカゲロウ	タニガワカゲロウ	ヌマモクスガニ	
カワカゲロウ類	テナガエビ類		
水草類	鳥類	その他、気づいたこと	

【団体名：伊勢市立五十鈴中学校】

調査日：平成26年8月4日

全国水生生物調査結果 集計用紙

調査団体名	伊勢市立五十鈴中学校 (株式会社建設環境研究所)	複数団体が合同で実施している場合は、代表的な団体名をひとつ記入し、他の団体名は代表的な団体の後ろに()をつけて記入して下さい。	
		調査参加人数	22 人

指標生物 (見つけた指標生物に○印、数が多かった上位から2種類(最大3種類)に●印をつけて下さい)			調査地点の概要 (生物を採取した場所の状況について記入して下さい)		
水質階級Ⅰ	1	アマカ類		調査河川名 五十鈴川 調査地点名 御側橋 今年度の調査地点は昨年度と同じですか？ ■ 同じ場所にて調査した 昨年度の調査状況 (昨年度調査に参加した方のみチェックして下さい) 昨年度の水質階級は ■ I □ II □ III □ IV □ ちがう場所で調査した 調査日時 平成26年 8月 4日 14 時 開始時刻を24時間で記入して下さい。(午後2時は14時) 天気 □ はれ ■ くもり ■ 雨 調査時の天気をチェックして下さい 水温 24.5 °C (小数点1桁まで記入して下さい) 川幅 約 17.0 m 水の流れの幅を記入して下さい(小数点1桁まで記入できます) 生物採取場所 □ 川の中心 □ 上流から見て右岸 ■ 上流から見て左岸 採取した場所をチェックして下さい 水深 約 20 cm 採取した場所の平均的な水深を記入して下さい 以下は、生物を採取した場所にあてはまるものをチェックして下さい 流れのよさ □ 速い(毎秒60cm以上) ■ 普通(毎秒30~60cm) □ 遅い(毎秒30cm以下) 川底の状態 □ 頭大の石が多い ■ こぶし大の石が多い □ 小石と砂 □ コンクリート □ 砂と泥 □ 泥 □ コケ □ その他 水のにおい ■ においは感じられない □ においが感じられる (ドブ、石油、薬のような不快感のあるにおい) 水にごり ■ 透明またはきれい □ 少しにごっている □ 大変にごっている	
	2	ナミウスムシ			
	3	カワゲラ類	●		
	4	サワガニ			
	5	ナガレトビケラ類	●		
	6	ヒラタカゲロウ類	○		
	7	フユ類			
	8	ヘビトンボ	○		
	9	ヤマトビケラ類			
水質階級Ⅱ	10	ヨコエビ類			
	11	イシマキガイ			
	12	オオシマトビケラ			
	13	カワニナ類	○		
	14	ゲンジボタル			
	15	コオニヤンマ	○		
	16	コガタシマトビケラ類			
	17	ヒラタドROMシ類	○		
	18	ヤマトシジミ			
水質階級Ⅲ	19	イソコツブムシ類			
	20	タニシ類			
	21	ニホンドロソコエビ			
	22	シマイシビル			
水質階級Ⅳ	23	ミズカマキリ			
	24	ミズムシ			
	25	アメリカザリガニ			
	26	エラミミズ			
	27	サカマキガイ	○		
	28	ユスリカ類	○		
	29	チョウバエ類			
水質階級の判定	水質階級	I	II	III	IV
	1. ○印と●印の個数	4	3		2
	2. ●印の個数	2			
3. 合計(1欄+2欄)		6	3	0	2
この地点の水質階級は			I です		

その他の生物(水生昆虫、貝、エビ・カニ類)	魚類
ウルマーシマトビケラ	ニンギョウトビケラ/モクスガニ
カワカゲロウ類	ヌマエビ類 ヨシノマダラカゲロウ
タニガワカゲロウ類	ヒゲナガカワトビケラ類
チラカゲロウ	ヒル類
ナベバタムシ	フタバカゲロウ
水草類	鳥類
	その他、気づいたこと

【団体名：市民ネットワーク すずかのぶどう】

調査日：平成26年8月6日

全国水生生物調査結果 集計用紙

調査団体名	市民ネットワークすずかのぶどう (株式会社建設環境研究所)	複数団体が合同で実施している場合は、代表的な団体名をひとつ記入し、他の団体名は代表的な団体の後ろに〈 〉をつけて記入して下さい。
	調査参加人数	12 人

指標生物 (見つかった指標生物に○印、数が多かった上位から2種類(最大3種類)に●印をつけて下さい)			調査地点の概要 (生物を採取した場所の状況について記入して下さい)			
水質階級Ⅰ	1	アマカ類		調査河川名	鈴鹿川	
	2	ナミウズムシ		調査地点名	亀山橋	
	3	カワゲラ類		昨年度の調査状況 (昨年度調査に参加した方のみチェックして下さい)	今年の調査地点は昨年度と同じですか？ <input type="checkbox"/> 同じ場所で調査した 昨年度の水質階級は <input type="checkbox"/> I <input type="checkbox"/> II <input type="checkbox"/> III <input type="checkbox"/> IV <input checked="" type="checkbox"/> ちがう場所で調査した	
	4	サワガニ		調査日時	平成26年 8月 6日 10時 開始時刻を24時間で記入して下さい。(午後2時は14時)	
	5	ナガレトビケラ類	●	天気	<input checked="" type="checkbox"/> はれ <input type="checkbox"/> くもり <input type="checkbox"/> 雨 調査時の天気をチェックして下さい	
	6	ヒラタカゲロウ類		水温	25.0℃(小数点1桁まで記入して下さい)	
	7	ブユ類		川幅	約 14.0 m 水の流れの幅を記入して下さい(小数点1桁まで記入できます)	
	8	ヘビトンボ		生物採取場所	<input type="checkbox"/> 川の中心 <input type="checkbox"/> 上流から見て右岸 <input checked="" type="checkbox"/> 上流から見て左岸 採取した場所をチェックして下さい	
	9	ヤマトビケラ類		水深	約 22 cm 採取した場所の平均的な水深を記入して下さい	
	10	ヨコエビ類		以下は、生物を採取した場所にあてはまるものをチェックして下さい		
水質階級Ⅱ	11	イシマキガイ	○	流れのはやさ	<input type="checkbox"/> 速い(毎秒60cm以上) <input checked="" type="checkbox"/> 普通(毎秒30～60cm) <input type="checkbox"/> 遅い(毎秒30cm以下)	
	12	オオシマトビケラ		川底の状態	<input type="checkbox"/> 頭大の石が多い <input checked="" type="checkbox"/> こぶし大の石が多い <input type="checkbox"/> 小石と砂 <input type="checkbox"/> コンクリート <input type="checkbox"/> 砂と泥 <input type="checkbox"/> 泥 <input type="checkbox"/> コケ <input type="checkbox"/> その他	
	13	カワニナ類			水のおい	<input checked="" type="checkbox"/> においは感じられない <input type="checkbox"/> においが感じられる (ドブ、石油、薬のような不快感のあるにおい)
	14	ゲンジボタル			水のごり	<input checked="" type="checkbox"/> 透明またはきれい <input type="checkbox"/> 少しにごっている <input type="checkbox"/> 大変にごっている
15	コオニヤンマ		この地点の水質階級は II です			
水質階級Ⅲ	16	コガタシマトビケラ類	○			
	17	ヒラタドROMシ類	●			
	18	ヤマトシジミ				
	19	イソコツブムシ類				
水質階級Ⅳ	20	タニシ類				
	21	ニホンドロソコエビ				
	22	シマイシビル				
	23	ミズカマキリ				
水質階級の判定	24	ミズムシ				
	25	アメリカザリガニ	●			
	26	エラミミズ				
	27	サカマキガイ				
水質階級の判定	28	ユスリカ類				
	29	チョウバエ類				
水質階級の判定 1. ○印と●印の個数 2. ●印の個数 3. 合計(1欄+2欄)			I	II	III	IV
この地点の水質階級は			II です			

その他の生物(水生昆虫、貝、エビ・カニ類)		魚類
ウルマーシマトビケラ	ナベブタムシ マダラカゲロウ類	カワムツ
カワカゲロウ類	ニンギョウトビケラ類	タモロコ
キイロカワカゲロウ	ヌマエビ類	ヨシノボリ類
サナエトンボ類	ヒゲナガカワトビケラ類	
テラカゲロウ	ヒル類	
水草類	鳥類	その他、気づいたこと

【団体名：三重県立国児学園】

調査日：平成26年8月6日

全国水生生物調査結果 集計用紙

調査団体名	三重県立国児学園 (株式会社建設環境研究所)	複数団体が合同で実施している場合は、代表的な団体名をひとつ記入し、他の団体名は代表的な団体の後ろに()をつけて記入して下さい。
	調査参加人数	45 人

指標生物 (見つかった指標生物に○印、数が多かった上位から2種類(最大3種類)に●印をつけて下さい)			調査地点の概要 (生物を採取した場所の状況について記入して下さい)				
水質階級Ⅰ	1	アマカ類	○	調査河川名	雲出川		
	2	ナミウズムシ		調査地点名	小戸木橋		
	3	カワゲラ類		昨年度の調査状況 (昨年度調査に参加した方のみチェックして下さい)	今年の調査地点は昨年度と同じですか? <input checked="" type="checkbox"/> 同じ場所で調査した 昨年度の水質階級は <input checked="" type="checkbox"/> Ⅰ <input type="checkbox"/> Ⅱ <input type="checkbox"/> Ⅲ <input type="checkbox"/> Ⅳ <input type="checkbox"/> ちがう場所で調査した		
	4	サワガニ			調査日時	平成26年 8月 6日 14時 開始時刻を24時間で記入して下さい。(午後2時は14時)	
	5	ナガレトビケラ類		○	天気	<input type="checkbox"/> はれ <input type="checkbox"/> くもり <input checked="" type="checkbox"/> 雨 調査時の天気をチェックして下さい	
	6	ヒラタカゲロウ類			水温	27.8℃(小数点1桁まで記入して下さい)	
	7	ブユ類			川幅	約 8.0 m 水の流れの幅を記入して下さい(小数点1桁まで記入できます)	
	8	ヘビトンボ			生物採取場所	<input checked="" type="checkbox"/> 川の中心 <input type="checkbox"/> 上流から見て右岸 <input type="checkbox"/> 上流から見て左岸 採取した場所をチェックして下さい	
	9	ヤマトビケラ類				水深	約 10 cm 採取した場所の平均的な水深を記入して下さい
	10	ヨコエビ類			●	以下は、生物を採取した場所にあてはまるものチェックして下さい	
11	イシマキガイ	流れのはやさ	<input checked="" type="checkbox"/> 速い(毎秒60cm以上) <input type="checkbox"/> 普通(毎秒30~60cm) <input type="checkbox"/> 遅い(毎秒30cm以下)				
12	オオシマトビケラ		川底の状態			<input type="checkbox"/> 頭大の石が多い <input checked="" type="checkbox"/> こぶし大の石が多い <input type="checkbox"/> 小石と砂 <input type="checkbox"/> コンクリート <input type="checkbox"/> 砂と泥 <input type="checkbox"/> 泥 <input type="checkbox"/> コケ <input type="checkbox"/> その他	
13	カワニナ類	水質階級Ⅱ				水のおい	<input checked="" type="checkbox"/> においは感じられない <input type="checkbox"/> においが感じられる (ドブ、石油、薬のような不快感のあるにおい)
14	ゲンジボタル		水のごり				<input checked="" type="checkbox"/> 透明またはきれい <input type="checkbox"/> 少しにごっている <input type="checkbox"/> 大変にごっている
15	コオニヤンマ	水質階級Ⅲ		この地点の水質階級は <input type="checkbox"/> Ⅰ <input checked="" type="checkbox"/> Ⅱ <input type="checkbox"/> Ⅲ <input type="checkbox"/> Ⅳ です			
16	コガタシマトビケラ類		水質階級Ⅳ	判定			
17	ヒラタドロムシ類	1. ○印と●印の個数					
18	ヤマトシジミ	2. ●印の個数					
19	イソコツブムシ類	3. 合計(1欄+2欄)					
20	タニシ類	2 3 0 0					
21	ニホンドロソコエビ						
22	シマイシビル						
23	ミズカマキリ						
24	ミズムシ						
25	アメリカザリガニ						
26	エラミミズ						
27	サカマキガイ						
28	ユスリカ類						
29	チョウバエ類						

その他の生物(水生昆虫、貝、エビ・カニ類)		魚類	
アメンボ類	シジミ類	ヒゲナガカワトビケラ類	オイカワ
ウルマーシマトビケラ	タニガワカゲロウ類	マダラカゲロウ類	シマドジョウ
オオシロカゲロウ	トビイロカゲロウ類		ヨシノボリ類
ガガンボ類	ナベバタムシ		
サナエトンボ類	ヌマエビ類		
水草類	鳥類	その他、気づいたこと	

【団体名：塩浜学童保育所】

調査日：平成26年8月7日

全国水生生物調査結果 集計用紙

調査団体名	塩浜学童保育所 (株式会社建設環境研究所)	複数団体が合同で実施している場合は、代表的な団体名をひとつ記入し、他の団体名は代表的な団体の後ろに()をつけて記入して下さい。
		調査参加人数
		28 人

指標生物 (見つけた指標生物に○印、数が多かった上位から2種類(最大3種類)に●印をつけて下さい)		調査地点の概要 (生物を採取した場所の状況について記入して下さい)			
水質階級Ⅰ	1 アミカ類				
	2 ナミウズムシ				
	3 カワゲラ類				
	4 サワガニ				
	5 ナガレトビケラ類				
	6 ヒラタゲロウ類				
	7 ブユ類				
	8 ヘビトンボ				
	9 ヤマトビケラ類				
	10 ヨコエビ類				
水質階級Ⅱ	11 イシマキガイ		●		
	12 オオシマトビケラ				
	13 カワニナ類				
	14 ゲンシボタル				
	15 コオニヤンマ				
	16 コガタシマトビケラ類				
	17 ヒラタドムシ類				
	18 ヤマトシジミ				
水質階級Ⅲ	19 イソコツブムシ類				
	20 タニシ類				
	21 ニホンドロソコエビ				
	22 シマイシビル				
水質階級Ⅳ	23 ミズカマキリ				
	24 ミズムシ				
	25 アメリカザリガニ				
	26 エラミミズ				
	27 サカマキガイ				
	28 ユスリカ類				
	29 チョウバエ類				
水質階級の判定	水質階級	I	II	III	IV
	1. ○印と●印の個数		1		
	2. ●印の個数		1		
3. 合計(1欄+2欄)		0	2	0	0
この地点の水質階級は		II です			
		調査河川名 鈴鹿川 調査地点名 塩浜 昨年度の調査状況 (昨年度調査に参加した方のみチェックして下さい) 今年度の調査地点は昨年度と同じですか? <input type="checkbox"/> 同じ場所で調査した 昨年度の水質階級は <input type="checkbox"/> I <input type="checkbox"/> II <input type="checkbox"/> III <input type="checkbox"/> IV <input type="checkbox"/> ちがう場所で調査した 調査日時 平成26年 8月 7日 11 時 開始時刻を24時間で記入して下さい。(午後2時は14時) 天気 <input checked="" type="checkbox"/> はれ <input type="checkbox"/> くもり <input type="checkbox"/> 雨 調査時の天気をチェックして下さい 水温 30.0 °C(小数点1桁まで記入して下さい) 川幅 約 10.0 m 水の流れの幅を記入して下さい(小数点1桁まで記入できます) 生物採取場所 <input type="checkbox"/> 川の中心 <input type="checkbox"/> 上流から見て右岸 <input checked="" type="checkbox"/> 上流から見て左岸 採取した場所をチェックして下さい 水深 約 20 cm 採取した場所の平均的な水深を記入して下さい 以下は、生物を採取した場所にあてはまるものをチェックして下さい 流れのはやさ <input type="checkbox"/> 速い(毎秒80cm以上) <input checked="" type="checkbox"/> 普通(毎秒30~60cm) <input type="checkbox"/> 遅い(毎秒30cm以下) 川底の状態 <input type="checkbox"/> 頭大の石が多い <input type="checkbox"/> こぶし大の石が多い <input checked="" type="checkbox"/> 小石と砂 <input type="checkbox"/> コンクリート <input type="checkbox"/> 砂と泥 <input type="checkbox"/> 泥 <input type="checkbox"/> コケ <input type="checkbox"/> その他 水のおい <input checked="" type="checkbox"/> においは感じられない <input type="checkbox"/> においが感じられる (ドブ、石油、薬のような不快感のあるにおい) 水のにごり <input checked="" type="checkbox"/> 透明またはきれい <input type="checkbox"/> 少しにごっている <input type="checkbox"/> 大変にごっている			

その他の生物(水生昆虫、貝、エビ・カニ類)		魚類
サナエトンボ類		ヨシノボリ類
シジミ類		カジカ
テナガエビ類		
ヒル類		
モクスガニ		
水草類	鳥類	その他、気づいたこと

【団体名：四日市学習センター（1/2）】

調査日：平成26年8月2日

調査団体名		内部地区社会福祉協議会		複数団体が合同で実施している場合は、代表的な団体名をひとつ記入し、他の団体名は代表的な団体の後ろに（ ）をつけて記入して下さい。	
市町村名		四日市市		調査参加人数	65人

指標生物 (見つかった指標生物に○印、数が多かった上位から2種類(最大3種類)に●印をつけて下さい)				調査地点の概要 (生物を採取した場所の状況について記入して下さい)		
水質階級 I	1	カワゲラ類		調査河川名	内部川	
	2	ヒラタカゲロウ類		調査地点名	矢矧橋上流	
	3	ナガレトビケラ類		昨年度の調査状況 (昨年度調査に参加した方のみチェックして下さい)	今年の調査地点は昨年度と同じですか？ <input checked="" type="checkbox"/> 同じ場所で調査した 昨年度の水質階級は <input type="checkbox"/> I <input checked="" type="checkbox"/> II <input type="checkbox"/> III <input type="checkbox"/> IV <input type="checkbox"/> ちがう場所で調査した	
	4	ヤマトビケラ類			調査日時	2014年 8月 2日 9時00分 開始時刻を24時間で記入して下さい。(午後2時は14時)
	5	アマカ類		天気	<input checked="" type="checkbox"/> はれ <input type="checkbox"/> くもり <input type="checkbox"/> 雨 調査時の天気をチェックして下さい	
	6	ヨコエビ類		水温	26.0 °C(小数点1桁まで記入して下さい)	
	7	ヘビトンボ		川幅	約 25.0 m 水の流れの幅を整数で記入して下さい	
	8	ブユ類		生物採取場所 <input checked="" type="checkbox"/> 川の中心 <input checked="" type="checkbox"/> 上流から見て右岸 <input checked="" type="checkbox"/> 上流から見て左岸 採取した場所をチェックして下さい	水深 約 30 cm 採取した場所の平均的な水深を記入して下さい	
	9	サワガニ				以下は、生物を採取した場所にあてはまるものをチェックして下さい
	10	ナミウズムシ	2	○	流れのはやさ	<input type="checkbox"/> 速い(毎秒60cm以上) <input type="checkbox"/> 普通(毎秒30~60cm) <input checked="" type="checkbox"/> 遅い(毎秒30cm以下)
水質階級 II	11	コガタシマトビケラ類		川底の状態 <input checked="" type="checkbox"/> 頭大の石が多い <input checked="" type="checkbox"/> こぶし大の石が多い <input checked="" type="checkbox"/> 小石と砂 <input type="checkbox"/> コンクリート <input type="checkbox"/> 砂と泥 <input type="checkbox"/> 泥 <input type="checkbox"/> コケ <input type="checkbox"/> その他	水のおい <input type="checkbox"/> においは感じられない <input checked="" type="checkbox"/> においが感じられる (ドブ、石油、薬のような不快感のあるにおい)	
	12	オオシマトビケラ				水のごり <input type="checkbox"/> 透明またはきれい <input checked="" type="checkbox"/> 少しにごっている <input type="checkbox"/> 大変にごっている
	13	ヒラタドロムシ類				
	14	ゲンジボタル				
15	コオニヤンマ					
水質階級 III	16	カワニナ類	2	○		
	17	ヤマトシジミ				
	18	イシマキガイ				
	19	ミズカマキリ				
水質階級 IV	20	ミズムシ				
	21	タニシ類	3	○		
	22	シマイシビル	10	●		
	23	ニホンドロソコエビ				
水質階級の判定	水質階級		I	II	III	IV
	1. ○印と●印の個数		1	1	2	3
	2. ●印の個数				1	1
	3. 合計(1欄+2欄)		1	1	3	4
	この地点の水質階級は		IVです			

昆虫など		魚類
アメンボ、カワトンボ、オニヤンマ、	シジミ類、アメリカツノウズムシ	ドジョウ、ヨシノボリ、ギンブナ、オイカワ、
サナエトンボ、ギンヤンマ、ガガンボ、	ウスバキトンボの成虫、	タモロコ、メダカ、
ヒゲナガカワトビケラ、コオイムシ、	シオカラトンボの成虫	
ニンギョウトビケラ、	ハグロトンボの成虫	
モクズガニ、ヌマエビ、スジエビ	トノサマガエル、ウシガエル	
水草類	鳥類	その他、気づいたこと
		石に藻が多い。河川工事以降、河床のようすが単調になり、生物相の単純化につながっていると思われる。最近の雨量がほとんどなく、水量が少ないことも、水質の悪化に影響している可能性がある。川周辺には、アレチウリ、オランダガラシが生えている。

【団体名：四日市学習センター（2/2）】

調査日：平成26年8月3日

調査団体名	ecoコンブス号 朝明川から伊勢湾へGO!		複数団体が合同で実施している場合は、代表的な団体名をひとつ記入し、他の団体名は代表的な団体の後ろに（ ）をつけて記入して下さい。			
市町村名	四日市市		調査参加人数	43 人		
指標生物 （見つかった指標生物に○印、数が多かった上位から2種類（最大3種類）に●印をつけて下さい）			調査地点の概要 （生物を採取した場所の状況について記入して下さい）			
水質階級Ⅰ	1	カワゲラ類		●		
	2	ヒラタカゲロウ類		●		
	3	ナガレトビケラ類				
	4	ヤマトビケラ類				
	5	アミカ類				
	6	ヨコエビ類				
	7	ヘビトンボ	2	○		
	8	ブユ類				
	9	サワガニ				
	10	ナミウズムシ				
水質階級Ⅱ	11	コガタシマトビケラ類				
	12	オオシマトビケラ				
	13	ヒラタドROMシ類				
	14	ゲンジボタル				
	15	コオニヤンマ				
	16	カワナナ類				
	17	ヤマトシジミ				
	18	イシマキガイ				
水質階級Ⅲ	19	ミズカマキリ				
	20	ミズムシ				
	21	タニシ類				
	22	シマイシビル				
水質階級Ⅳ	23	ニホンドロンソエビ				
	24	イソコツブムシ類				
	25	アメリカザリガニ				
	26	エラミミズ				
	27	サカマキガイ				
	28	セスジユスリカ				
	29	チョウバエ				
水質階級の判定	水質階級		I	II	III	IV
	1.	○印と●印の個数	3			
	2.	●印の個数	2			
3.		合計(1欄+2欄)	5			
この地点の水質階級は			Iです			
調査河川名			朝明川			
調査地点名			朝明渓谷			
今年度の調査地点は昨年度と同じですか？ 昨年度の調査状況（昨年度調査に参加した方のみチェックして下さい） <input type="checkbox"/> 同じ場所で調査した 昨年度の水質階級は <input type="checkbox"/> I <input type="checkbox"/> II <input type="checkbox"/> III <input type="checkbox"/> IV <input type="checkbox"/> ちがう場所で調査した						
調査日時			2014年 8月 3日 10時 開始時刻を24時間で記入して下さい。（午後2時は14時）			
天気			<input type="checkbox"/> はれ <input type="checkbox"/> くもり <input checked="" type="checkbox"/> 雨 調査時の天気をチェックして下さい			
水温			20 . 5 °C (小数点1桁まで記入して下さい)			
川幅			約 13 m 水の流れの幅を整数で記入して下さい			
生物採取場所			<input checked="" type="checkbox"/> 川の中心 <input checked="" type="checkbox"/> 上流から見て右岸 <input checked="" type="checkbox"/> 上流から見て左岸 採取した場所をチェックして下さい			
水深			約 20 cm 採取した場所の平均的な水深を記入して下さい			
以下は、生物を採取した場所にあてはまるものをチェックして下さい						
流れのはやさ			<input type="checkbox"/> 速い(毎秒60cm以上) <input checked="" type="checkbox"/> 普通(毎秒30~60cm) <input type="checkbox"/> 遅い(毎秒30cm以下)			
川底の状態			<input checked="" type="checkbox"/> 頭大の石が多い <input checked="" type="checkbox"/> こぶし大の石が多い <input type="checkbox"/> 小石と砂 <input type="checkbox"/> コンクリート <input type="checkbox"/> 砂と泥 <input type="checkbox"/> 泥 <input type="checkbox"/> コケ <input type="checkbox"/> その他			
水のおい			<input checked="" type="checkbox"/> においは感じられない <input type="checkbox"/> においが感じられる (ドブ、石油、薬のような不快感のあるにおい)			
水にごり			<input checked="" type="checkbox"/> 透明またはきれい <input type="checkbox"/> 少しにごっている <input type="checkbox"/> 大変にごっている			
昆虫など			魚類			
モンキマメゲンゴロウ1			タカハヤ			
モリアオガエルのおたまじゃくし						
カジカガエルのおたまじゃくし						
水草類			鳥類			
			その他、気づいたこと			

【団体名：土岐市生活学校（土岐市役所）（1/4）】

調査日：平成26年7月31日

様式3

カワゲラウオッチング(全国水生生物調査)結果集計用紙

調査団体名	土岐市生活学校(土岐市役所)	複数団体が合同で実施している場合は、代表的な団体名をひとつ記入し、他の団体名は代表的な団体の後ろに()をつけて記入して下さい。	
市町村名	土岐市	調査参加人数	15 人

指標生物 (見つかった指標生物に○印、数が多かった上位から2種類(最大3種類)に●印をつけて下さい)					調査地点の概要 (生物を採取した場所の状況について記入して下さい)	
水質階級 I	1	アミカ類			調査河川名	妻木川
	2	ナミウズムシ			調査地点名	鶴里町中沢地区
	3	カワゲラ類			昨年度の調査状況 (昨年度調査に参加した方のみチェックして下さい)	今年の調査地点は昨年度と同じですか？
	4	サワガニ	●			<input checked="" type="checkbox"/> 同じ場所で開催した 昨年度の水質階級は <input type="checkbox"/> I <input checked="" type="checkbox"/> II <input type="checkbox"/> III <input type="checkbox"/> IV <input type="checkbox"/> ちがう場所で調査した
	5	ナガレトビケラ類			調査日時	平成26年7月31日 9時
	6	ヒラタカゲロウ類			開始時刻を24時間で記入して下さい。(午後2時は14時)	
	7	フユ類			天気	<input checked="" type="checkbox"/> はれ <input type="checkbox"/> くもり <input type="checkbox"/> 雨
	8	ヘビトンボ			調査時の天気をチェックして下さい	
	9	ヤマトビケラ類			水温	22.0 °C(小数点1桁まで記入して下さい)
	10	ヨコエビ類			川幅	約 3.0 m
水質階級 II	11	イシマキガイ			生物採取場所	<input checked="" type="checkbox"/> 川の中心 <input checked="" type="checkbox"/> 上流から見て右岸 <input type="checkbox"/> 上流から見て左岸
	12	オオシマトビケラ				採取した場所をチェックして下さい
	13	カワニナ類	●		水深	約 30 cm
	14	ゲンジボタル			採取した場所の平均的な水深を記入して下さい	
水質階級 III	15	コオニヤンマ	○		以下は、生物を採取した場所にあてはまるものをチェックして下さい	
	16	コガタシマトビケラ類			流れのはやさ	<input type="checkbox"/> 速い(毎秒60cm以上) <input checked="" type="checkbox"/> 普通(毎秒30~60cm) <input type="checkbox"/> 遅い(毎秒30cm以下)
	17	ヒラタドロムシ類	○			川底の状態
	18	ヤマトシジミ			水のおい	
水質階級 IV	19	イソツツムシ類			水にごり	<input checked="" type="checkbox"/> 透明またはきれい <input type="checkbox"/> 少しにごっている <input type="checkbox"/> 大変にごっている
	20	タニシ類				
	21	ニホンドロソコエビ				
	22	シマイシビル				
水質階級判定	水質階級		I	II	III	IV
	1. ○印と●印の個数		1	3		
	2. ●印の個数		1	1		
	3. 合計(1欄+2欄)		2	4	0	0
この地点の水質階級は					II です	

その他の生物(水生昆虫、貝、エビ・カニ類)		魚類
スジエビ	セミ	ヨシノボリ
ヤゴ類		
ヒゲナガカワトビケラ		
水草類	鳥類	その他、気づいたこと
	うぐいす	

【団体名：土岐市生活学校（土岐市役所）（2/4）】

調査日：平成26年7月31日

様式3

カワゲラウオッチング(全国水生生物調査)結果集計用紙

調査団体名	土岐市生活学校(土岐市役所)	複数団体が合同で実施している場合は、代表的な団体名をひとつ記入し、他の団体名は代表的な団体の後ろに()をつけて記入して下さい。	
市町村名	土岐市	調査参加人数	13 人

指標生物 (見つかった指標生物に○印、数が多かった上位から2種類(最大3種類)に●印をつけて下さい)					調査地点の概要 (生物を採取した場所の状況について記入して下さい)	
水質階級 I	1	アミカ類			調査河川名	妻木川
	2	ナミウズムシ			調査地点名	御幸橋下流
	3	カワゲラ類			昨年度の調査状況 (昨年度調査に参加した方のみチェックして下さい)	今年の調査地点は昨年度と同じですか? <input checked="" type="checkbox"/> 同じ場所で調査した 昨年度の水質階級は <input type="checkbox"/> I <input checked="" type="checkbox"/> II <input type="checkbox"/> III <input type="checkbox"/> IV <input type="checkbox"/> ちがう場所で調査した
	4	サワガニ				
	5	ナガレトビケラ類		●	天気	<input checked="" type="checkbox"/> はれ <input type="checkbox"/> くもり <input type="checkbox"/> 雨 調査時の天気をチェックして下さい
	6	ヒラタカゲロウ類			水温	27.0 °C(小数点1桁まで記入して下さい)
	7	ブユ類			川幅	約 5.0 m 水の流れの幅を記入して下さい(小数点1桁まで記入できます)
	8	ヘビトンボ			生物採取場所	<input checked="" type="checkbox"/> 川の中心 <input type="checkbox"/> 上流から見て右岸 <input checked="" type="checkbox"/> 上流から見て左岸 採取した場所をチェックして下さい
	9	ヤマトビケラ類				
	10	ヨコエビ類			以下は、生物を採取した場所にあてはまるものチェックして下さい	
水質階級 II	11	イシマキガイ			流れのはやさ	<input checked="" type="checkbox"/> 速い(毎秒60cm以上) <input type="checkbox"/> 普通(毎秒30~60cm) <input type="checkbox"/> 遅い(毎秒30cm以下)
	12	オオシマトビケラ				川底の状態
	13	カワナナ類		○	水質階級の判定	
	14	ゲンジボタル				水のごり <input type="checkbox"/> 透明またはきれい <input checked="" type="checkbox"/> 少しにごっている <input type="checkbox"/> 大変にごっている
15	コオニヤンマ		○	この地点の水質階級は II です		
16	コガタシマトビケラ類		●			
水質階級 III	17	ヒラタドROMシ類				
	18	ヤマトシジミ				
	19	イソコツブムシ類				
水質階級 IV	20	タニシ類				
	21	ニホンドロソコエビ				
22	シマイシビル		○			
23	ミズカマキリ					
24	ミズムシ					
25	アメリカザリガニ					
26	エラミミズ					
27	サカマキガイ					
28	ユスリカ類					
29	チョウバエ類					

その他の生物(水生昆虫、貝、エビ・カニ類)		魚類	
ヒゲナガカワトビケラ	トンボ	ヨシノボリ	
スジエビ			
ヤゴ類			
水草類	鳥類	その他、気づいたこと	

【団体名：土岐市生活学校（土岐市役所）（3/4）】

調査日：平成26年7月31日

様式3

カワゲラウオッチング(全国水生生物調査)結果集計用紙

調査団体名	土岐市生活学校(土岐市役所)	複数団体が合同で実施している場合は、代表的な団体名をひとつ記入し、他の団体名は代表的な団体の後ろに()をつけて記入して下さい。	
市町村名	土岐市	調査参加人数	11 人

指標生物 (見つかった指標生物に○印、数が多かった上位から2種類(最大3種類)に●印をつけて下さい)				調査地点の概要 (生物を採取した場所の状況について記入して下さい)		
水質階級 I	1	アミカ類		調査河川名	肥田川	
	2	ナミウズムシ		調査地点名	濃南中学校駐車場付近	
	3	カワゲラ類		昨年度の調査状況 (昨年度調査に参加した方のみチェックして下さい)	今年の調査地点は昨年度と同じですか？ <input checked="" type="checkbox"/> 同じ場所で開催した 昨年度の水質階級は <input checked="" type="checkbox"/> I <input type="checkbox"/> II <input type="checkbox"/> III <input type="checkbox"/> IV <input type="checkbox"/> ちがう場所で調査した	
	4	サワガニ	●		調査日時	平成26年7月31日 9 時 開始時刻を24時間で記入して下さい。(午後2時は14時)
	5	ナガレトビケラ類		天気	<input checked="" type="checkbox"/> はれ <input type="checkbox"/> くもり <input type="checkbox"/> 雨 調査時の天気をチェックして下さい	
	6	ヒラタカゲロウ類		水温	17.0 °C(小数点1桁まで記入して下さい)	
	7	ブユ類		川幅	約 2.0 m 水の流れの幅を記入して下さい(小数点1桁まで記入できます)	
	8	ヘビトンボ		生物採取場所	<input checked="" type="checkbox"/> 川の中心 <input type="checkbox"/> 上流から見て右岸 <input type="checkbox"/> 上流から見て左岸 採取した場所をチェックして下さい	
	9	ヤマトビケラ類			水深	約 10 cm 採取した場所の平均的な水深を記入して下さい
	10	ヨコエビ類		以下は、生物を採取した場所にあてはまるものチェックして下さい		
水質階級 II	11	イシマキガイ		流れのよさ	<input type="checkbox"/> 速い(毎秒60cm以上) <input type="checkbox"/> 普通(毎秒30~60cm) <input checked="" type="checkbox"/> 遅い(毎秒30cm以下)	
	12	オオシマトビケラ		川底の状態	<input type="checkbox"/> 頭大の石が多い <input checked="" type="checkbox"/> こぶし大の石が多い <input type="checkbox"/> 小石と砂 <input type="checkbox"/> コンクリート <input type="checkbox"/> 砂と泥 <input type="checkbox"/> 泥 <input type="checkbox"/> コケ <input type="checkbox"/> その他	
	13	カワニナ類	●		水質階級の判定	水のにおい <input checked="" type="checkbox"/> においは感じられない <input type="checkbox"/> においが感じられる (ドブ、石油、薬のような不快感のあるにおい)
	14	ゲンジボタル		水のにごり <input checked="" type="checkbox"/> 透明またはきれい <input type="checkbox"/> 少しにごっている <input type="checkbox"/> 大変にごっている		
	15	コオニヤンマ	○		この地点の水質階級は II です	
水質階級 III	16	コガタシマトビケラ類				
	17	ヒラタドROMシ類				
	18	ヤマトシジミ				
	19	イソコツブムシ類				
水質階級 IV	20	タニシ類				
	21	ニホンドロソコエビ				
	22	シマイシビル	○			
水質階級 IV	23	ミズカマキリ				
	24	ミズムシ				
	25	アメリカザリガニ				
	26	エラミミズ				
水質階級 IV	27	サカマキガイ				
	28	ユスリカ類				
	29	チョウバエ類				

その他の生物(水生昆虫、貝、エビ・カニ類)		魚類
カワトンボ科のヤゴ		オイカワ
ヒゲナガカワトビケラ		ヨシノボリ
ハゲロトンボ		
ゲンゴロウ		
ドジョウ		
水草類	鳥類	その他、気づいたこと

【団体名：土岐市生活学校（土岐市役所）（4/4）】

調査日：平成26年7月31日

様式3

カワゲラウオッチング(全国水生生物調査)結果集計用紙

調査団体名	土岐市生活学校(土岐市役所)	複数団体が合同で実施している場合は、代表的な団体名をひとつ記入し、他の団体名は代表的な団体の後ろに()をつけて記入して下さい。	
市町村名	土岐市	調査参加人数	11 人

指標生物 (見つかった指標生物に○印、数が多かった上位から2種類(最大3種類)に●印をつけて下さい)			調査地点の概要 (生物を採取した場所の状況について記入して下さい)			
水質階級 I	1	アミカ類				
	2	ナミウズムシ				
	3	カワゲラ類				
	4	サワガニ				
	5	ナガレトビケラ類				
	6	ヒラタカゲロウ類				
	7	ブユ類				
	8	ヘビトンボ				
	9	ヤマトビケラ類				
	10	ヨコエビ類				
水質階級 II	11	イシマキガイ				
	12	オオシマトビケラ				
	13	カワニナ類				
	14	ゲンジボタル				
	15	コオニヤンマ				
	16	コガタシマトビケラ類				
	17	ヒラタドロムシ類	●			
	18	ヤマトシジミ				
水質階級 III	19	イソコツブムシ類				
	20	タニシ類				
	21	ニホンドロソコエビ				
	22	シマイシビル				
	23	ミズカマキリ				
	24	ミズムシ				
水質階級 IV	25	アメリカザリガニ				
	26	エラミズ				
	27	サカマキガイ				
	28	ユスリカ類				
	29	チョウバエ類				
水質階級の判定	水質階級		I	II	III	IV
	1. ○印と●印の個数			1		
	2. ●印の個数			1		
	3. 合計(1欄+2欄)		0	2	0	0
この地点の水質階級は			II です			
調査河川名			肥田川			
調査地点名			肥田町肥田橋付近			
昨年度の調査状況 (昨年度調査に参加した方のみチェックして下さい)			今年の調査地点は昨年度と同じですか？ <input checked="" type="checkbox"/> 同じ場所で調査した 昨年度の水質階級は <input type="checkbox"/> I <input checked="" type="checkbox"/> II <input type="checkbox"/> III <input type="checkbox"/> IV <input type="checkbox"/> ちがう場所で調査した			
調査日時			平成26年7月31日 10時 開始時刻を24時間で記入して下さい。(午後2時は14時)			
天気			<input checked="" type="checkbox"/> はれ <input type="checkbox"/> くもり <input type="checkbox"/> 雨 調査時の天気をチェックして下さい			
水温			22.5 °C(小数点1桁まで記入して下さい)			
川幅			約 7.0 m 水の流れの幅を記入して下さい(小数点1桁まで記入できます)			
生物採取場所			<input type="checkbox"/> 川の中心 <input checked="" type="checkbox"/> 上流から見て右岸 <input checked="" type="checkbox"/> 上流から見て左岸 採取した場所をチェックして下さい			
水深			約 30 cm 採取した場所の平均的な水深を記入して下さい			
以下は、生物を採取した場所にあてはまるものをチェックして下さい						
流れのはやさ			<input type="checkbox"/> 速い(毎秒60cm以上) <input checked="" type="checkbox"/> 普通(毎秒30~60cm) <input type="checkbox"/> 遅い(毎秒30cm以下)			
川底の状態			<input checked="" type="checkbox"/> 頭大の石が多い <input type="checkbox"/> こぶし大の石が多い <input type="checkbox"/> 小石と砂 <input type="checkbox"/> コンクリート <input type="checkbox"/> 砂と泥 <input type="checkbox"/> 泥 <input type="checkbox"/> コケ <input type="checkbox"/> その他			
水のにおい			<input type="checkbox"/> においは感じられない <input checked="" type="checkbox"/> においが感じられる (ドブ、石油、糞のような不快感のあるにおい)			
水にごり			<input checked="" type="checkbox"/> 透明またはきれい <input type="checkbox"/> 少しにごっている <input type="checkbox"/> 大変にごっている			

その他の生物(水生昆虫、貝、エビ・カニ類)		魚類
ヒゲナガカワトビケラ		オイカワ
スジエビ		ヨシノボリ
トビケラ類		
カワトンボ科のヤゴ		
ヤゴ類		
水草類	鳥類	その他、気づいたこと

4. 感想等

一斉モニタリングの参加者から感想を頂きました。

<p>◆参加者名、団体名：第四管区海上保安本部（名古屋海上保安部・巡視艇あゆづき）</p> <p>◆主な観測地点：伊良湖港</p> <ul style="list-style-type: none">・今後も継続して、水質調査を実施していきたいと思います。
<p>◆参加者名、団体名：第四管区海上保安本部（三河海上保安署）</p> <p>◆主な観測地点：衣浦港</p> <ul style="list-style-type: none">・毎年参加しています。港内での調査ということもあり、水はあまりきれいではありませんでした。
<p>◆参加者名、団体名：第四管区海上保安本部（三河海上保安署）</p> <p>◆主な観測地点：三河港</p> <ul style="list-style-type: none">・三河港豊橋地区の海水を採取し調査した結果、各項目に異常な数値は見られなかった。・三河港では、毎年頻繁に赤潮が発生する他、夏季期間中に1～2回ほど、青潮と思われる現象がみられる。
<p>◆参加者名、団体名：第四管区海上保安本部（中部空港海上保安航空基地）</p> <p>◆主な観測地点：常滑港</p> <ul style="list-style-type: none">・水際には少量の浮遊物があったものの、昨年比でゴミの量が少ないと感じた。
<p>◆参加者名、団体名：第四管区海上保安本部（鳥羽海上保安部）</p> <p>◆主な観測地点：鳥羽港</p> <ul style="list-style-type: none">・今後も継続して、水質調査を実施していきたい。
<p>◆参加者名、団体名：スナメリの海</p> <p>◆主な観測地点：大井川</p> <ul style="list-style-type: none">・地域の小河川ですが、海が近いこともあり、満潮には海水が遡上し、海水魚も泳いで来ます。本年も雨が少なく、家庭排水の影響が大きいと思われます。・地域の人たちの川掃除でゴミはあまりありません。小魚も多く、白サギ、ゴイサギが多くエサを取りに来ています。年間を通じて小魚は見られます。
<p>◆参加者名、団体名：白鳥庭園管理事務所</p> <p>◆主な観測地点：御陵橋近く</p> <ul style="list-style-type: none">・昨年度の調査結果と比較し、全ての項目の数値が上がっていました。このことは、昨年よりも川の状態が悪い（汚い）と考えられます。同じ時期での調査でこんなにも数値に違いがあることに驚いています。・日々、庭園の整備をしている傍らで、身近な川が汚れているのが残念です。

<ul style="list-style-type: none"> 年1回の調査ですが、回数を増やすことで年間での水質の変化を調査し、川をきれいにするためには、また維持していくためには、どうしたら良いか考える参考の調査になると思います。
<ul style="list-style-type: none"> ◆参加者名、団体名：東洋建設（株） ◆主な観測地点：天白川河口部 ・ 今後も引き続き、モニタリング調査に参加し、水質環境の変化を調べていきたい。
<ul style="list-style-type: none"> ◆参加者名、団体名：みどりのまちづくりグループ ◆主な観測地点：庄内川系大谷川源流 ・ 昨年と違い今年は一測定で2回の測定ができ、その平均値を測定値とすることができ、自信が持てた。 ・ 私たちの調査流域は、森林地帯に近い①大谷川源流から、内津川と合流する②泉橋、さらにそこから5～6km下流の③五反田橋、さらに下流の④上条河畔林にまたがる。測定点①では、NH₄以外は低濃度であるが、NH₄が高い。測定に問題がなければ、上流域でNH₄が流出するようなものがあるのかもしれない。測定点②では希釈効果があり、項目によっては低い値を示すものがあるが、順次下流に行くにしたがって濃度が上がっていく。通常の河川レベルである。この数年間、同様の傾向にある。 ◆主な観測地点：庄内川系泉橋 ◆主な観測地点：庄内川系内津川五反田橋 ◆主な観測地点：庄内川上条河畔林跡
<ul style="list-style-type: none"> ◆参加者名、団体名：伊勢湾流域圏再生ネットワーク ◆主な観測地点：音羽川新御油橋 ◆主な観測地点：庄内川大当郎橋 ・ 前日に雨が降ったこともあり、濁っていて川の中は全く見えなかった。水際にいるだけでヘドロのような臭いがした。 ◆主な観測地点：庄内川土岐川規則所前 ・ 洗剤が浮いている。魚がいない。 ◆主な観測地点：矢作川 ・ 簡単で見やすいマニュアルが作成されたことで調査をスムーズに行うことができた。 ・ 「水のきれいさ」が追加され、数値では判りにくい事が見えるように感じる事ができた。 ・ 今回で5回目の調査となるが、調査地点周囲の景観も変化なく、豊かな自然を感じられた。ただ、川辺を訪れる人は増加に併せて、ゴミも増えていると感じられる。 ・ 少し早目の時間だったが、前日キャンプをした人などが、既に水辺を楽しんでいた。ただ、後処理が不十分なのか、キャンプ用品が散乱し、例年よりも川辺のゴミが多かった。 ◆主な観測地点：揖斐川揖斐大橋 ・ 川の水は透明度が高く、とてもきれい。周辺にはバーベキュー後のゴミや、花火のゴミが

<ul style="list-style-type: none"> ・ 落ちていた。
<p>◆参加者名、団体名：西鹿乗川別所団地美化クラブ</p> <p>◆主な観測地点：西鹿乗川別所団地小公園前</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ メンバーに調査項目をひとつずつ担当してもらい、水質調査に関心を持ってもらえるようにした。 ・ NH₄がやや多いが、他の項目は合格圏。CODが6以下なのはめずらしい。 ・ 他の場所を含め、水質調査をしているが、悪化の原因追求とその対策がとれず、もどかしさを感じています。 ・ 今年は稲作の年で、少し上流より田んぼの水が流れ込んでいる。
<p>◆参加者名、団体名：扇川を愛する緑の会</p> <p>◆主な観測地点：扇川上汐田橋（干潮時）</p> <p>◆主な観測地点：扇川上流大池</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 数年前に池の浚渫工事を部分的に行ってから、ヒシが発生するようになった。水質にとって良いのか悪いのか分らないが、秋の終わりにヒシが枯れると水が茶色く濁る。 ・ 数十年前は、山の中だったが、今や市街地のど真ん中で、普段はゴミが目立ち、水質もあまり良くない。（6月1日（日）に大池の周囲を清掃。） ・ ゴミ、食品トレイなどが、よく見ると落ちている。カモ、子ガモが数羽いた。 <p>◆主な観測地点：扇川上汐田橋（満潮時）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ゴミは少なくなっている。（6月1日（日）に扇川清掃を実施） ・ 以前名古屋市のモニタリングで定期的に水質調査していた時と比べると、COD、透視度、pHの値から若干、水質が悪くなっていると感じた。（夏期は値が悪くなる。）
<p>◆参加者名、団体名：内山川ホテルを守る会</p> <p>◆主な観測地点：内山川上境橋上流</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 雨が降った後なので少し水に濁りが見られたが、数値は既に平水位ほどに戻っていた。 ・ ゴミはペットボトルやビニールゴミが少し草に引っ掛かっていたが、大きなゴミはなかった。 ・ 上流の方がリン酸態リンの濃度が高めにでているのは、調査個所が集落内にあるためだろうか。 ・ 川が浅い。
<p>◆参加者名、団体名：弘山学区連絡協議会</p> <p>◆主な観測地点：庄内川水系香流川</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 近年大きな変化がない。 ・ 本年は学童保育の子供たちにも調査させている。調査票は学童保育から発表します。 ・ 今年はオイカワが多い。

<ul style="list-style-type: none"> ・ 鮎が約 100 匹群れている。
<p>◆参加者名、団体名：名古屋市高年大学 OB イーツワン</p> <p>◆主な観測地点：堀川小塩橋</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 堀川・小塩橋地点は今回含め 4 回目のモニタリングでこれまでの結果を比較して以下の通り、特に亜硝酸態窒素及び硝酸態窒素が高い傾向で下水処理場に近い放流水の影響と思われる。COD:8 以上で変わらず高目、NH₄-N:2.5~3.0 略洞、NO₂-N:0.5 以上略洞で高目、NO₃-N:10 以上高い、PO₄-P:0.3~0.4 略洞。 ・ モニタリング 10 時時点は比較的水位は高く、川の流れは「よどんでいる」から僅かに下流方向に流れ始めた頃。枯葉が多く、なかには細かい藻類のほか 1 から 2m 位の藻・木の葉、枝、草の集積物が時々流れ、またその集積物の中に紙カップ、レジ袋、カップめん容器が、混じっていた。枯葉や藻類の多いのはこの時期に多い傾向と思われる。
<p>◆参加者名、団体名： NPO 法人伊勢湾フォーラム</p> <p>◆主な観測地点： 中川運河いろは橋付近（上層）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 水質の COD4.0 は、意外にもきれいでした。 ・ ゴミについては、下水道を通して街のゴミが流入しますが、最近医療の雨が降っていないために、全体的に浮遊ゴミはなかった。 ・ 水温は、測定値の推進が 1 から 1.5m のため、上層下層も関係なく 30 から 31℃ と高かった。 ・ レガッタの練習で賑わっていた。 <p>◆主な観測地点： 中川運河いろは橋付近（下層）</p> <p>◆主な観測地点： 中川運河小栗橋付近（上層）</p> <p>◆主な観測地点： 中川運河小栗橋付近（下層）</p>
<p>◆参加者名、団体名： ぐるーぷ かすみ草</p> <p>◆主な観測地点： 堀川小塩橋</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 今回、川面に木の葉、ペットボトル、トレイ等が多く流れ、水の色も汚れていました。森川もなかなかきれいになりませんね。 ・ 川面もゴミが多くありました。
<p>◆参加者名、団体名： シャープビジネスソリューション（株）</p> <p>◆主な観測地点： 雲出川雲出橋</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 水際の環境によって、底の泥などを巻きあげずに、採水することが難しい場合があるので、採水ポイントの選定も重要であると思いました。
<p>◆参加者名、団体名： 蒲郡市役所 企画広報課</p> <p>◆主な観測地点： 袋川</p>

<ul style="list-style-type: none"> ・ もう少し小学生の環境学習として取り上げてはどうか。 ・ 魚はいなかった。
<p>◆参加者名、団体名： 庄内川に松並木づくり隊</p> <p>◆主な観測地点： 庄内川 横井大橋</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 台風 12 号の影響で 8/3（日）の予定が本日になった。 ・ 河畔林まですべて伐採されたので例年のセミの声がない。 ・ 河川利用者の姿なし。カサ上げ表面工事完了。まだ植物は戻っていない。 <p>◆主な観測地点：イカダ川河口 第 2 イカダ川大橋</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 釣人は私と同時に作業初めてすぐにクロダイを釣った。休日にはたくさんの釣人が来るし、船で沖へ釣りに出る人が多いとのこと。 ・ 釣人 1 人目前で 3 竿物クロダイを釣った。プレジャーボートが増えてきた。 <p>◆主な観測地点：名古屋港 トリトン西橋桁</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ハシゴが外され下へ降りられなくなった野球グラウンドを横切り遠回りする必要になった。 ・ 地点移動で従来は休日のためスムーズだったが、今日は台風関係で平日としたため、庄内川河川堤防同・名田国道・国道 302 号ともに大変な交通量で時間ロスが多い。 ・ 釣人はいないがプレジャーボートで 2 そう釣り人がいる。水上スキーを一組やっている。ハシゴが外され下へ降りるのに遠回りとなった。 <p>◆主な観測地点：名古屋港 金城大橋</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 釣れても釣れなくてもいい。家に居るよりはここがいい。昼時のなるとみんな家に帰っていく。 ・ 高齢の釣人数人、たむろんでいる。日影・風通し・車の通行なし。時を過ごすにいい。
<p>◆参加者名、団体名： 神野建設（株）</p> <p>◆主な観測地点：渥美湾 貝の浜</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 浜にアオザ多い。 <p>◆主な観測地点：渥美湾 白浜</p> <p>◆主な観測地点：渥美湾 六条潟</p> <p>◆主な観測地点：三河湾 星越海岸</p> <p>◆主な観測地点：三河湾 名鉄西浦マリーナ</p>
<p>◆参加者名、団体名： NPO 法人 親水会</p> <p>◆主な観測地点： 堀川 幅下橋</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 川面も川岸にもゴミがあった。 ・ 午後に実施したので暑かった。 ・ 前日の雨のせいか、透視度が悪かった。 ・ 川の岸に近いところから時々泡が出ていた。

◆参加者名、団体名： 鯉城・堀川と生活を考える会

◆主な観測地点： 堀川 港新橋

- ・ 外気温が 30℃超えていたので道路（橋上）の照り返しがきつく暑かった。

◆参加者名、団体名： NPO 藤前干潟を守る会

◆主な観測地点： 庄内川 庄内大橋（国道 23 号）

- ・ 最大満潮時刻 3：00 最大干潮時刻 9：55 COD が 8 mg/l と通常の値。
- ・ この数年、庄内川右岸（国道 23 号南側）のヨシの衰退が目立つ。隣の新川に比べ、背が低く生育が悪い。ゴミの影響ばかりでない。「藤前干潟クリーン大作戦実行委員会」として中部大学上野薫先生に鯨飲調査を依頼。
- ・ オオヨシキリの鳴き声を感じた。

◆主な観測地点： 新川 新川大橋（国道 23 号）

- ・ 最大満潮時刻 3：00 最大干潮時刻 9：55 庄内川と同様。
- ・ 台風 11 号が列島に近づいてくるなかで、薄曇りで風がなく穏やかな状態。川の流れは速く、川底の土砂を巻き上げている。夏場になるとよく見かける水草（藻）が流れている。
- ・ 川全体の色が緑褐色（茶色がる）で見た目に汚れている感じだが、透視度が 65.5 cmあり、この時期にしては数値的に良い。COD が 6 mg/l と通常の値。
- ・ 新川右岸の小段は、連日のウナギ釣りのため、ゴミが増え景観が悪くなっている。
- ・ 庄内川のヨシに比べ新川側のヨシは、背も高く生育が良い。
- ・ 水質調査は、現地では振動と騒音で困難なため、自宅の持ち帰り測定。
- ・ 今年は、オオヨシキリの鳴き声が聞こえない。また、コアジサシをほとんど見ることができなかった。
- ・ 細かい水藻が流れている。

◆参加者名、団体名： 梅田川フォーラム

◆主な観測地点： 梅田川下流域 大崎橋中央

- ・ 台風 11 号接近で暴風が吹いて不安の中での採水と川の観察でした。流速はかなり速い。

◆主な観測地点： 梅田川左岸 山崎川河口

- ・ ヒガタアシの根絶のため 3 面張りのコンクリート壁で囲ってしまった。（H25 年）

◆主な観測地点： 梅田川右岸 内張川河口

- ・ 暴風の中で採水でした。（11 号接近の最中）
- ・ 台風 11 号が接近していて（8/9）参加者が少なく、児童が一名もなく盛り上がりを欠けた。もっとも、告知、広報の方法が問題であった。自治会や地域団体の協力を得るようなバックアップを個別に当該協議会がさらに多くの呼びかけ等が望ましく考えます。
- ・ 小中学校への啓発も空振りになっているようです。意図や関心の高い教育関係にもばらつきがあることを知ってほしい。バックアップとしては広報用のチラシを作る等または電話でも小中学校への声掛けも効果があります。
- ・ 地図を示して、地点を知れば、緯度・経度は不要ではありませんか。

<p>◆参加者名、団体名：池田町 四つ葉会</p> <p>◆主な観測地点：中川 八幡広海橋</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 上流は湧水や流れがあつて、ハリヨもいる清流だが、ここは堰止めのせいで水がよどんでいた。冬は流れているので、もう少しきれいで、油も浮いていない。季節によって差がある。 ・ 夏は農業用水になるので堰止めがしてあり、たまり水となっている。 <p>◆主な観測地点：東川 上田、池田小学校東</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ここは上流なので、きれいでした。でも下流（東川と抗瀬川の合流点）はゴミや泡があり、汚れている。 ・ 流れが速く、水の中へ入ったら気持ちよかった。 <p>◆主な観測地点：抗瀬川 八幡、八幡小学校北</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ここは流域の下水道が完備したせいか、とてもきれい。自然の流れは心をいやすと感じる。他の川も調べたおかげで、このきれいが、よくわかった。 ・ きれいな水がたくさん流れ、所々に湧水も出て、川の中へ入りたくなる。
<p>◆参加者名、団体名：岐南町役場</p> <p>◆主な観測地点：境川 堤橋付近</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 伊勢湾の上流でモニタリングすることにより、少しでも伊勢湾に流れ込む水質の改善につながればよいと思いました。 ・ 魚が泳いでいた。
<p>◆参加者名、団体名：可児市めだかの楽校</p> <p>◆主な観測地点：可児川 可児市役所北側</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 小学生、中学生、高校生、そして親子、市民など総勢 50 人くらいの人々が参加して「モニタリング」を行いました。「川に親しむ」という点では、可児川での水質調査や水生生物観察によって川に楽しく親しむことができていると考えています。 ・ 高校 1 年生が今回 6 人参加しました。どうしたら故郷の川“可児川”を守り、次世代につなげていけるか、“まちづくり”についても少しの時間でしたが、話し合いました。川や水について、彼らが今後も考えていくきっかけになったことを願っています。 ・ 水量の少なさを今回も感じました。
<p>◆参加者名、団体名：小里川ダム里山教室</p> <p>◆主な観測地点：土岐川 明德橋</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 昨年度と同じ 4 地点で調査した。目標のオオサンショウウオらしき生物を見つけ出すことはできなかった。 ・ 地点①～④を調査した結果としては、ほぼ昨年と同じ値であったが、水生生物の種類と数が多く採取でき、川の水がきれいになっているようです。昨年の猛暑の反省から、集合時間を 1 時間半ほど早く午前 7 時半とした。同じ地点であったので、地点とりが容易く、ス

・ ムーズに実施できた。ただ、モニタリングの結果報告は相変わらず、大変だと感じました。

◆主な観測地点：小里川 孕子橋

- ・ この地点は土岐川にそそぐ、小里川という支流で上流にダムがあるせいか、水温が若干他地点より低い。
- ・ ザリガニ、クロカワムシ、ヨシノボリ、カワエビ、カワムツが採取され、また川辺にトンボやチョウが観測できた。生物の種類が多く、また数も多く観測できた。小魚を採取するのは、難しい。打ち網か大きなタモが欲しい。

◆主な観測地点：釜戸川 新町屋橋

- ・ ここは、釜戸川の鮎放流エリア。水生生物はヨシノボリ、カワエビ、カワムツ等が採取できた。また、今回の目標の一つであるギギ(?)アカザ(?) (絶滅危惧種ⅡVU) が何匹が採取できた。子供もいることから、絶滅を逃れ、生息できる環境であると判断できる。40年程前は、水遊び中に触れると刺されて、赤くはれて、厄介者であったそうだ。

◆主な観測地点：佐々良木川 上平橋

- ・ 土岐川源流の釜戸川の支流・佐々良木川は、このあたり幅は狭いが、屏風山の裾野流域は案外広い。
- ・ ヨシノボリ、カワムツ、ギギ(?)アカザ(?), オオヒラタヤゴが採取された。それと、大きなウシガエルオタマジャクシが捕獲できたが、これは、日本の侵略的外来種ワースト100に指定され、駆除の対象になっているそうだ。しかし、完全な駆除はもう不可能と思われる。

◆参加者名、団体名：小塩通信(株)

◆主な観測地点：長良川 鏡島大橋

- ・ 今回は、調査場所まで行くのに、草が生えていたので、不安でした。川までの道のりが不安なくたどり着けるとよいと思います。
- ・ 今回も、花火大会の一斉清掃に合わせて、実施させていただきましたので、ゴミもとることができました。

◆参加者名、団体名：可児市

◆主な観測地点：可児川 潤之上橋

- ・ 採水した水の水質を見て、大腸菌群数がかかり多いように感じました。過年度のデータも確認したところ同じように夏季の水質が悪化していました。これは水温の上昇や渇水により大腸菌の活動が活発になり増殖したこと、水が希釈されなかったことが原因だと思われる。
- ・ 他には pH が大腸菌群数と同じように高めの数値が出ていましたが、こちらも過年度のデータを確認すると夏季の数値が高くなっていました。これも上記と同じように渇水により水が希釈されず、また水温の上昇により水中の植物の光合成が活発になり、酸性の性質を持つ二酸化炭素が消費されたことが原因と思われる。
- ・ 水量が全体的に少ないように感じました。

<ul style="list-style-type: none"> ◆主な観測地点：可児川 矢作田橋 ◆主な観測地点：可児川 子守大橋 ◆主な観測地点：可児川 広見橋 ◆主な観測地点：可児川 鳥屋場橋 ◆主な観測地点：可児川 二の井橋 ◆主な観測地点：可児川 はね橋
<ul style="list-style-type: none"> ◆参加者名、団体名：岐南町 ◆主な観測地点：境川 清六橋上流 <ul style="list-style-type: none"> ・ 普段何気なく見ている川ですが、改めて水質調査をしたり、河川敷の様子を観察して水の大切さを感じました。僕が思っていたより水は汚れているように感じました。 ・ 岐南町は下水道がかなり整備されているそうですが、川にゴミを捨てないようにとかキャンペーンした時など川を汚さないように気を付けたいです。 ・ また、COD や NH₄ などが水の汚れを表す目安になるものだというのが勉強になった。 ・ 雷雨の後だったので、水が少し濁っていた。流れが速く、水生生物（魚）をなかなか確認できなかった。
<ul style="list-style-type: none"> ◆参加者名、団体名：小野様 ◆主な観測地点：木曾川 <ul style="list-style-type: none"> ・ 人のマナー、犬の散歩が多い。
<ul style="list-style-type: none"> ◆参加者名、団体名：小嵩町 ◆主な観測地点：可児川 西田 <ul style="list-style-type: none"> ・ 毎年、町で実施しているカワゲラウォッチングがちょうど一斉モニタリング実施日と重なったということもあり、参加させていただきました。例年使っているキットや調査器具を用いた調査のため、用紙の調査項目とは少しずれた内容となっておりますが、身近な河川環境を毎年調べることで、河川の状態が良くなっていたり悪くなっていたりということは分るため、今後も地域環境保全のために、また町民の環境学習の場として、このようなモニタリングを続けて行っていけたらと思います。また機会があれば今回未実施の調査項目につきましても調査を行いたいと思います。
<ul style="list-style-type: none"> ◆参加者名、団体名：フェザー安全剃刀（株）関工場 ◆主な観測地点：詰田川 羽根橋下流 <ul style="list-style-type: none"> ・ 今年で5度目の参加となります。調査地点は前回と同じで川幅3～4m、水深20cm程です。台風11号の影響で天候が1日に何度も変わり時折雷雨になる時もありました。増水しているか心配でしたが、水量は普通で、流速は歩く速さ程度でした。 ・ 緩やかな流れのところにオイカワ・シラハエが多数群れていました。 ・ 調査結果では、天候の変化で少量・流速が増したせいかPO₄の値がやや低くなっていま

<ul style="list-style-type: none"> ・ した。COD は昨年の調査と同等の値であり、今後も調査を実施し、魚達が安全に生息できる環境を作っていけるよう、この取り組みに協力していきたいと思います。
<p>◆参加者名、団体名：生田川マモロード会</p> <p>◆主な観測地点：生田川</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 河川改修工事により、コイ、ナマズ等が生息できなくなり、1～2年程度の高エしか生息できなくなり残念に思う。 ・ 学校が夏休み中により、子供達が川遊びに来たらしく魚の入れ物が残してあり、水辺にも魚を入れて遊んだと思われる囲いが作ってあり、楽しく遊んだと思われる跡があり、整備活動の成果を感じることができる。 ・ 台風11号により雨が降り、通常より水量が多い。
<p>◆参加者名、団体名：大垣市生活学校</p> <p>◆主な観測地点：水門川</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ この期間、台風が滞留し、予定日にできず、最終日の13日にすることになった。 ・ 川の辺に近づくのが難しくなっている。
<p>◆参加者名、団体名：スティッチ</p> <p>◆主な観測地点：加瀬田川</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 休日毎に天気が悪く、調査が遅くなり申し訳ありませんでした。本日は雨間を見て、強行いたしました。 ・ 今年はずもには見られない、水面（水溜り）に泡、水中草（バイカモ？）が見られました。
<p>◆参加者名、団体名：富士ゼロックスマニュファクチャリング（株）</p> <p>◆主な観測地点：鈴鹿川 名阪国道高架下</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 昨年までと比べて水量が多かった。その他に変化はなし。 <p>◆主な観測地点：安楽川 安楽大橋下</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 川は浅く、魚類は岸からは見られなかった。 <p>◆主な観測地点：鈴鹿川 河口1km地点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 昨年は干潮時に採取を行いましたが、今回は同時刻が満潮直後となりました。水量は多いが川の流れはほとんどない状態です。岸边付近の川の水は、細かい砂？で若干の濁りがある程度で、水自体はややきれいだと思います。 <p>◆主な観測地点：御幣川</p> <p>◆主な観測地点：鈴鹿川 五味塚橋下</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 同一場所での観測をしていますが、今年は草が生い茂っており、次年度以降、同一場所での調査ができない可能性がある。 ・ 水深が浅く、魚は見られなかった。

<p>◆主な観測地点：三滝川支流矢合川 東名阪自動車道高架下</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 堰堤の下は水の流れないため、ゴミ浮遊物がある。毎年同じ。 <p>◆主な観測地点：鈴鹿川 高岡橋東</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 雨が少ないため、水量がかなり少なく、岸はところどころヒビ割れていた。 <p>◆主な観測地点：海岸 若松漁港</p> <p>◆主な観測地点：鈴鹿川 山辺町南岸</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 水量がかなり少ない。 <p>◆主な観測地点：鈴鹿川 平和橋</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 堤防に不法投棄された雑誌があったが、川面や水際にゴミは見当たらなかった。 <p>◆主な観測地点：鈴鹿川 本郷橋下</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 水面が泡立っている。 <p>◆主な観測地点：八島川</p>
<p>◆参加者名、団体名： NPO 法人 緑の会羽津</p> <p>◆主な観測地点： 米洗川 ①地点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 水位計（円錐形）があることを初めて知った。 ・ 上から見た川はきれいに思ったが、空き缶などのゴミが捨てられていたことは残念であった。 ・ きれいな川になって生物がたくさん住めるようになればよいと思った。 ・ 「米洗川をきれいにしよう」の看板を取り付けた。 ・ 魚類が思ったより見当たらなかった。セイタカアワダチソウなどの雑草が茂っている。 <p>◆主な観測地点： 米洗川 ②地点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 空き缶などのゴミが捨てられているところがあった。 ・ 生物がたくさん住めるようなきれいな川であってほしい。 <p>◆主な観測地点： 米洗川支流沢の川 ③地点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 住宅排水も流れる影響で生物は見当たらなかった。水の色も少し濁っている。雑草が生えている。
<p>◆参加者名、団体名：雲出川愛護モニター</p> <p>◆主な観測地点： 中村川一志橋付近</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 川幅 50m 位で川岸はコンクリートで固められています。川の流れは急流で、川底は砂地で透明度は良い。魚も観察され、水を取ると透明度もよく、不純物も確認できませんでした。不法投棄・生活ごみ・油膜等もなく、水環境は概ねいいと思います。 ・ シラサギがテトラに陣取り小魚を捕食している風景は、水生動物を通じ概ね良好だと思う。パックテストでは全て測定範囲内です。昨年と比較すると数値が高いが、好天続きで降雨の影響でしょうか。 ・ 中村川一志橋周辺は保育園・公民館があり、周りは田園・畑と自然環境には恵まれたところだと思います。野鳥・植物も多く、採水時小魚がたくさん群れを成して泳ぎ回っています。

- ・ した。数値結果は中流域ではよいと思います。化学肥料・農薬・工場排水・生活排水等の影響も数値上問題なくよいと思います。降雨の時、河川に流れ込む数値の値は異なるでしょうが、たくさんの小魚と植物が確認でき概ね良好だと思います。

◆主な観測地点：阪内川三郷井関

- ・ 川幅 30m ぐらいで川岸はコンクリートで固められています。川の流は緩やかで、川底は藻で覆われ、透明度も高く魚もたくさん目視できます。水を取ると不純物・匂いもなく、藻が少し混ざる程度でした。採取場所は、住宅街に流れる河川ですが、公園整備が行き届き不法投棄・生活ごみなどが確認できず、環境整備は概ね良好だと思います。
- ・ 松阪市街地ですが樹木が多く、野鳥もたくさんさえずり、気持ちが良い場所です。管理が行き届いているのか、生活ごみ・不法投棄もなく、雑草も刈り取られていました。河川の状況も良く、底には藻が生い茂っています。
- ・ 住宅街を流れる河川ですが不法投棄・生活ごみ等が確認できず、パックテストでは許容範囲内で全て収まっています。概ね水環境は良好だと思います。

◆主な観測地点：愛宕川潮止通門

- ・ 川幅 30m ぐらいで川岸はコンクリートで固められている。上流部分はアシ群で覆われ、護岸堤防上は植物が覆っています。パックテスト・水質調査の際は、満潮時に近く水量が多く、海底面が見えません。海面にはミドリガメ 3 匹、ボラ稚魚が群れ、昨年度の干潮時とずいぶん異なった感じです。COD 数値も水量の影響が昨年と異なり良い値が観られます。ドブ臭さの匂いも海の匂いが強く感じられますが、透明度は悪く土色・黄土色です。
- ・ 通門河口側と上流側とで風景はかなり異なります。河口川はコンクリート護岸で施工され、雑草が少し育成していますが、上流川は樹木が堤防にあり景観は良い感じです。生活ごみ・あき缶・ペットボトルが少しあります。
- ・ 採水場所は潮止通門上流ですが海底の土質はヘドロ状で川面に泡の発生も多く、生き物も少ないように感じられます。カニ類（チゴガニ・コメツキガニ・アシハラガニ等）は確認できません。通門上流部は水量も豊富でアシが繁茂し昆虫類も生息していると思います。通門で自然環境がかなり異なっています。パックテストの水質検査では範囲内ですが、不法投棄・生活ごみが少し確認され景観・風土上芳しくありません。

◆主な観測地点：金剛川潮止通門

- ・ 川幅 70m ぐらいで、コンクリートで固められています。川の流は緩やかで透明度は悪く、土色です。満潮時で河口側の水量は豊富でした。通門上流で水を取ると透明度が悪く、土色です。匂いは、かすかにヘドロ臭く、ウロも確認できます。潮止通門の上流部はアシが多く、シラサギ等が群生・捕食。下流部はハマボウの花が咲き、アシ群も多く生息していますが、ペットボトル・発泡スチロール等が多く、植物周りを埋め尽くしています。
- ・ 右岸にハマボウが咲き、シラサギが捕食していました。ハゼ類・カニ類の餌があると思いますが、透明度は悪く採水ビンでも確認できます。アシ群・オダ群周辺に空き缶・ペットボトル・発泡スチロール等がたくさんあります。
- ・ 川幅が広くハマボウが咲き、潮の匂いも適度に感じられ景観は良好です。しかし、採水場所の通門では潮とヘドロ臭が交わった匂いを感じます。河口部は満潮時で水量も多くミド

- ・ リガメ・セイゴを確認。通門上流部では黄土色の粘土のような形態です。水環境はアシ群・オダ群が多くシラサギ群れを確認でき、自然環境保全是概ね良好だと思います。

◆主な観測地点：三渡川千貫通門

- ・ 川幅 15m ぐらいで川岸はコンクリートで固められています。川の流れはなく、水深も浅く川底は土色で透明度は低い。水を取ると不純物・匂いも少なく・油膜は確認できませんでした。堆積物はヘドロ状態で泥臭い匂いがします。三渡川と合流し、コイの群れが確認できました。護岸周りは樹木で覆われ、小鳥のさえずりが確認できます。動植物も多く水質調査の際、バツタが多く確認でき、不法投棄等生活ごみは確認できませんでした。
- ・ 河口のヘドロ色（黒色）ではなく、土の茶色で水採取の際、浮遊物は確認できませんが、土の匂いが感じられました。アシ群が繁茂し水環境は概ね良好だと思います。動植物も多く餌食の高虫類身多く確認。
- ・ 住宅街を抜け、護岸沿いに少し歩くと千貫通門に出ます。除草が適度に行われ管理が行き届いている感じです。樹木・昆虫が多く、河川の環境は概ね良いと思いますが、日照り続きで水量がなく護岸周辺の土が見え少し匂います。悪臭ではなく土の匂いです。中洲・護岸周辺に樹木・アシ群が生息し水の浄化に適していると思うのですが、上流からのペットボトル・発泡スチロールが絡み、大雨・台風時に河口に流れ出ると思います。水門を挟んだ風景は樹木が多く、良い環境だと思います。

◆主な観測地点：新井関門

- ・ 川幅は 200m ぐらいで川岸はコンクリートで固められている。川の流れは急流で川底は砂地です。透明度は良く魚が目視できます。水を取ると不純物・匂いもなく、飲みそうな感じ。堰の上流で水を採取しましたが、子アユが群れ、他の魚も多いようです。網を入れると川エビも多くとれそうです。周りの環境は動植物も多く、シラサギが数羽確認できました。
- ・ 採水時小魚が群れ、シラサギが捕食の準備をしていました。周りの環境は良く、中洲・護岸周りは動植物が多そうです。河川敷ではゴミの不法投棄が観られ、台風時の増水に伴い、河口に多くのゴミが集まりそうです。
- ・ 野鳥の囀りが多く、河川周辺は田園・畑が多く、住宅・工場も少なく動植物には良い環境だと思います。水質結果を確認すると雲出川下流部ですが不純物が少なく感じられます。毎年、河口部には多くの渡り鳥が飛来し、貝採取の漁師・漁船の多く出漁されます。水生生物観察会では多くの生き物を観察でき、自然に恵まれた環境にあると思います。

◆参加者名、団体名：十四川を守る会

◆主な観測地点：十四川 豊栄橋

- ・ 十四川河口には、水害対策として水門が設置されており、この水門の手前に上流からのゴミ（ゴミは一定量になると回収する装置があります。）や川に発生した藻等が堆積しヘドロ化しますが、今年2月にこのヘドロの浚渫を行ったため、川底まで見通せるようになりました。このため、川からの悪臭もなく、今のところきれいな水が保たれていますが、やや、ゴミが多く見受けられました。このゴミは、ほとんど上流からのものと思われます。

- ・ 住民一人ひとりが川を汚さないよう強く意識を持ってもらいたいものです。
- ・ 調査地点の水深は、1m ほどであり透明度もよく川底まで見通せますが、川底には大きな草があちこちに流れ込んでおります。また、護岸の淵にはビニール袋等のゴミが少々見受けられます。

◆参加者名、団体名： NPO 法人市民ネットワーク すずかのぶどう

◆主な観測地点： 鈴鹿川 亀山橋上流 50m

- ・ 本来の 26 km地点の構造変化もあり、この場所も選んだ鈴鹿川として本来の川の構造を残し、生き物も多く居る所だからだ。すなわち、川の蛇行があり、淀み、たまり、浅瀬、深み場所もあり、仕掛け（キシドリ）、釣り、タモ、泳ぎもできる。また上流を見れば鈴鹿山脈・岸边森など風景もすばらしい。この風景もすばらしい。この雰囲気は今後も残したいから今後もこの地点の調査は続けたい。また、26 km地点を第一歩としてその変化を調べていきたい。水質とは別に生き物調査をもっと詳細にしていきたい。
- ・ 河川敷が広いので花火をする人が多い。その残ゴミを持ち帰っていない。プラスチックゴミ（コンビニ袋や食べ物入）が目立つ。

◆主な観測地点： 鈴鹿川 河口より 26 km地点（小野川－鈴鹿川の合流点）

- ・ この 26 km地点は構造がすっかり変化。これは木下、山下、小野町要望の治水を中心とした河川改修があったからだ。生き物が育む構造（たまり、淀み、岸边森、側小川、中洲）は全て取り払われ平べったい水路のようになってしまった。オイカワ、カワムツ、シマドジョウ、エビ類、タカハヤ、アカザ、フナ、タモロコはもちろんカメやナベブタムシ、カゲロウ、トビゲラなどの水生昆虫も被害を受け、それらを餌とする鳥たちも少なくなった。水質の良否だけではすまされない調査が必要と思う。もちろん水質も影響してくると思う。我々川環境に関心を持つ者にとっては国交省、県、市の人たちとも、もっと話し合っていきたい。今回の工事後でその点、国交省河川事務所の人たちの理解もあり、お互いに相談できるようになってきた。
- ・ 治水中心の大々的な工事が行われ、川幅が広がり、流水が遅くなったためか石に茶色の藻が目立ち滑りやすい。たまりも淀みもなくなった。

◆参加者名、団体名： NPO 法人市民ネットワーク すずかのぶどう 地球クラブ

◆主な観測地点： 鈴鹿川 亀山橋（紀勢線鉄橋下）

- ・ 初めての水質調査ポイントだったが、魚の種類も多くて生き物の環境としても良好であることを感じさせた。ただし、JR 鉄橋の下で、近くに亀山橋があり、市民の中心的な生活圏なので、ゴミなどの害に配慮が必要かと感じた。
- ・ 調査点を少し離れた所や対岸に 2 か所ゴミがあった。

◆主な観測地点： 鈴鹿川 26 kmポイント

- ・ 亀山市太岡寺町である河口から 26 kmポイントの調査箇所は、昨年まで行われた河川工事により、川の様子がすっかり変わってしまった。流れの幅が広げられたため水面が下がって、川底の石に珪草藻の付着が目立ち、足が滑るため川を歩き難くなり、魚も棲家を変え

- ・ ざるを得なかったろうと推測する。
- ・ 合同調査をした「亀山の自然を愛する会」とは、小野川の合流点の上流側と下流側とに分担し、私達のグループは上流側を担当した。
- ・ 「川の環境を変える」ことは、関係する人々の多様な意見を総合して計画を作る必要があることを痛感した。
- ・ 川幅が広がったので、川底の石に茶色の藻が目立ち滑りやすい。

- ◆参加者名、団体名：いなべ市役所
- ◆主な観測地点：大脇谷川 北勢町向平
 - ・ きれいで流れが穏やかだった。
- ◆主な観測地点：員弁川 北勢大橋
 - ・ 魚が少し泳いでいた。
- ◆主な観測地点：相場川 薬師橋
- ◆主な観測地点：員弁川 大杜橋北側
 - ・ 水量が少なかった。
- ◆主な観測地点：宇賀川 大井田橋西側
 - ・ 水がきれいで澄んでいた。
- ◆主な観測地点：員弁川 最下流
 - ・ 水が少し濁っていた。
- ◆主な観測地点：山神川 大安町梅戸
 - ・ 水が少し濁っていた。
- ◆主な観測地点：戸上川 茶屋川橋
 - ・ 流れが穏やかだった。

- ◆参加者名、団体名：レッ津！夢みなとプラン推進協議会
- ◆主な観測地点：岩田川
 - ・ 魚が跳ねていた。

- ◆参加者名、団体名：宮川流域ルネッサンス協議会
- ◆主な観測地点：大内山川 紀勢大橋
 - ・ 近くでアユ釣りをしている。
- ◆主な観測地点：宮川 三瀬の渡し（三瀬川）
 - ・ 魚がとんでいる。
- ◆主な観測地点：菌川 フォレストピア
 - ・ 川遊びをしている人が多い。
- ◆主な観測地点：宮川 宮川上流漁協横
 - ・ 川遊びをしている人が多い。
- ◆主な観測地点：濁川 高橋右岸

◆主な観測地点：一之瀬川 一之瀬川左岸

- ・ 数人川遊びをしている。

◆主な観測地点：横輪川 馬淵橋右岸

◆主な観測地点：宮川 渡会橋下

◆主な観測地点：五十鈴川 浦田橋下流

◆参加者名、団体名：山手中学校

◆主な観測地点：海蔵川河口 国道23号線（三重橋付近）

- ・ 去年も参加しましたが川の感じなどはあまり変わっていなかったように思いました。川にはいろんな生き物が結構いましたし、川のにごり具合や匂いも川として普通でした。水質に関しても去年とほぼ同じでそれなりにきれいでした。結果を見てあまり変わっていないと思いました。僕は中学3年生なので今年がとりあえず最後のモニタリングですが、まだ続いていたらいつかは参加しようと思いました。
- ・ 見た目は、あまりきれいじゃなかったのに水質調査したら意外ときれいだった。自分たちの住んでいるところの海の状況を知ることができて、よかった。また、きれいだったのでよかった。思っていたよりも、たくさんの生き物がいた。今回、水質調査をして、きれいなところもあったけどきれいじゃないところもあったので、そこをきれいにしたいと思った。何が伊勢湾を汚すものになっているのかを知りたい。自分たちに原因があるのならそれを直したいと思う。例えば、ごみのポイ捨てをこれからはしないとか、小さなことからしていきたい。
- ・ 川の中の水は濁っていて底が見えない状態だったけれど、ビーカーに入れてみると水の向こう側が透けて見えるほどにきれいだったから、濁って見えたのは光の加減か水がわずかに濁っていたのかもしれないと思った。水辺の生き物は、フナ虫と貝類くらいしか見当たらなかった。
- ・ 全員の調査結果は、COD以外はそろった。CODは半々に分かれた。分れた理由はよくわからないけれど、もたもたしていて実施時間がずれたことが原因として考えられる。水においては、近くに伊勢湾があるからか潮のにおいがしていた。水面にはゴミは浮いていなかったけれど、水辺の岩場にはペットボトルやお菓子の袋、布の切れ端などが落ちていたから、もっと水辺をきれいに使うように心がけなければいけないと思った。また、来年も海蔵川の水質調査をしたいと思った。

◆参加者名、団体名：昭和電線ケーブルシステム

◆主な観測地点：員弁川 天王橋中央部

- ・ 気温の記入欄がなかったので、ここに記載します。(気温 29.5~33.2℃)
- ・ 初めての参加のため、5物質の測定が主となってしまったが、次回の参加まで同じポイントの変化を目視観察し(写真で残す)、次回の調査分析の材料としたい。
- ・ 採水点の橋の上を通過する人たち(近所の農家の方)が、何をしているのだろうと訝しげな顔で通られるので、幟かベストに「一斉モニタリング中」の表示があればと思いました。

- ・ 地元の川を市民・町民が見直し、美しい川を後世に残す努力が必要と感じました。

◆参加者名、団体名： NPO 法人木曾三川ごみの会

◆主な観測地点： 揖斐・長良川左岸 河口から左岸 3 km地点

- ・ 今回のモニタリングは、小学生の環境学習の一環として会員代表者が学校等に働きかけたところ、学校関係者も前向きに検討し今回の合同調査が設定されました。さらに桑名市役所環境政策課、同市長島総合支所、桑名警察署に協力していただき環境啓発資料、児童に対する事故防止安全用具等の準備（ライフジャケット、手袋等）等々積極的に支援をして下さいました。児童も伊勢湾を含め流域河川の人たちが環境問題に取り組んでいることを知り環境に対する意識を強くしたように感じた。児童たちは「来年も参加したい」と話していた。
- ・ 調査地点は汽水域で、調査時は干潮時間帯。

◆参加者名、団体名：多気町立勢和中学校

◆主な観測地点： 櫛田川

- ・ 生徒と一緒に水質調査を行った。生徒にとっては普段から慣れ親しんだ櫛田川が調査の対象であったこともあり、興味関心を持って調査に取り組むことができた。調査の結果も、良好でこの素晴らしい自然がいつまでも続くよう地域の力で守っていこうという話ができ。生徒にとって今回に調査は非常に良い経験になったのではないかと感じた。
- ・ きれいな水で澄んでいた。

◆参加者名、団体名：高松干潟を守ろう会

◆主な観測地点： 朝明川河口

- ・ 2人で測ったPO₄の結果の数値が大きく違ったが、原因ははっきりしない。驚いている。
- ・ 11号台風の翌日であったが、川の状況は普段と変わりなかったので実施した。
- ・ ゴミは川の少し上のあたりで雑草のところで溜まっていた。
- ・ ボラがたくさん飛んでいた。

◆参加者名、団体名： 土岐市

◆主な観測地点： 妻木川上流

◆主な観測地点： 妻木川下流

- ・ 水量が少なく川が浅い。水は透明だがやや濁っているところがある。川の流れが速い。

◆主な観測地点： 肥田川上流

- ・ 川幅が狭く、水量が少ない。

◆主な観測地点： 肥田川下流

- ・ 石に藻が付着しヌルヌルして滑りやすい。川幅が広く、水量が多い。流れが速い。

◆参加者名、団体名：(株)建設環境研究所

◆主な観測地点：櫛田川 両郡橋

- ・ 石の裏に小さい虫がいた。変わった虫がいっぱいいた。ぬるい所と冷たい所があった。

◆主な観測地点：宮川 昼田

- ・ 冷たくて気持ちよかった。砂利が多かった。歩きにくかった。石がヌルヌルしていた。小さくてニュルニュルしたやつがいた。石と石の隙間に生き物がいた。

◆主な観測地点：佐奈川 立花尾橋

- ・ 石がごろごろヌルヌルしていた。

◆主な観測地点：鈴鹿川 勸進橋

- ・ いろんな虫や魚がいた。深い所や浅い所があった。石が多かった。冷たかった。たくさん生き物がいた。速いところがあった。

◆主な観測地点：宮川 度会橋

◆主な観測地点：五十鈴川 御側橋

- ・ 虫がたくさんいた。石がヌルヌルしていた。サワガニがいなかった。少し滑りやすい。ゴミが浮いている。川が冷たい。

◆主な観測地点：鈴鹿川 亀山橋

- ・ 見た目の印象が悪くなっているように感じる。(最初は2年前)ぬめりが増えている?本流より支流の方が水が冷たい。

◆主な観測地点：雲出川 小戸木橋

◆主な観測地点：鈴鹿川 塩浜

- ・ 石がいっぱいあった。なかなか生物が見つからなかった。魚がいなかった。途中から取れなくなった。波の強さ。藻が浮いていた。流れが速い所と遅い所があった。砂の所と石の所があった。